

多賀城市市民活動サポートセンター
令和 5 年度運営業務成果報告書

特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター

令和 6 年 3 月 31 日

令和5年度運営業務成果報告書 目次

数字で見た令和5年度	1
令和5年度の主なトピック／出来事／メディア掲載	2
I 令和5年度運営業務報告	
1 方針	
(1)3ヵ年(令和5～7年度)の施設運営方針	9
(2)令和5～7年度多賀城市市民活動サポートセンターロードマップ	13
2 令和5年度成果・課題	
(1)令和5年度成果・課題	14
(2)令和5年度実施事業一覧	16
3 運営状況	
(1)利用状況集計	
1)総利用件数・貸室利用率	17
2)利用団体の活動分野	18
3)利用団体の属性	19
参考-1:主な項目の利用状況推移(平成20～令和5年度)	20
参考-2:情報関連業務利用状況推移(平成20～令和5年度)	21
(2)相談対応実績	22
参考-3:相談対応推移(平成20～令和5年度)	30
(3)情報提供	
1)団体情報ファイル・団体紹介シート	31
2)ウェブサイト・ブログ・X(旧ツイッター)	36
3)たがさぼ文庫	37
(4)場の提供	
1)事務用ブース利用状況／事務用ブース入居団体インキュベート相談	38
2)フリースペース利用状況	39
(5)他団体・他機関との連携	
1)各会議・実行委員会への参加	43
2)他部署・他機関との連携事例	51
(6)スタッフの研修への参加	58
4 事業実施状況	
(1)まちをともに創る人を増やす事業	
1)TSC運営への市民参画機会創出事業	59
2)多賀城のまちの未来を描くフューチャーセッション	64
(2)関わりしるを増やす支援事業	
1)自治会・町内会等の関わりしるを増やす支援事業	67
(3)新たな地域の担い手発掘・育成事業	
1)次世代活躍事業	79
2)市民参画促進事業	94
(4)NPOつながり支援事業	109
1)NPOつながり支援事業	
(5)情報発信事業	
1)フリーペーパー「tag」発行/情報発信事業	120
II 令和6年度事業計画	
1 令和5～7年度ロードマップ[修正版]	134
2 令和6年度事業計画	135
III 添付資料	

数字で見た令和 5 年度

1. 総利用者数 のべ 25,874 人

前年度と比較すると総利用人数が 4,151 人の増加（前年度比 119.1%）となった。総利用件数とともに増加した。これは新型コロナウイルス感染症の影響をあまり受けていない平成 31 年度の利用数とほぼ同じであり、利用が戻っていることをうかがえる。

→詳細は「3 運営状況（1）利用状況集計」を参照

2. 相談対応件数 のべ 342 件

前年度と比較すると 24 件減少した。また、1 件あたりの平均対応時間は 22.4 分で、前年度とほぼ同じであった。

→詳細は「3 運営状況（2）相談対応実績」を参照

3. 配架情報総数 1,616 種類

→詳細は「3 運営状況（1）利用状況集計 参考-2：情報関連業務利用状況推移（平成 20～令和 5 年度）」を参照

4. 77 本の企画を実施し、のべ 1,694 人、324 団体が参加（共催事業も含む）

→詳細は「4 事業実施状況」を参照

5. 7 の団体・個人が、団体・活動の立ち上げや法人化の相談に来館した

→詳細は「3 運営状況（2）相談対応実績 市民活動相談の内訳 ■ステップ」を参照

6. 団体情報は 26 団体増えて 2,301 団体に

二市三町では 9 団体増えて 352 団体に

→詳細は「3 運営状況（3）情報提供 1）団体情報ファイル」を参照

令和 5 年度の主なトピック

多賀城市市民活動サポートセンター（以下、T S C）は、平成 20 年 6 月の開館以来、地域づくりの拠点として N P O や自治会・町内会、生涯学習団体等市民活動の力づけを行うとともに、市民・企業・行政等による協働の地域づくりをサポートし、開館より 15 年が経過した。

令和 5 年度～7 年度 3 ヶ年の業務委託の 1 年目となる令和 5 年度の主なトピックは下記の 4 点である。

1. 次世代の地域の担い手を発掘し、地域とのつながりを創出

中学校が実施する地域交流イベントに地域の団体をコーディネートしたり、地域の多様な主体が参加する幼保施設の避難訓練に高等学校をつなぐなど、地域の一員として学校や生徒が活動するコーディネートを行った。

また、クリスマス雑貨市で中高生が、きつずボランティア講座を受講した小学生が市内で開催されたイベントで、それぞれボランティアとして活躍するなど、学校外での活動の機会も創出した。

2. 未来志向で考える、対話する場を創出

「みらい自治トーク」や「多賀城フューチャーセッション」といった、未来の地域の姿を想像して対話する場をつくることで、参加者が年代、所属を越え、既存の取り組みにとらわれない意見交換やアイデア出しを行うことができた。

また「たがさぼ市民ミーティング」では、今後の多賀城の地域づくりに必要な要素や T S C の役割について、各セクターのキーパーソンとともに考える場となった。

3. 地域の多様な取り組みを可視化

フリーペーパー「tag」では、市民活動団体だけでなく、事業者やお寺の地域貢献の取り組みを取り上げた。自治会・町内会の取り組みを取材し、ブログで発信した。また、「N P O ・市民活動交流会」では、活動者同士お互いの活動を知り合う機会を創出した。地域で行われているさまざまな取り組みを可視化し、地域の情報にアクセスしやすくすることで、新たなつながりを生み出した。

4. 新型コロナウイルス感染症 5 類移行

令和 5 年 5 月 8 日、新型コロナウイルス感染症が 5 類感染症に移行したことから、制限なく利用が可能となった。前年度に比べ、利用件数はほぼ横ばいだが、利用者数は増加したことから、人数制限にとらわれず活動している状況であると言える。

令和5年度の主な出来事

令和5年

4月

3日	発行	「tag」103号発行	
6日	視察	多賀城市新規採用職員研修	
22日	参加	きつずボランティア体験コーディネート	アウトリーチ
1～24日	施設管理	事務用ブース新規入居団体募集	
1～24日	施設管理	事務用ロッカー・レターケース利用団体募集	
4/22～7/15	展示	(一社) アートインクルージョン作品展示 (3F)	

5月

～7日	展示	震災・防災関連展示 (1F)	
8日	施設管理	新型コロナウイルス5類移行に関する対応	
12日	施設管理	事務用ブース入居審査会	
13日	事業	NPOいちから塾	
13日	事業	ボランティア入門講座	
19日	事業	ボランティア体験	アウトリーチ
27日	協力	Taga 懇「多賀城未来の懇談会」(多賀城小学校区)	アウトリーチ
5/8～6/20	展示	「たがさぼ文庫」新刊図書紹介 (1F)	

6月

1日	発行	「tag」104号発行	
1日	事業	多賀城みんなの地域学～八幡沖区編～	アウトリーチ
19日	事業	出前NPOいちから塾	アウトリーチ
24日	事業	自治会・町内会情報交換会	

7月

～19日	施設管理	事務用ブース新規入居団体募集	
4日	協力	Taga 懇「多賀城未来の懇談会」(山王小学校区)	アウトリーチ
22日	協力	Taga 懇「多賀城未来の懇談会」(天真小学校区)	アウトリーチ
26日	施設管理	消防訓練	
28日	事業	事務用ブース入居団体インキュベート相談会 傾聴の会多賀城	
7/14～8/28	展示	きつずボランティア講座展示 (1F)	
7/22～8/1	展示	多賀城中学校美術部作品展「美画一線」(2・3F)	

8月

1日	事業	「tag」105号発行	
4日	施設管理	事務用ブース入居審査会	
7日	施設管理	スタッフマスク着用個人判断へ	
17日	施設管理	事務用ブース入居団体インキュベート相談会（旭ヶ岡町内会）	
21日	事業	幼保施設避難訓練情報交換会@下馬	アウトリーチ
27日	事業	きつずボランティア講座（1回目）	
8/4～10/31	展示	豪雨支援情報展示（1F）	

9月

12日	事業	幼保施設避難訓練 下馬みどり保育園	アウトリーチ
17日	施設管理	利用者パソコン入替	
21日	事業	幼保施設避難訓練 こども園つむぎ野情報交換	アウトリーチ
24日	事業	きつずボランティア講座（2回目）	アウトリーチ
28日	事業	防災人ミーティング（1回目）	
9/28～10/31	展示	ブックレビュー展示（1F）	

10月

1日	施設管理	インボイス対応開始	
1日	発行	「tag」106号発行	
9日	事業	おでかけミニ雑貨市 @ロビーステージ&サークルフェア 2023	アウトリーチ
11日	事業	幼保施設避難訓練 こども園つむぎ野	アウトリーチ
13日	事業	たがさぼ市民ミーティング（自治会・町内会）	
14日	事業	きつずボランティア講座（3回目）	
19日	事業	たがさぼ市民ミーティング（NPO・市民活動団体・当事者）	
20日	事業	たがさぼ市民ミーティング（NPO・市民活動団体・当事者）	
27日	事業	幼保施設避難訓練情報交換会 柏木幼稚園・大代保育所	アウトリーチ
29日	事業	NPOパワーアップ講座 「届く、届ける情報発信広報講座」	
31日	協力	東豊中学校職場体験	

11月

5日	事業	NPOパワーアップ講座「NPO・市民活動のお金のはなし」	
11日	協力	多賀城中学校プレ交流会	アウトリーチ
14日	協力	キャリアセミナー@多賀城高等学校	アウトリーチ
16日	協力	防災リーダー研修	アウトリーチ
17日	事業	幼保施設避難訓練 大代保育園・柏幼稚園合同防災訓練	アウトリーチ
18日	事業	雑貨市ワークショップ@多賀城市立図書館	アウトリーチ
18日	協力	Taga 懇「多賀城未来の懇談会」（城南小学校区）	アウトリーチ

令和5年度多賀城市市民活動サポートセンター年間事業報告書

18日	協力	歴史シンポジウム	アウトリーチ
25日	事業	雑貨市ボランティア説明会・出展団体交流会	
25日	事業	きつずボランティア講座(4回目)	
30日	協力	Taga 懇「多賀城未来の懇談会」(多賀城東小学校区)	アウトリーチ
2～21日	施設管理	利用者アンケート	
13～24日	事業	雑貨市展示@多賀城市立図書館	アウトリーチ
13～24日	事業	雑貨市展示@多賀城市役所	アウトリーチ
15～30日	事業	ポップアップSHOP@多賀城市立図書館	アウトリーチ
11/2～1/30	展示	フードボックス・寄付ボックスの設置	

12月

1日	発行	「tag」107号発行	
3日	事業	たがさぼのクリスマス雑貨市	
3日	事業	YouTubeチャンネル「たがさぼチャンネル」 多賀城駅北口からたがさぼまでの道のり～徒歩の場合～ 動画配信	
9日	施設管理	事務用ブース入居団体インキュベート相談会(高崎こども食 堂らっこ広場)	
18日	協力	多文化共生授業@多賀城高等学校語学研究部・災害科学科	アウトリーチ
20日	協力	多文化共生授業@多賀城中学校	アウトリーチ
～19日	施設管理	事務用ブース新規入居団体募集	
20日	協力	多文化共生授業@多賀城中学校	アウトリーチ
～25日	展示	クリスマス雑貨市展示@TSC	
12/19～1/12	施設管理	公共施設等見直しに関するアンケート	

令和6年

1月

8日	事業	Web相談会(ハッピーピース)	
12日	施設管理	事務用ブース入居団体インキュベート相談会(多賀城イング リッシュ・サポーターズ)	
13日	施設管理	事務用ブース入居審査会	
13日	事業	Web相談会(城南自治会)	
19日	事業	NPOいちから塾②「保護猫・地域猫のことを知ろう」	
21日	事業	TAGAJO Youth Chareng 「中高生しゃべり場」動画撮影	
24日	施設管理	消防訓練	
25日	協力	Taga 懇「多賀城未来の懇談会」(多賀城八幡小学校区)	アウトリーチ
28日	事業	NPO・市民活動新年交流会	
29日	視察	とめ市民活動プラザ視察	
31日	協力	探求学習地域国際交流授業@貞山高等学校	アウトリーチ

2 月

1 日	発行	「tag」108 号発行	
4 日	事業	みらい自治トーク	
4 日	施設管理	事務用ブース入居団体インキュベート相談会（障がい者サポーターズ Golazo!）	
4 日	事業	Web 相談会（障がい者サポーターズ Golazo!）	
6 日	事業	たがさぼ市民ミーティング（福祉関係者）	
6 日	参加	多賀城市鶴ヶ谷児童館 令和 5 年度地域懇談会	アウトリーチ
9 日	事業	防災人ミーティング	
13 日	事業	たがさぼ市民ミーティング（事業者）	
13 日	事業	幼保施設避難訓練振り返りの会	
16 日	視察	八戸市視察 町内会情報交換	
18 日	協力	多賀城市ビジネスプランコンテスト	アウトリーチ
21 日	協力	探求学習地域国際交流授業@貞山高等学校	アウトリーチ
22 日	事業	たがさぼ市民ミーティング（学校関係）	
26 日	参加	多賀城市西部児童センター 令和 5 年度地域懇談会	アウトリーチ

3 月

5 日	事業	YouTube チャンネル「たがさぼチャンネル」 次世代セッション「きっかけのきっかけトーク」 動画配信	
8 日	施設管理	事務用ブース入居団体インキュベート相談（宮城県学童保育連絡協議会）	
10 日	事業	次世代セッション「きっかけのきっかけトーク」	アウトリーチ
12 日	施設管理	事務用ブース入居団体インキュベート相談（生涯学習 100 年 構想実践委員会）	
17 日	事業	多賀城のまちの未来を描くフューチャーセッション	
20 日	協力	多賀城市長杯多賀城創建 1300 年交流将棋大会	
23 日	協力	多賀城市長杯多賀城創建 1300 年交流将棋大会 小学生の部	
24 日	協力	スロウ日和 きっずボランティア参加	アウトリーチ
26 日	事業	YouTube チャンネル「たがさぼチャンネル」 ハッピーピース 団体紹介動画配信	
29 日	施設管理	館内 Wi-Fi 更新	
31 日	事業	YouTube チャンネル「たがさぼチャンネル」 きっずボランティア講座 動画配信	
14～15 日	施設管理	新予約システム説明会	

※アウトリーチ…市民活動やまちづくりなどへの等の興味・関心の促進のために行った T S C 外での活動を示して

いる。(主催、共催、協力を含む)

※協力…外部の団体と協力・連携して行った活動。詳細は本報告書「3 運営状況 (5) 他団体・他機関との連携 2) 他部署・他機関との連携事例」を参照。

メディア掲載（関連記事も含む）

令和5年

4月29日	河北新報（朝刊）	多賀城 聴覚障害者ら出店 マルシェ
5月28日	河北新報（朝刊）	多賀城の住み心地 市民採点
6月19日	河北新報（夕刊）	町内会の情報交換会
10月12日	河北新報（朝刊）	子どもの命 地域で守る 多賀城 認定こども園、避難訓練
11月1日	みやぎ県政だより	「お出かけガイド」たがさぼのクリスマス雑貨市2023
11月11日	河北新報（朝刊）	多賀城碑の価値 再認識 創建1300年控え市民シンポ
11月13日	河北新報（夕刊）	買い物して社会貢献 多賀城で来月3日「雑貨市」
11月21日	宮城まるごと＊探訪 （Web）	たがさぼのクリスマス雑貨市2023
11月22日	リビング仙台（Web）	たがさぼのクリスマス雑貨市2023
11月24日	リビング仙台	たがさぼのクリスマス雑貨市2023
11月25日	S-style（12月号）	たがさぼのクリスマス雑貨市2023
11月27日	朝日新聞（朝刊）	たがさぼのクリスマス雑貨市2023
11月27日	河北新報（夕刊）	たがさぼのクリスマス雑貨2023 たのしもう！～みんないっしょに
11月28日	tbc ラジオ	「GoGo はみみこい ラジオな気分／ランチタイムにリンリンリン」たがさぼのクリスマス雑貨市告知
11月発行	みやぎイベント Joy 2023.12・2024.1月号	たがさぼのクリスマス雑貨市2023

令和6年

1月22日	河北新報（夕刊）	市民の輪 多賀城創建1300年盛り上げシンポ
3月7日	河北新報（夕刊）	多賀城のまちの未来を描くフューチャーセッション
3月13日	河北新報（朝刊）	多賀城のまちの未来を描くフューチャーセッション

I

令和 5 年度運営業務報告

I -1 方針

(1) 3カ年（令和5年度～7年度）の施設運営方針

令和 5 年度～7 年度の 3 カ年の業務委託に際し、施設運営方針を以下のように定めた。この方針に基づいて事業立案や運営を行っている。

T S Cが目指す多賀城のまちの姿

“ベッドタウンからホームタウンへ”

多賀城は交通の便がよく、仙台市に通勤通学している人が多い。駅前にはカフェが入るおしゃれな図書館もあり、ロードサイドには生活に必要な商業施設等が建ち並んでいる。そんな便利で住みやすいまち多賀城は、若い世代に住むまちとして選ばれる一方で、転出入も多い。このままではまちを利用するだけの消費者としての住民が増え、地域を担う主体としての市民が減ることが予想される。自分が住むまちに自分が関わることで、さらに魅力的なまちにしていける、そんな実感を持てる機会を T S Cが増していくことで、主体としての市民を多賀城のまちに増やしていく。

T S Cの役割と取り組み

(1) まちをともに創る人を増やす

1) T S Cの運営に市民の参画の機会を創出

①現状と振り返り

T S Cの開館は、市民活動実践者や市職員有志が市民活動や協働についてともに学ぶ中で、市民活動支援施設の必要性を見出し、機能や運営について検討し、市に提案したことがきっかけとなっている。

これまでの T S Cの運営では、窓口を事務処理の受付のみにせず、利用者とのコミュニケーションを重視している。また、事業参加者へのアンケート、年 1 回実施する利用者アンケート、地元企業や自治会・町内会へのヒアリング、地域のさまざまな主体が集まる会議への参加などを通して、地域のニーズを探り、課題を設定し、めざすまちの姿を描き、事業案に落とし、取り組みを進めてきた。

平成 29 年度から取り組んでいる T S R（多賀城から、持続可能な関係性を探る）では、地域課題を共有し、解決に必要なことを考え、実践に向けて、地域の活動者が対等な立場で取り組みを重ね、多文化共生や防災に関する課題解決の取り組みが生まれている。

②令和 5～7 年度の取り組み

これまでの市民の意見を聞くことに加えて、市民と一緒に地域の状況を共有し、課題を設定し、めざすまちの姿を描き、事業案に落とししていく場づくりに取り組み始めていく。T S Cは

支援する側とされる側の関係性ではなく、地域のことを考えるフラットな場として機能するような関係性を地域の方と育んでいく。

T S Rの場づくりの手法を活かし、T S Cの取り組みの中で主体としての市民を増やすことで、多賀城のまちに活かしていく。

例えば、1年目はT S Cで設定した課題について、解決に向けて必要なアイデアを出し合い、実践に移す。2年目からは課題から市民と一緒に考え、実践まで行うというように段階的に進めていく。決定の場には、市民活動団体、自治会・町内会、事業者、学校等の地域のさまざまな主体に参画してもらう。

前述のT S Rから、防災に関わる人・関心のある人を「防災人（ぼうさいびと）」と名付け、情報交換を行う場に、市担当課である危機管理課職員が市民の声を施策に反映する場と捉えて参加し、避難所のL G B T対応について市民活動団体との情報交換につながった。このように、話し合いの場には市職員も同席してもらい、市民の主体性を発揮する場を体感してもらう。

そのためには、支援者に必要な7つの力（相談対応力、調査・情報収集力、編集・発信力、コーディネート・ネットワーキング力、資源提供力、内部の人材育成力、政策提言力）のうち、スタッフのコーディネート・ネットワーキング力を重視する。

2) 多賀城のまちの未来を描くフューチャーセッションの実践

①現状と振り返り

地域の中の支え合いを増やそうとしている地域福祉分野、地域ぐるみで子どもたちを育む体制づくりを進める教育分野、地元の人やコトを活かす観光をめざす観光分野等、第六次総合計画の推進には、地域の力が重要になっている。それぞれ行政が主催し、市民が参加し話し合う場が作られているが、話し合う課題や出た意見を活かす場が最初から決まっていることがほとんどである。T S Cもこれまで行政等の主催する会議への参加や、令和3年度は地域コミュニティ課が主催する小学校区での地域情報交換会、令和4年度は市民と市長の懇談会「Taga 懇」に協力してきた。

②令和5～7年度の取り組み

前述のT S Rの実践を活かし、市民が主体となり、多賀城のまちについて考え、課題を設定し、実現可能な対応策を考える場（＝フューチャーセッション）を重ねていく。

テーマは「まちの担い手をどのようにつくるか」など多賀城のまちに関することとし、行政への陳情にしないようなグラドルルールを決め、既活動者を中心に参加者を募るが、当事者も非当事者（未来の当事者の可能性がある）も参加できる場とする。アイデアベースではなく実現可能な案にブラッシュアップし、市担当課や市長に市民提案として話し合う場を設ける。市民がまちのことを考え、自分たちが決めたことを行動に移す経験を通して、行政への提案力向上、行政との協働を促進することをねらう。

また各団体が取り組んでいるテーマだけでなく、市全体を見る視点をもつことで、各テーマで活動する既活動者が、他の活動者を支える側にもなっていくこともねらう（例えば、こども

食堂を開催する団体が、新たに活動を始める人のサポートや、地域の子育て支援を担う主体のつなぎ役になり、更なる子育て支援の環境づくりが促進されるなど。

(2) 既存の仕組みの支援から関わりしるを増やす支援の強化

①現状と振り返り

自治会・町内会では、役員や活動の担い手の高齢化やまちを利用するだけの住民が増えていく状況の中で、担い手が不足し、これまで当たり前に行ってきた取り組みの継続が困難な状況が出ている、もしくは今後増えることが予想される。コロナ禍においては、夏祭りや敬老会、サロンなど、これまで通りの活動ができない状況になったが、工夫しながら活動を再開する動きも出てきている。活動を再開する際には、活動ができなかったことで発生した困りごとを確認し、本当に必要な活動の見極めややり方を変える好機とも捉えることができる。令和2～4年度は、地域のことを地域の人が発信し、新しい住民に土地のことを伝えることを目的とした地域学や自治会・町内会の取り組みを役員以外の人に知ってもらうためのツール町内会新聞の支援や、地区同士のテーマごとの情報交換などを中心に行い、地域や役割を超えた情報共有の場をつくることが出来た。

②令和5～7年度の取り組み

コロナ禍から活動を再開する自治会・町内会の支援をきっかけに、既存の取り組みの棚卸の支援、既存の活動の見直しや新たな取り組み開始の支援を行う。その際に、地域住民だけでなく、地区内の事業者や学生など多様な主体との連携の視点を加え、持続可能な地域運営につなげていく。

既存の取り組みへの支援よりも、既存の取り組みを変化させ、新たなかたちをめざす取り組みに対する支援を重点的に行う。

(3) 新たな地域の担い手発掘・育成の継続

1) 高校生以下が活躍する場づくりにチャレンジする

①現状と振り返り

高校生の多くは周辺市町から通学している。また、2022年度改訂の学習指導要領で導入された総合的な探究の時間では、生徒が主体的に課題を設定し、情報収集・分析や課題解決に取り組むことから、地域に出るの調査や活動の機会が増えることが予想される。また、市内の高校はボランティア活動が単位として認められる制度があるが、コロナ禍で地域に関わる機会が減少している。

②令和5～7年度の取り組み

コロナ禍後を見据えて、高校生が地域に関わる機会を創出したり、情報提供やコーディネートを行うことで、新たな地域の担い手育成を進めていく。まずは、単位認定制度を見据えてのボランティア活動を通じた関わりを模索する。また、小学生のうちから市民活動へ触れる機会を創出することで、中学生、高校生の活動の礎になるので、未来を担う子どもたちを対象とし

た育成にも力をいれていく。

2) 多様な活動の入口を示す

①現状と振り返り

令和4年2月多賀城市が実施したまちづくりアンケートでは「市民活動、NPO活動、ボランティア活動などに参加していますか」という質問に対し「今後参加してみたい」36.9%、「興味や関心がないので参加する気はない」48.5%という結果が出ている。TSCの相談対応や事業の中では、自分の活動が市民活動だと認識せずに活動しているという声や、市民活動は一部の特別な人がやっているという声を聞くことも多い。

前述の防災人（ぼうさいびと）の情報交換会には、資格を持っているが活かす場がない防災士、自分の知識やスキルを地域の防災に活かしたい方、自治会・町内会の防災担当になりアイデアがほしい方など、毎回20名ほどが参加し、新たな人材発掘につながった。この場での出会いから、地域の防災力向上につながる事例が生まれている。また、今期初めて実施したボランティア講座は、だれかの役に立ちたいという想いのある層を発掘することができた。

②令和5～7年度の取り組み

関わってみたら楽しく、まちがもっと好きになるような多様な取り組みを、TSCだけでなく、既活動団体と一緒に増やしていく。

		内容	主な対象	R5(2023)事業	R6(2024)事業	R7(2025)事業	めざす姿	地域コミュニティ課資料との合致
(1)まちをと もに創る人 を増やす事 業	1)TSC運 営への市民 参画機会創 出事業	市民と一緒に地域の状況を共有し、課題を設定し、めざすまちの姿を描き、解決に向けて必要なアイデアを出し合い、TSCの事業案に落としていく場づくりに取り組み始める。	市民活動団体、自治会・町内会、事業者、学校等の地域のさまざまな主体	1)話し合いの場づくり(課題はTSCが設定) 2)TSCの取り組みに活かす	1)話し合いの場づくり(課題から一緒に考える) 2)取り組み実践	1)話し合いの場づくり	・TSCが地域のことを考えるフラットな場として機能するような関係性が育まれている。	【地域の担い手育成】 【連携による課題解決】 【情報発信】 ・地域課題の把握に努める
	2)多賀城の まちの未来 を描くフュー チャーセッ ション事業	市民が主体となり、多賀城のまちについて考え、課題を設定し、実現可能な対応策を考える場(＝フューチャーセッション)を重ね、市民提案として市と話す場をつくる。	市民活動団体、自治会・町内会、事業者、学校等の地域のさまざまな主体	1)フューチャーセッション 2)議題テーマ型セッション 3)発信		2)提案の場	・市民の提案力が向上している。 ・行政との協働による地域づくりが進んでいる。 ・既活動者が他の活動者を支える側になっていく。	【連携による課題解決】 ・市民が主体となり、多賀城のまちについて考え、課題を設定し、実現可能な対応策を考える場(＝フューチャーセッション) 【地域の担い手育成】
(2)関わり しろを増や す支援事業	自治会・町 内会等の関 わりしろを 増やす支援 事業	コロナ禍から活動を再開する自治会・町内会の支援をきっかけに、既存の取り組みの棚卸の支援、既存の活動の見直しや新たな取り組み開始の支援を行う。	自治会・町内会＋潜在的活動者 市民活動団体	1)既存の取り組みの棚卸の支援、既存の活動の見直しや新たな取り組み開始の支援 2)テーマ型自治会・町内会情報交換会 3)地域学；市民が自分の住む地域のことを知り、発信することをサポート 4)自治会・町内会の取り組みヒアリング・発信事業			・地域での自主的な取り組みが増えている。 ・既存の取り組みを変化させたり、連携の視点を持つことで、持続可能な地域運営につながっている。	【自治会・町内会】 ・町内会同士の情報交換の機会の提供 ・町内会等に対するアウトリーチ支援の実施 【連携による課題解決】
(3)新たな 地域の担い 手発掘・育 成事業	1)次世代活 躍事業	小中高生などの世代が地域に関わる機会を創出したり、情報提供やコーディネートを行うことで、新たな地域の担い手育成を進めていく。	小中高校生など未来を担う世代	1)きつず講座(雑貨市と連携) 2)中学校・高校のボランティアコーディネート支援の模索(町内会支援と連携) 3)中高への市民活動に関する授業提案 4)Tagajo Future Labo部(中高生版TF L)	ボランティア活動の実践 授業への参画・実践 プロジェクト創造・実践		・NPOやボランティアについて知り、地域・社会の課題解決に目を向ける小中高生が増えている。 ・身の回りの困りごと、課題を自らの手で解決しようとする中高生が増えている。	【地域の担い手育成】 ・高校生が活躍する場づくりの実施
	2)市民参画 推進事業	関わってみたら楽しく、まちがもっと好きになるような多様な取り組みを既活動団体と一緒に増やしていく。	無関心層 潜在的活動者	1)雑貨市 2)NPOいちから塾(活動体験含む) 3)ボランティア講座(NPO支援と連携) 4)気軽に活動に参加できる仕掛けづくり(多賀城市内のイベントへの出展等)			・地域の活動に参加し得る新たな人材が発掘されている。 ・地域活動への関わり方を知り、自分にできるかたちで関わる市民が増えている。	【地域の担い手育成】
(4)NPO支 援事業	NPOつなが り事業	自団体の弱み強みを知り、団体運営力のアップを図るように支援することで、他の団体やセクターとつながり、団体を理解し支援する人や連携する団体を増やす。また、ボランティア情報の収集・発信を通して市民活動に関わる市民を増やす。	NPO 市民活動団体	1)インキュベート伴走支援 2)運営力、発信力アップ講座 3)NPO等交流会 4)団体とボランティアをしたい市民のコーディネート			・各団体が、自らの活動を見通すことで運営力がアップしている。 ・他の団体や市民と連携して、地域・社会の課題が解決できるようになっている。 ・ボランティアなど地域人材を活用できるようになっている。	【連携による課題解決】 【地域の担い手育成】
(5)情報発 信事業	フリーペー パー「tag」 発行/情報 発信事業	市民活動や連携に関する発信を行うことで、市民が市民活動に触れる機会を増やす。	活動者 潜在的活動者 無関心層 受益者	1)フリーペーパー「tag」発行(隔月A4両面) 2)連携の取り組みや大事業(1)～(3)に関する発信(各事業と連携)…各種ウェブ媒体の活用・連結			・市民が市民活動の情報に触れる機会が増えている。 ・得た情報をもとに、地域での活動や課題の解決に向けたアクションを起こす市民が増えている。	【情報発信】

I-2 令和5年度成果・課題

(1) 令和 5 年度成果・課題

施設運営方針に沿った成果・課題

3 ヶ年（令和 5 年度～7 年度）の施設運営方針に沿って、事業実施も含めた令和 5 年度の T S C 運営全体の成果・課題は以下のとおりである。事業実施の詳細は、本報告書「(2) 令和 5 年度実施事業一覧」を参照。

1) まちをともに創る人を増やす

【成果】

- 「たがさぼ市民ミーティング」を通して、自治会・町内会、市民活動団体・当事者の声から、T S C に求められている役割を見出すことができた。出た意見の中からすぐに実践できることにも取り組んだ。また、福祉、教育、事業者の声から、分野やセクターを越えた連携の必要性を再確認することができた。
- 「多賀城フューチャーセッション」では、幅広い年代による意見交換の中から共通点を見出し、実践に向けた動きを生み出すことができた。
- 市主催「Taga 懇」への運営協力を通して、行政への要望だけでなく、市民自らが地域づくりに関わるきっかけとなる場づくりを継続して行った。

【課題】

- 潜在的活動者や他セクターなど話し合いの場への参加の輪を広げていくため、プログラムや広報等に更なる工夫が必要。

2) 既存の仕組みの支援から関わりしるを増やす支援の強化

【成果】

- 自治会・町内会を対象にした、お互いの取り組み・アイデアの共有を行う情報交換会の実施や、各地区の取り組みを取材し、ブログで紹介することで、担い手不足などの運営課題解決のきっかけを提供した。
- これまでは現在の課題の共有やアイデア出しを中心に行ってきたが、今年度初めてこれからの地域の在り方を考えるきっかけの場を試行したり、情報交換会やイベントに 40 代以下の若い人の参加も見られるなど、新たな動きをつくることができた。
- 前年度から実施している防災人ミーティングの参加者が、幼保施設と地域の避難訓練への参加や多賀城中学校のプレ文化祭に出展する等、参加の幅が広がった。

【課題】

- 持続可能な地域運営のためにも、地域を開いていくこと、多様な人や団体、企業などの多セクターが関われる取り組みを生み出すようなアプローチを継続していく。

3) 新たな地域の担い手発掘・育成の継続

【成果】

- 「ボランティア入門講座」は座学だけでなく、活動体験の機会も提供し、市民活動に関わる人材を増やすことができた。「NPOいちから塾」には市の創業支援事業参加者も参加し、市全体として地域の担い手育成となった。
- クリスマス雑貨市では、中・高・大学生を含む24名と「きっずボランティア講座」の参加者18名がボランティアとして活動し、今後も活動したいとの声が寄せられ、活動に一步踏み出す場の提供ができた。また、学校と市民活動団体等をつなぐ機会も増え、学生が地域に関わるきっかけを提供できた。
- 相談対応の実績から「保護猫・地域猫」をテーマに実施した「NPOいちから塾」では、受講後にイベント参加や情報収集など、アクションを起こす人を生み出した。
- 「きっかけのきっかけのトーク」では、10代・20代の参加が多く、参加後に「何か始めてみたい」と思った若年層からの相談対応につながった。

【課題】

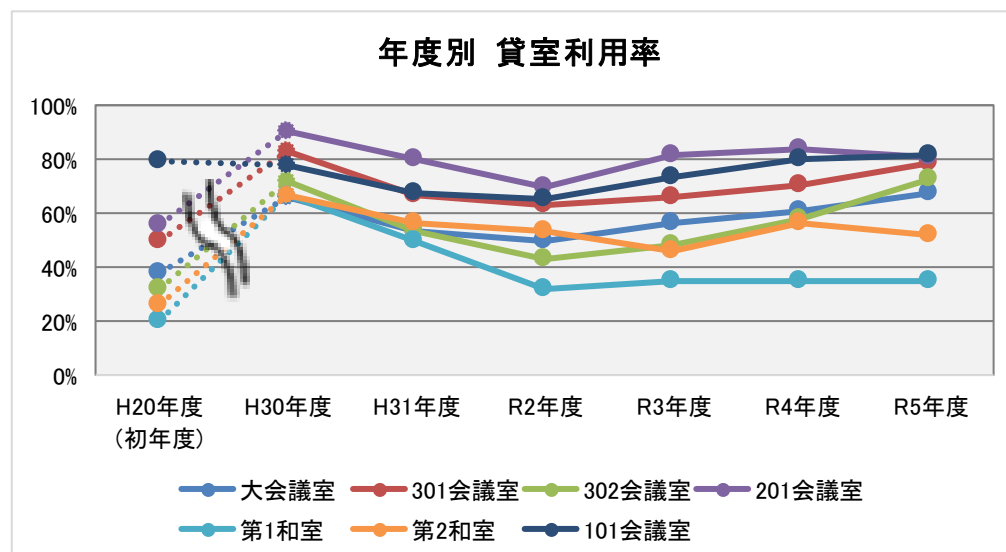
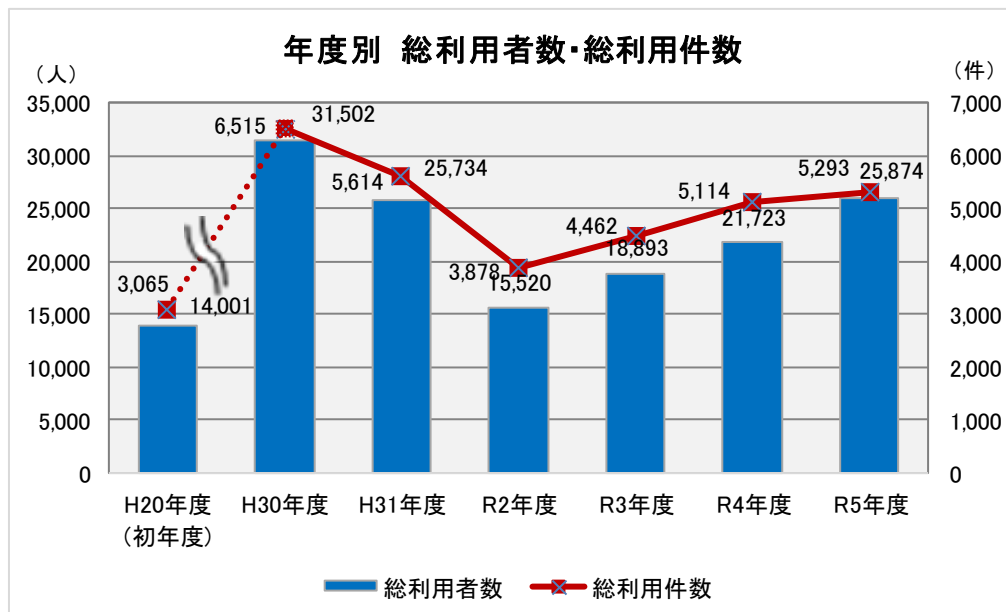
- 次世代の担い手育成では、自分の想いをもとにアクションを考えるところまで進むことができなかった。市民活動・地域活動に興味を持ち、自ら参加したいという若い層を掘り起こし、自発的に参加する若者を増やす取り組みを継続する。

I -3 運営状況

(1) 利用状況集計

1) 総利用件数・貸室利用率

今年度は総利用者数 25,874 人(前年度比 119.1%)、総利用件数 5,293 件(前年度比 103.5%)となり、ともに前年度より増加した。令和2年度より新型コロナウイルス感染症の影響でTSCの一部休館の影響で、活動を休止・縮小する団体、活動への参加者の減少があったが、前年度からイベント規制などが緩和され始め、コロナ禍前のペースでの活動を再開した団体が多くなってきたことが要因に挙げられる。利用者数は3年連続で増加しており、コロナ禍前(平成31年度)の25,734人をやや上回った。貸室利用も前年度比169件増(109.3%)、人数が4,230人増(121.8%)となった。TSC主催事業は、利便性のためのオンラインでの事業の実施はあったが、対面を避けるためのオンラインでの実施は減少し、コロナ禍前の形の開催にほぼ戻っている。



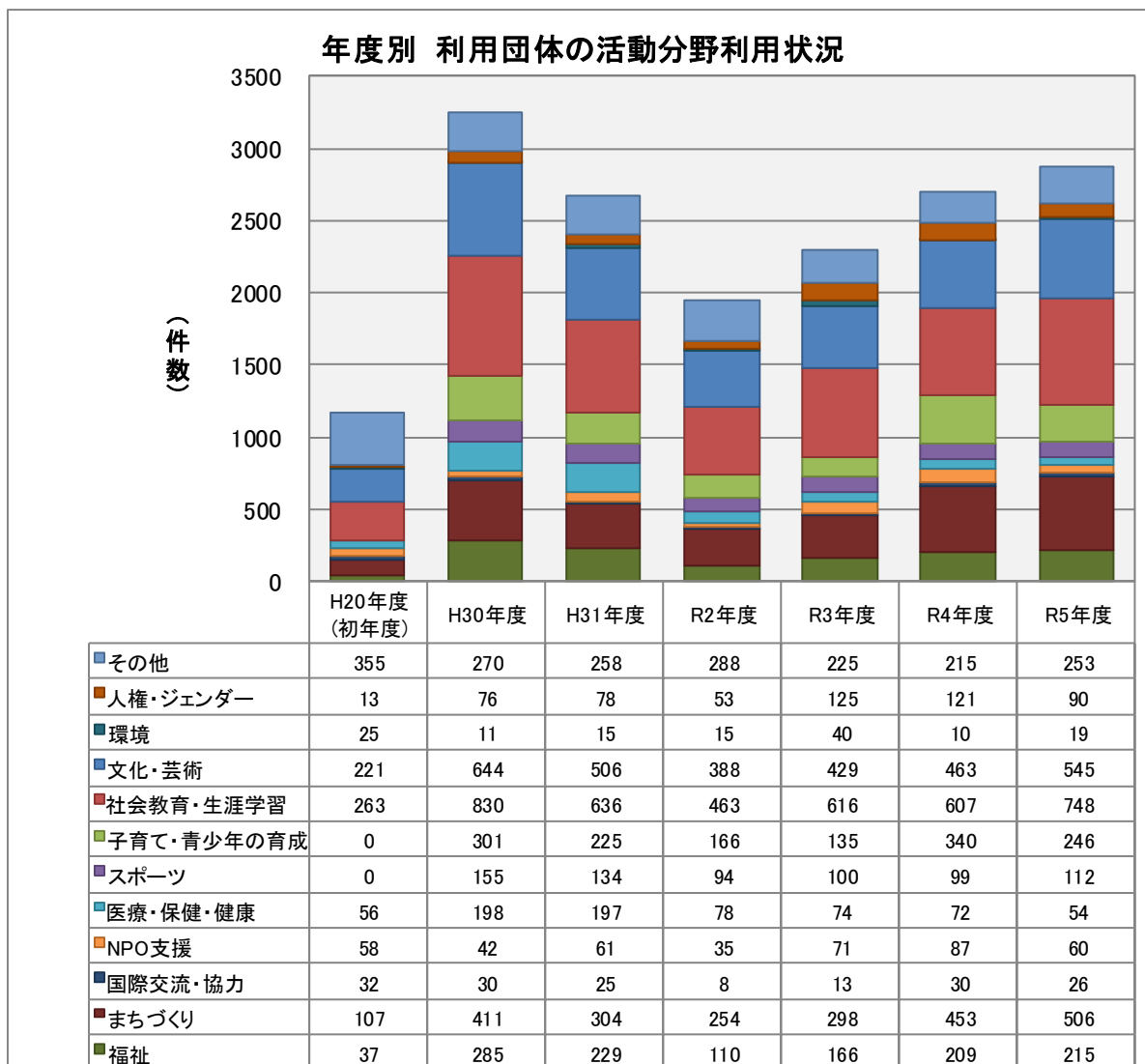
2) 利用団体の活動分野

貸室、情報サロン、交流サロン、ギャラリー

事務用ブース利用者の利用票提出および印刷機利用に基づく利用団体の活動分野

利用総数は、2,874件であった（前年度比106.2%）。前記の通り、コロナ禍以前のペースで活動を再開した団体が多くあったためと考えられる。

利用の多い分野は順に「社会教育・生涯学習」、「文化・芸術」、「まちづくり」、「子育て・青少年の育成」、「福祉」となっており、この5分野で全体の78.6%を占めている。今年度、利用が最も増加したのも「社会教育・生涯学習」で、前年度比123.2%だった。「社会教育・生涯学習」、「文化・芸術」には生涯学習活動やサークル活動の多くが含まれており、TSCの分野別利用の中で多くなる傾向がある。特に「社会教育・生涯学習」の利用件数が増えているのは、プログラミング教室を定期的に実施している企業の利用が増加したことが要因である。また、「まちづくり」については、自治会・町内会の活動も含むため、新聞発行や総会資料などの印刷機利用によるものも多く件数増加につながっている。

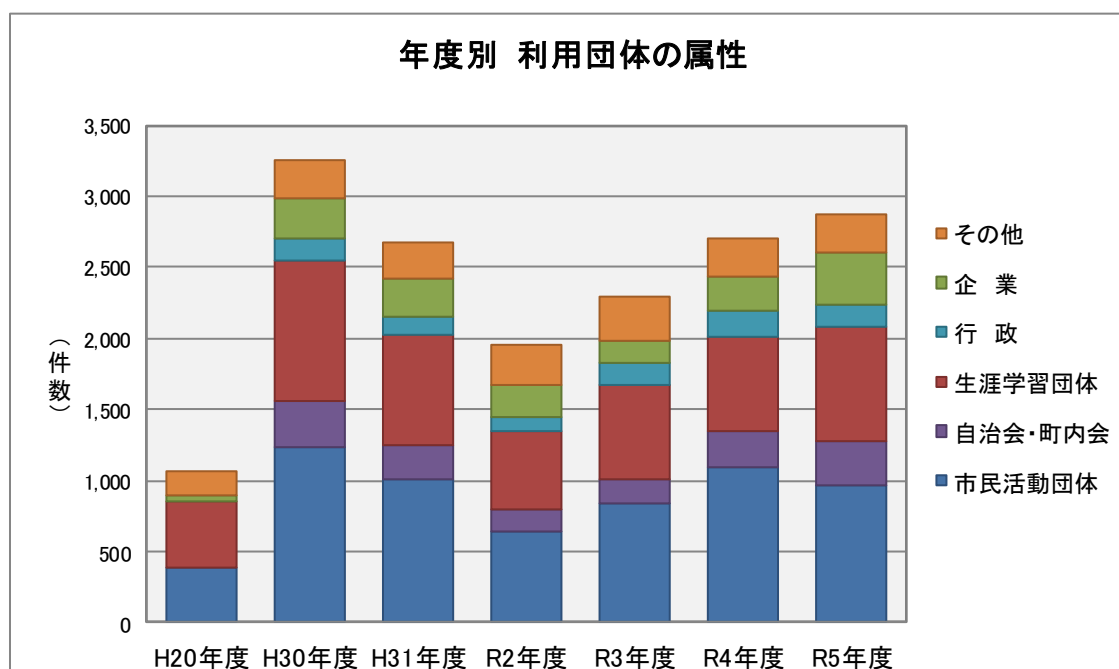


3) 利用団体の属性

貸室、情報サロン、交流サロン、ギャラリー、共同事務室の利用票及び印刷機利用に基づく利用団体属性

市民活動団体 : 966 件 生涯学習団体 : 800 件 企 業 : 367 件
自治会・町内会 : 315 件 行 政 : 159 件 その他(個人など) : 267 件

属性別内訳では、ここ数年同様「市民活動団体」が最も多く 966 件で全体の 33.6 %であり、次いで「生涯学習団体」が 800 件で全体の 27.8%の順となっている。この割合はほぼ一定であり市民活動団体の活動の拠点として機能していることがうかがえる。今年度は「自治会・町内会」が 315 件で前年度比 126.0%、「生涯学習団体」は 800 件で前年度比 120.5%となるなど、徐々にコロナ禍以前の利用状況に回復していることがわかる。また「企業」が 367 件で前年度比 152.3%となっているが、利用団体の活動分野でも触れたように、プログラミング教室を定期的実施している企業の利用が増加したことが影響している。



■年度別利用団体の属性 (単位: 件)

	H20 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
市民活動団体	394	1,240	1,010	646	844	1,092	966
自治会・町内会		317	243	145	160	250	315
生涯学習団体	457	989	769	553	675	664	800
行 政		157	126	100	154	187	159
企 業	42	285	276	225	148	241	367
その他	172	265	244	283	311	272	267
合 計	1,065	3,253	2,668	1,952	2,292	2,706	2,874

参考-1：主な項目の利用状況推移（平成20～令和5年度）

		貸室		フリースペース			レターケース	相談対応		印刷機	パソコン	情報揭示	総利用	
		利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	カウント数	取扱数	件数	人数	利用件数	利用件数	受付件数	件数	総数
		件	人	件	人	人	件	件	人	件	件	件	件	人
平成20年度		972	13,170	125	404	959	189	297	346	378	190	878	3,065	14,001
平成21年度		1,366	18,992	90	220	1,337	437	309	374	551	356	1,031	4,162	19,641
平成22年度		1,242	16,229	87	251	1,168	195	354	397	619	168	1,267	3,944	16,951
平成23年度		1,971	26,769	149	539	1,596	260	527	647	801	195	1,186	5,100	28,015
平成24年度		1,889	22,922	229	597	1,646	537	287	375	918	288	1,385	5,543	23,951
平成25年度		1,442	16,488	143	410	1,137	701	226	306	807	114	1,587	5,032	17,236
平成26年度		2,069	24,170	113	591	1,921	363	340	412	814	34	1,861	5,612	26,420
平成27年度		2,213	26,178	228	794	2,273	417	315	364	838	21	1,856	5,903	28,524
平成28年度		2,044	24,209	310	930	2,409	432	320	421	625	40	1,871	5,651	26,507
平成29年度		2,260	28,674	349	1,278	3,293	511	328	401	603	89	2,033	6,182	31,299
平成30年度		2,256	28,583	371	1,368	3,169	594	465	536	626	126	2,070	6,515	31,502
平成31年度		1,849	23,314	291	1,030	2,742	585	414	504	527	147	1,800	5,614	25,734
令和2年度		1,354	13,899	311	685	631	229	363	408	287	104	1,224	3,878	15,520
令和3年度		1,601	16,875	355	856	869	165	358	445	337	226	1,416	4,462	18,893
令和4年度		1,808	19,372	493	1,102	1,459	263	366	426	405	244	1,530	5,114	21,723
令和5年度	4月	154	1,760	61	103	147	18	24	24	76	25	101	460	2,078
	5月	149	1,632	49	87	148	50	29	33	50	24	142	493	1,846
	6月	167	1,681	44	74	100	25	29	32	39	13	126	443	1,846
	7月	179	2,389	53	101	174	13	34	36	39	18	170	507	2,592
	8月	130	1,501	31	57	104	8	31	36	29	27	133	389	1,661
	9月	164	2,062	41	78	124	13	27	28	26	22	160	453	2,220
	10月	197	2,270	32	58	80	9	33	36	37	20	162	490	2,424
	11月	189	2,176	35	74	88	11	24	24	24	20	141	444	2,321
	12月	146	2,184	40	170	153	10	23	25	9	17	96	341	2,408
	1月	165	1,927	31	64	139	28	33	39	20	21	162	461	2,079
	2月	183	2,079	33	76	92	10	23	24	23	17	102	392	2,243
	3月	154	1,941	35	94	138	11	32	37	46	21	121	420	2,156
令和5年度計		1,977	23,602	485	1,036	1,487	206	342	374	418	245	1,616	5,293	25,874
前年度比		109.3%	121.8%	98.4%	94.0%	101.9%	78.3%	93.4%	87.8%	103.2%	100.4%	105.6%	103.5%	119.1%
平成20年度～令和5年度総計		28,313	343,446	4,129	12,091	28,096	6,084	5,611	6,736	9,554	2,587	24,611	81,070	371,791
各年度の平均		1,770	21,465	258	756	1,756	380	351	421	597	162	1,538	5,067	23,237

※フリースペースの利用件数・人数は利用票提出分

※フリースペースのカウント数はスタッフによる定時見回り時のべ人数

※平成29年度より、TSC事業分も貸室・フリースペースの利用件数・人数として集計

※平成26年度より、印刷機・パソコンの利用人数も集計

参考-2：情報関連業務利用状況推移（平成20～令和5年度）

		印刷機		コピー機	パソコン	情報揭示					貸出図書		
		利用件数	枚数	利用枚数	利用件数	チラシ	団体パンフレット	ポスター	ニュースレター	計	登録者数	貸出件数	貸出冊数
		件	枚	枚	件	件	件	件	件	件	人	件	冊
平成20年度		378	218,318	4,767	190	496		105	277	878			
平成21年度		551	342,248	5,708	356	544		103	384	1,031	37	100	132
平成22年度		619	361,553	4,689	168	649		140	478	1,267	19	132	109
平成23年度		801	479,306	5,355	195	572		118	496	1,186	24	76	116
平成24年度		918	603,693	7,677	288	549	106	167	563	1,385	29	122	158
平成25年度		807	576,452	4,830	114	697	109	136	645	1,587	18	98	137
平成26年度		814	566,837	5,331	34	843	112	214	692	1,861	20	89	127
平成27年度		838	722,674	7,813	21	857	142	222	635	1,856	13	151	215
平成28年度		625	509,592	7,538	40	869	131	215	656	1,871	7	138	209
平成29年度		602	435,167	9,520	89	953	147	286	647	2,033	11	60	87
平成30年度		626	452,528	9,634	126	1,024	114	281	651	2,070	10	75	102
平成31年度		527	460,836	5,799	147	879	119	226	576	1,800	10	63	95
令和2年度		287	288,941	2,494	104	500	86	103	535	1,224	14	63	94
令和3年度		337	325,919	3,796	226	642	98	148	528	1,416	20	85	121
令和3年度		405	461,192	4,056	244	697	76	169	588	1,530	6	57	77
令和5年度	4月	76	122,986	184	25	40	13	5	43	101	1	8	11
	5月	50	43,971	1,382	24	57	10	15	60	142	1	7	11
	6月	39	30,082	429	13	57	8	21	40	126	0	6	8
	7月	39	67,837	271	18	81	8	27	54	170	0	3	4
	8月	29	21,678	83	27	54	7	20	52	133	0	5	6
	9月	26	18,717	387	22	78	9	22	51	160	1	8	11
	10月	37	32,306	318	20	81	10	17	54	162	1	4	7
	11月	24	18,593	243	20	61	4	15	61	141	0	3	5
	12月	9	12,571	235	17	42	8	6	40	96	1	4	5
	1月	20	13,254	237	21	72	13	9	68	162	0	3	4
	2月	23	25,862	710	17	48	2	12	40	102	1	7	11
	3月	46	52,022	299	21	50	6	7	58	121	1	3	4
令和5年度計		418	459,879	4,778	245	721	98	176	621	1,616	7	61	87
前年度比		103.2%	99.7%	117.8%	100.4%	103.4%	128.9%	104.1%	105.6%	105.6%	116.7%	107.0%	113.0%
平成20年度～令和5年度総計		9,553	7,265,135	93,785	2,587	11,492	1,338	2,809	8,972	24,611	245	1,370	1,866
各年度の平均		597	454,071	5,862	162	718	112	176	561	1,538	16	91	124

※平成24年度から、パソコンの利用件数は「作業」インターネットを分けて集計する。
 ※平成24年度から、情報揭示の利用件数は新たに「団体パンフレット」を加える。

※平成21年6月開設

（２）相談対応実績

相談対応の流れ

●相談対応

市民活動に関する相談は、開館時間中にいつでも対応できるような体制を整備している。

↓

●記録

- ・ 相談対応票に記録
- ・ 相談を分類

支援対象について：主に初めて利用する方に対して、団体の目的や活動内容を確認し、施設の設置趣旨と照らした上で、支援対象か否かを判断している。

施設利用相談：施設の利用方法などの問い合わせに対するもの

市民活動相談：ホッブ…ボランティア相談、市民活動団体の情報提供

ステップ…任意団体立ち上げやNPO法人化に関する相談

ジャンプ…資金調達、広報など団体運営に関する相談

受益者からの相談：NPOなどのサービスを求めている方からの相談

その他の他：TSCの運営についての問い合わせなど

↓

●共有

- ・ 継続対応が必要なものは、1日2回の申し送りの時間にスタッフ間で共有
- ・ 月2回（1回あたり1時間程度）ケースミーティングの開催
すべての相談対応をスタッフで共有し、各相談対応の経過確認を行い、継続事案にあつては以後の対応方針の決定、相談対応研修、業務改善などにつなげている。
- ・ 相談対応記録を担当理事および地域コミュニティ課に報告し、適宜情報提供・助言などを行っている。

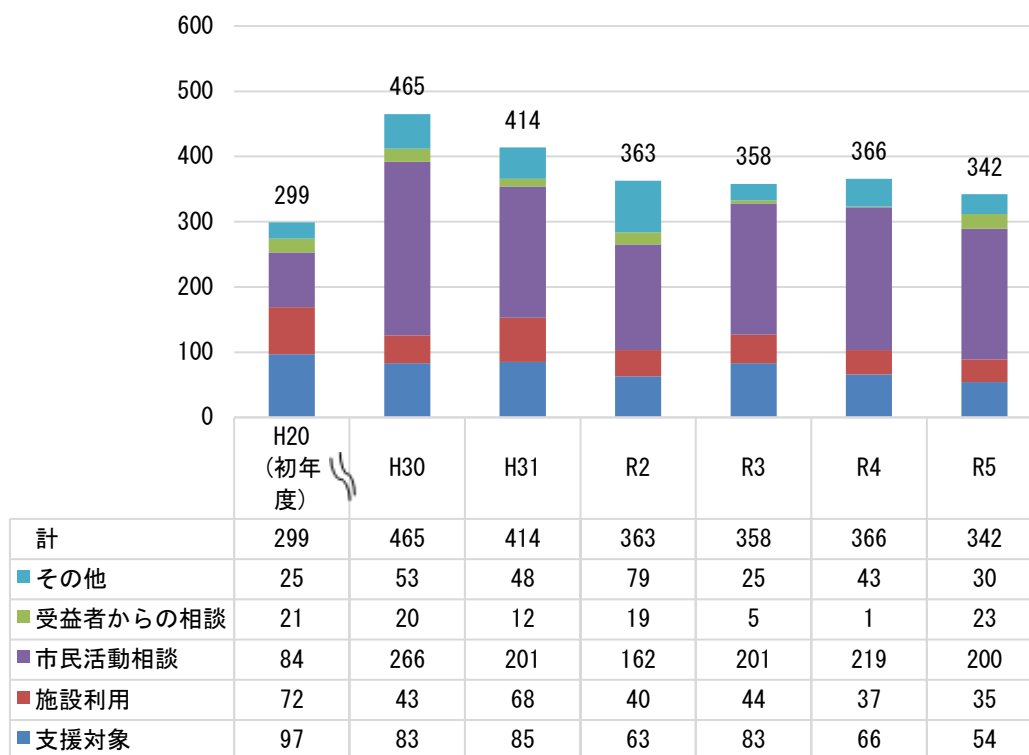
相談件数 令和5年度比較

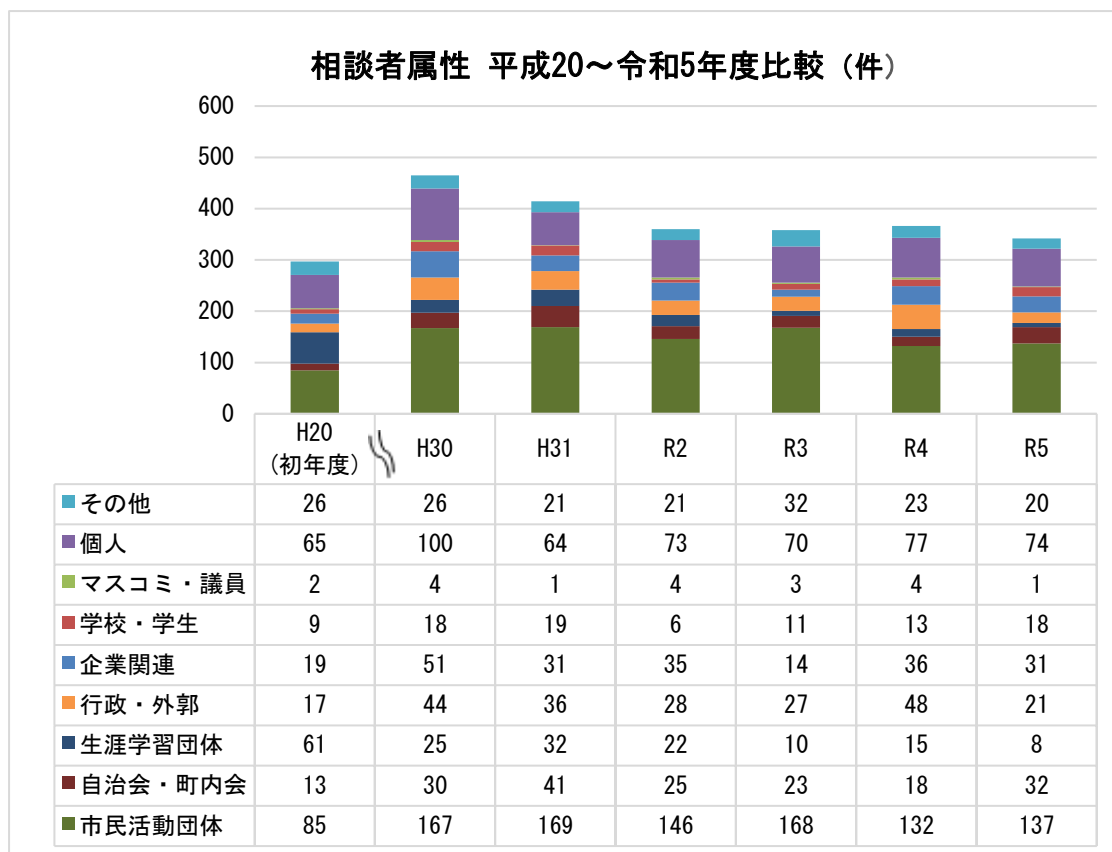
総件数 342件（月平均 28.5件）

総対応時間 7,332分（1件平均 21.4分）

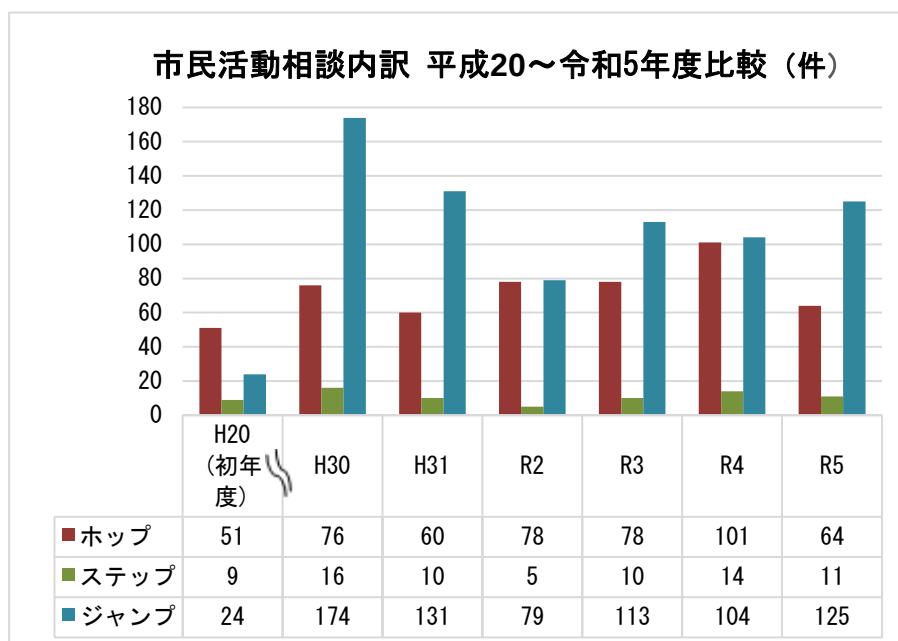
年間の総件数は前年度より24件減少して342件であった。コロナ禍以降の令和2年からの平均は362件であるので、ほぼ例年通りと言える。市民活動相談は19件減少して200件、支援対象相談も12件減少して54件となった。理由としては、新規利用の場合に支援対象の判断をしており、支援対象相談数は新規利用団体数と直結するため、新規利用団体が減少したため、支援対象相談も減少したと推測できる。一方、受益者からの相談は22件増加して23件となり、ここ数年で最も高い数字となった。団体の情報を求める個人からの相談先としても機能することができた。

相談件数 平成20～令和5年度比較（件）



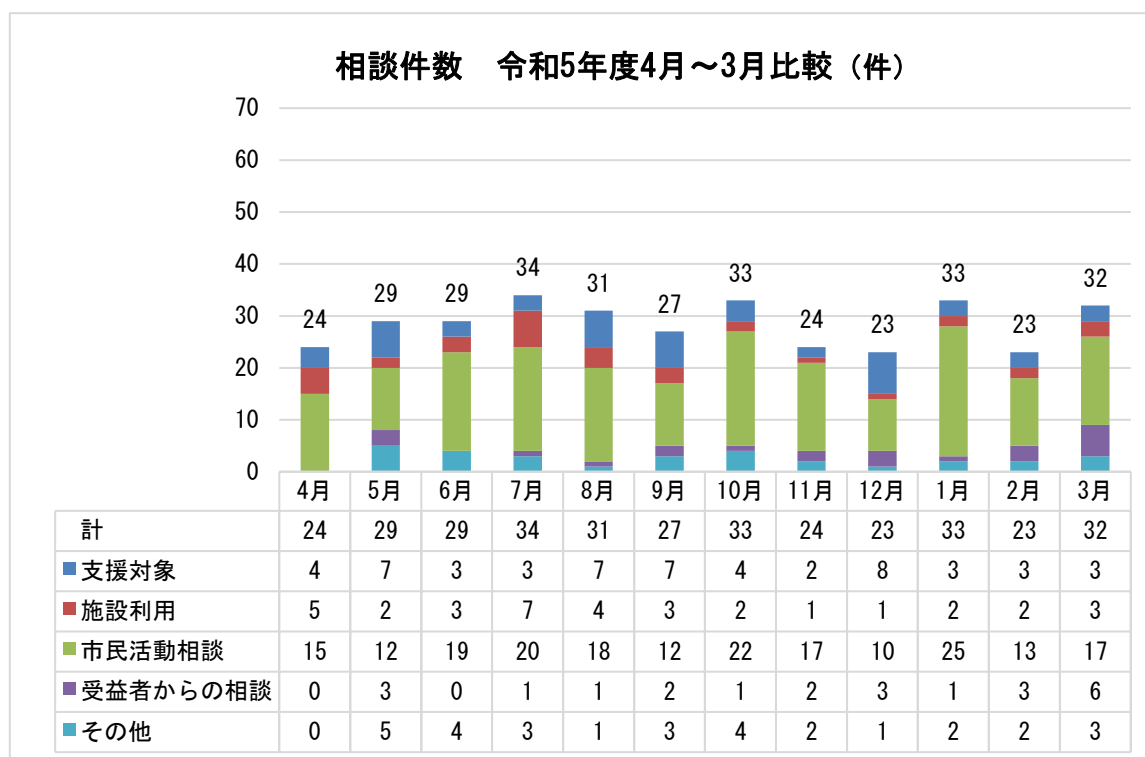


相談者属性は、例年通り市民活動団体が最も多く、ついで個人からの相談が多かった。前年度と比べて 177.8%（14 件増）と増加率が高かったのは自治会・町内会。新型コロナウイルス感染症が 5 類へ移行となり、夏祭りなどのイベントが増えたことが要因と考えられる。また、学校・学生からも前年度比 138.5%（5 件増）と増加している。地域課題や市民活動に関して、学校と連携する事例が増えてきたことが要因に挙げられる。

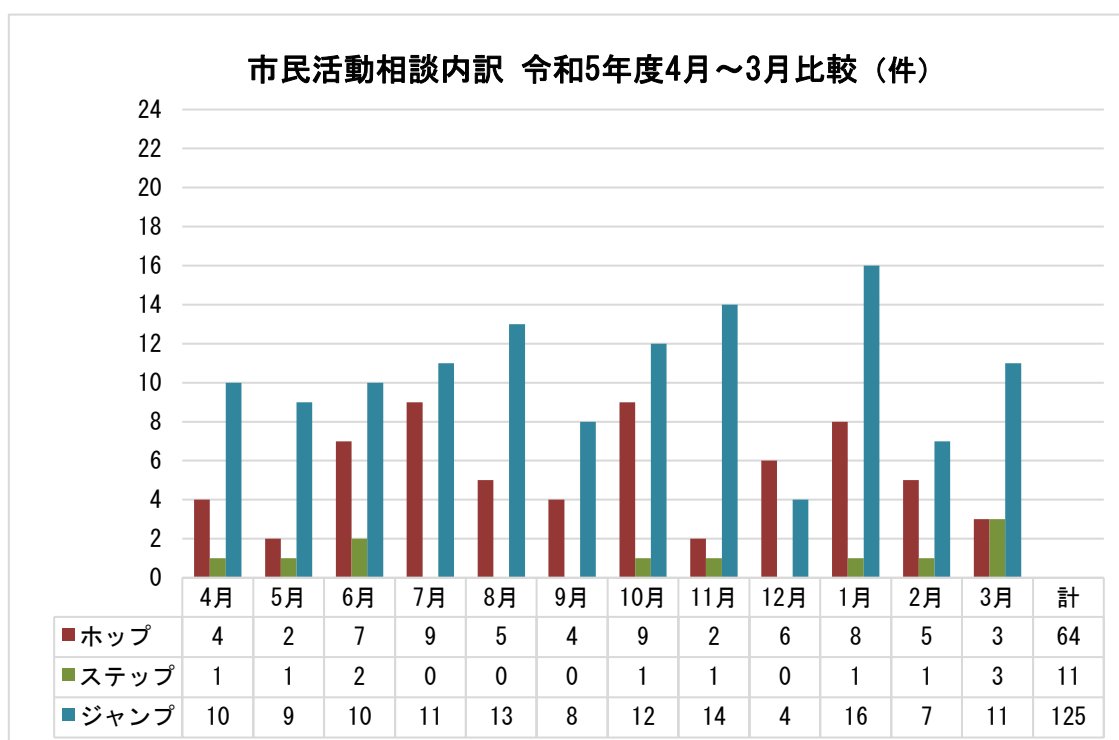


市民活動相談の段階別件数は、ホップが前年度比 63.4%、ステップは前年度比 78.6%、ジャンプは前年度比 120.2%となっており、市民活動相談のうち「ジャンプ」が 62.5%を占めた。

相談件数 月別比較



今年度の月ごとの相談件数はほぼ一定していた。敬老会、クリスマス、年始、年度末といったイベントの1～2カ月前に施設利用の相談や団体情報の問い合わせ、イベント運営相談が増える傾向があった。



市民活動の相談内訳としては、ホップは 7 月と 10 月が 9 件、ステップは 3 月が 3 件、ジャンプは 1 月 11 件でが最多であった。7 月のホップは、ボランティア情報の問い合わせや寄付についての相談が多かった。1 月のジャンプはイベントの運営に関する相談が多かったほか、これまでのヒアリングやインキュベート相談会で運営課題としてあがっていた Web 関連の相談も多くあった。

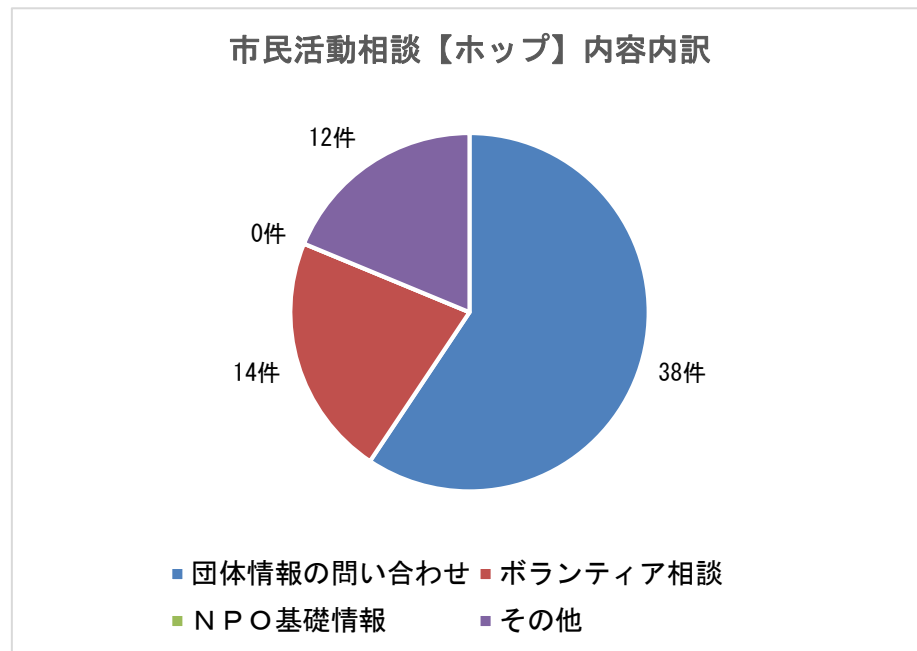
次ページ以降、市民活動相談のホップ・ステップ・ジャンプの各々の相談内容について記載する。

市民活動相談の内訳

■ホップ

…NPO基礎情報、ボランティア相談、市民活動団体の情報提供など

市民活動相談 200 件の内、ホップ 64 件（32.0%）



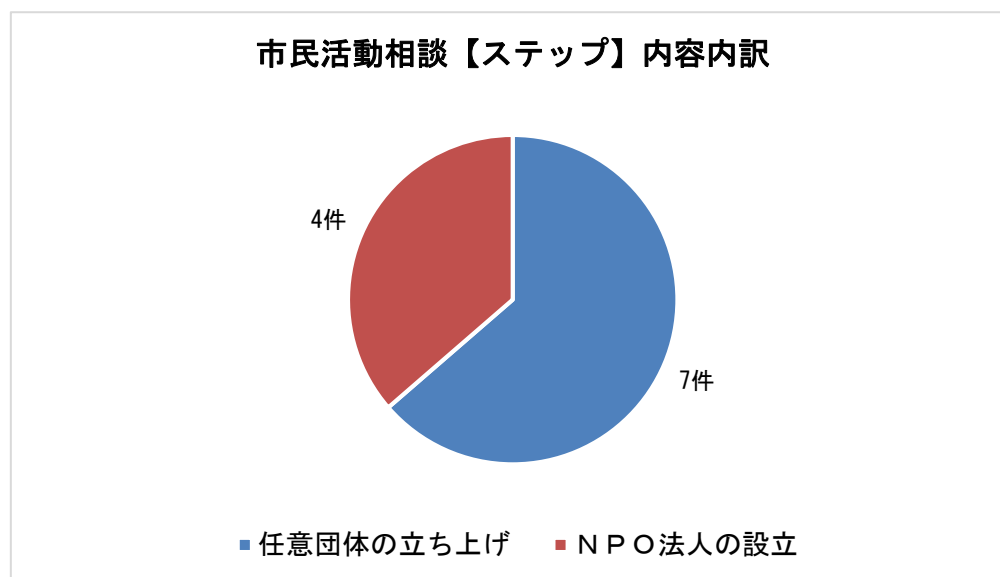
「ホップ」の相談は、64 件で前年度と比べると 37 件減少した。相談内容としては、個人からの団体情報の問い合わせが多く、ついでボランティア相談も多かった。

その他については、団体の近況の情報共有やボランティアや活動実践の前段階の個人の想いを話すなどの内容だった。

■ステップ

…任意団体立ち上げやNPO法人化に関する相談

市民活動相談 200 件の内、ステップ 11 件（5.5%）



「ステップ」の相談内容は、活動を始めたいという個人からの相談、法人格についての相談、現在の活動とは異なる別団体の立ち上げを検討しているという相談などがあつた。

令和5年度 立ち上げ相談を行った団体・活動（5 団体／活動）

団体・活動名	活動内容	備考
個人	子育て世代・子どもの居場所づくり	電話での相談
コードアドベンチャー多賀城	社会教育・生涯学習	来館しての相談 現在の事業とは別の任意団体の設立
個人	バリアフリーの推進	来館しての相談
個人	コミュニティづくり	来館しての相談
個人	高齢者向けの音楽サークル	来館しての相談

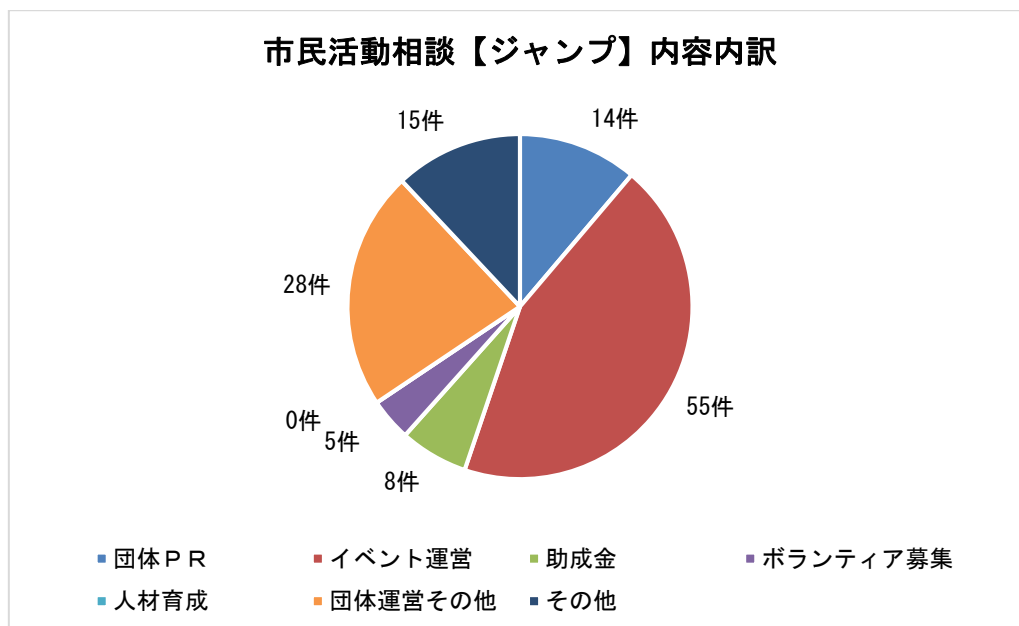
令和5年度 団体の法人化のサポート（2 団体）

団体・活動名	活動内容	備考
一般社団法人夢と絆	社会教育	NPO法人化の相談
障がい者サポーターズ Golazo！	共生社会の実現	一般社団法人化の相談

■ジャンプ

…資金調達、広報など団体運営に関する相談

市民活動相談 200 件の内、ジャンプ 125 件（62.5%）



市民活動相談の中でイベント運営に関する相談が 55 件で占める割合が 62.5%と最も多く、件数も前年度比 120.2%である。NPOつながり支援事業のアフターフォローや継続しての相談対応、イベントの運営や団体のPR、助成金など、団体運営全般にわたる内容の相談が多く、事務用ブースの入居団体のインキュベート相談を含め、団体の運営課題解決のための伴走支援を行った。

その他の相談の内容としては、団体の活動に運営相談に留まらない多様なセクターでの連携に関する相談が多かった。

参考-3: 相談対応推移(平成20～令和5年度)

		H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5														
1. 件数、人数、属性など		計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	総計	
相談件数(件)		299	310	354	527	287	226	340	315	320	328	465	414	363	358	366	24	29	29	34	31	27	33	24	23	33	23	32	342	5,614	
開館日(日)		253	305	289	306	306	304	306	306	307	305	306	307	305	304	307	26	26	26	27	26	26	27	25	23	23	25	27	307	4,823	
件数平均(件/日)		1.2	1.0	1.2	1.7	0.9	0.7	1.1	1.0	1.0	1.1	1.5	1.3	1.2	1.2	1.2	0.9	1.1	1.1	1.3	1.2	1.0	1.2	1.0	1.4	0.9	1.2	1.1	1.2	1.2	
人数(人)		348	374	386	645	375	307	377	357	421	401	536	504	408	445	426	24	33	32	36	36	28	36	24	25	39	24	37	374	6,684	
対応時間計(分)		5,558	6,345	7,434	10,476	7,664	5,412	7,593	7,182	8,209	8,499	11,110	9,334	6,513	7,851	8,082	362	761	554	478	510	545	555	604	515	985	505	958	7,332	124,594	
対応時間平均(分/日)		22.0	20.8	25.7	34.2	25.0	17.8	24.8	23.5	26.7	27.9	36.3	30.4	21.4	25.8	26.3	13.9	29.3	21.3	17.7	19.6	21.0	20.6	24.2	22.4	42.8	20.2	35.5	23.9	25.8	
対応時間平均(分/件)		18.7	20.5	21.0	19.9	26.7	22.5	22.1	23.1	25.5	25.9	23.9	22.5	17.9	21.9	22.1	15.1	26.2	19.1	14.1	16.5	20.2	16.8	25.2	22.4	29.8	22.0	29.9	21.4	22.2	
対面	件数(件)	235	235	267	322	187	152	213	224	224	211	303	275	220	221	235	11	14	16	23	19	16	22	13	12	23	11	18	198	3,722	
	対応時間計(分)	4,858	5,789	6,572	8,463	6,481	4,585	6,295	6,165	5,984	7,279	9,055	7,535	5,256	6,172	6,743	222	575	433	378	410	425	435	365	410	880	320	763	5,616	102,848	
	対応時間平均(分/件)	20.7	24.6	24.6	26.3	34.7	30.2	29.6	27.5	26.7	34.5	29.9	27.4	23.9	27.9	28.7	20.2	41.1	27.1	16.4	21.6	26.6	19.8	28.1	34.2	38.3	29.1	42.4	28.4	27.6	
電話	件数(件)	58	67	81	195	87	72	119	99	88	105	137	115	126	126	110	13	14	12	10	12	7	9	9	9	6	11	14	126	1,711	
	対応時間計(分)	605	501	656	1,944	1,008	812	1,262	1,007	2,050	1,076	1,875	1,399	1,096	1,274	1,013	140	181	118	90	100	60	110	179	80	80	170	195	1,503	19,081	
	対応時間平均(分/件)	10.4	7.5	8.1	10.0	11.6	11.3	10.6	10.2	23.3	10.2	13.7	12.2	8.7	8.7	9.2	10.8	12.9	9.8	9.0	8.3	8.6	12.2	19.9	8.9	13.3	15.5	13.9	11.9	11.2	
その他	件数(件)	4	7	6	9	13	2	8	2	8	12	25	24	17	10	21	0	1	1	1	0	4	2	2	2	4	1	0	18	186	
	対応時間計(分)	95	55	206	39	175	15	36	10	175	133	180	400	161	405	326	0	5	3	10	0	60	10	60	25	25	15	0	213	2,624	
相談者属性	市民活動団体(件)	85	82	106	155	99	80	93	106	110	110	167	169	146	168	132	7	7	13	9	12	13	15	14	7	18	10	12	137	1,945	
	自治会・町内会(件)	13	14	25	18	27	18	31	28	14	21	30	41	25	23	18	5	3	3	7	5	2	2	1	0	2	0	2	32	378	
	生涯学習団体(件)	61	31	39	59	11	8	23	23	12	14	25	32	22	10	15	1	0	0	2	2	2	0	0	1	0	0	0	8	393	
	行政・外郭(件)	17	16	25	24	23	26	27	32	22	28	44	36	28	27	48	2	2	1	2	1	2	3	1	2	0	2	3	21	444	
	企業関連(件)	19	24	30	56	23	13	24	22	44	28	51	31	35	14	36	3	7	1	2	2	2	4	3	4	2	0	1	31	481	
	学校・学生(件)	9	7	9	19	11	2	11	5	10	27	18	19	6	11	13	0	1	5	0	2	1	4	2	2	0	1	0	18	195	
	マスコミ・議員(件)	2	2	2	7	2	2	2	2	2	2	4	1	4	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	42
	個人(件)	65	88	81	127	62	51	90	64	63	60	100	64	73	70	77	3	6	6	11	3	4	3	5	10	9	11	74	1,209		
	その他(件)	26	45	33	62	30	25	32	33	43	38	26	21	21	32	23	3	3	0	1	4	1	2	0	2	1	1	2	20	510	
初来館	初来館者(人)	126	97	99	165	88	79	96	64	88	70	76	76	43	59	50	2	8	3	5	1	3	1	4	5	3	4	6	45	1,321	
	どこで知ったか	公共施設(人)	37	23	34	46	16	23	24	16	12	17	15	13	4	12	7	0	0	0	1	0	2	0	2	0	1	0	0	6	305
		口コミ(人)	14	15	8	24	18	14	25	9	18	27	22	20	9	8	6	0	1	0	2	0	0	0	1	1	1	1	1	8	245
		SCホームページ(人)	11	15	24	29	21	19	25	16	24	6	9	8	12	18	19	1	3	2	1	1	0	0	0	2	0	1	3	14	270
		その他(人)	64	44	33	66	33	23	22	23	34	20	30	35	18	21	18	1	4	1	1	0	1	1	1	2	1	2	2	17	501
2. 相談内容の内訳																															
(1) 支援対象について																															
相談件数(件)		97	99	94	163	73	57	100	76	105	81	83	85	63	83	66	4	7	3	3	7	7	4	2	8	3	3	3	54	1,379	
対応時間(分)		1,217	1,185	1,003	1,857	855	727	1,221	860	1,354	1,113	1,065	1,097	615	905	688	45	88	20	30	55	60	40	24	70	20	15	30	497	16,259	
対応時間平均(分/件)		12.5	12.0	10.7	11.4	11.7	12.8	12.2	11.3	12.9	13.7	12.8	12.9	9.8	10.9	10.4	11.3	12.6	6.7	10.0	7.9	8.6	10.0	12.0	8.8	6.7	5.0	10.0	9.2	11.8	
利用目的	貸室(件)	77	69	62	116	59	37	71	56	81	62	53	58	49	69	51	4	5	3	3	5	6	2	2	6	1	3	2	42	1012	
	印刷室(件)	9	16	27	19	5	10	15	6	9	6	5	3	3	4	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	143	
	チラシ(件)	6	10	4	9	6	6	10	11	14	5	21	21	11	9	7	0	1	0	0	2	1	1	0	1	1	0	1	8	158	
	ポスター(件)	2	0	1	4	0	0	2	0	0	0	1	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	15	
	その他(件)	3	4	0	5	3	4	2	3	2	8	3	2	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	42	
(2) 施設利用相談																															
「施設利用相談」(件)		72	25	46	60	13	11	29	42	27	22	43	68	40	44	37	5	2	3	7	4	3	2	1	1	2	2	3	35	614	
対応時間(分)		866	270	599	643	136	170	296	655	415	270	545	920	550	525	323	45	10	28	57	20	20	30	10	20	20	15	25	300	7,483	
対応時間平均(分/件)		12.0	10.8	13.0	10.7	10.5	15.5	10.2	15.6	15.4	12.3	12.7	13.5	13.8	11.9	8.7	9.0	5.0	9.3	8.1	5.0	6.7	15.0	10.0	20.0	10.0	7.5	8.3	8.6	12.2	
場の提供	貸室(件)	46	11	19	34	2	3	10	19	16	7	15	13	7	22	11	1	1	1	4	1	1	0	0	1	1	2	2	15	250	
	フリースペース(件)	2	1	1	1	2	1	5	7	1	1	3	13	3	3	4	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	50	
	ロッカー(件)	3	2	1	0	0	0	2	1	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	14	
	レターケース(件)	3	1	2	1	1	1	0	1	1	1	1	1	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	19	
	共同事務室(件)	2	4	1	6	2	0	1	4	5	3	3	4	4	2	3	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	45	
	展示スペース(件)	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
	駐車場(件)	0	0	3	3	1	1	0	0	0	1	0	6																		

(3) 情報提供

1) 団体情報ファイル・団体紹介シート

①団体情報ファイル

団体情報ファイルには、団体ごとに団体紹介シート、パンフレット、チラシ、定款・会則、予算書、決算書、事業計画書、報告書などをファイリングしている。

このファイルは、団体の運営・事業の参考となる情報源であり、新規団体立ち上げの先行事例としても紹介できるものである。また、受益者がサービスを受ける場合や、市民がボランティアとして活動に参加する場合にも活用できる。

団体情報ファイルは、全国の活動団体の情報を「二市三町」「県内」「県外」のジャンルごとに分けてファイリングしており、利用者は館内で自由に閲覧できる。

今年度末現在、ファイリングしている総団体数は 2,301 団体。26 団体の追加があった（前年度の追加は 33 団体。前年比 78.8%）。

「二市三町」の団体数は、352 団体で、今年度は 12 団体の追加があった（前年度の追加は 9 団体。前年比 133.3%）。事業などで関わりを深めた団体や、相談対応をきっかけに活動を始めた団体も見受けられた。

分野別の特徴としては、まちづくりの団体や自治会・町内会などの地域に根差した活動に取り組む団体、子育てを支援する団体や子どもを対象にしたイベントを開催する団体などの子どもの育成に取り組む団体の増加が目立った。

次年度以降も、多賀城の新しい団体の情報収集により力を入れるとともに、収集した情報を市民が活用しやすいよう発信していく。

令和 5 年度多賀城市市民活動サポートセンター年間事業報告書

○団体情報ファイル数（単位：団体） ※二市三町：多賀城市・塩竈市・七ヶ浜町・利府町・松島町

	二市三町	県内	県外	合計	キーワード
福祉	27	152	63	242	障がい者支援、高齢者支援、移送サービス、配食サービス、地域福祉
医療・保健・健康	15	58	96	169	健康、医療、難病支援、カウンセリング、自殺予防、保健、依存症
スポーツ	28	23	4	55	スポーツ振興
人権・ジェンダー	11	54	53	118	平和、貧困支援、労働問題、人権、男女共同参画、DV、マイノリティ、ジェンダー、ひきこもり
子どもの育成・支援	54	120	92	266	子育て、青少年健全育成、障がい児支援、学習支援、児童虐待、不登校、母子・父子家庭支援
社会教育	18	18	22	58	生涯学習
環境	13	113	96	222	自然保護、環境保全、リサイクル、農業・林業・漁業・食育、動物・ペット、エネルギー
まちづくり	59	175	125	359	まちづくり、地域づくり、コミュニティ形成、地域おこし、観光
災害救援・地域安全	6	30	30	66	災害救援、被災者支援、地域防災・安全
国際交流・協力	8	37	66	111	国際交流、国際協力、在日外国人支援、フェアトレード
文化・芸術	77	142	56	275	文化振興、文学、音楽、映画、演劇、アート、歴史、伝統文化、ミニコミ出版、芸術、工芸
シニア	3	14	5	22	団塊世代、セカンドライフ
市民活動支援	2	27	200	229	市民活動団体支援、助成活動
その他	2	32	36	70	オンブズマン、政策提案、消費者保護、科学技術、職能開発、コミュニティビジネス、その他
地域組織	29	7	3	39	自治会、町内会、地域自主組織、まちづくり協議会、老人クラブ、子ども会
合計	352	1,002	947	2,301	

○分野別団体情報ファイル経年変化（単位：団体）

年度 分野	H20 (初年度)	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R4→R5 増減	R5 増加数	
福祉	52	221	226	237	237	241	242	+1	3	注 1
医療・保健・健康	34	161	162	162	164	166	169	+3	3	
スポーツ		49	50	51	53	54	55	+1	1	
人権・ジェンダー	20	108	112	112	116	117	118	+1	1	注 2
子どもの育成・支援	57	242	252	255	262	265	266	+1	4	
社会教育		54	55	55	55	55	58	+3	1	
環境	32	203	209	209	214	220	222	+2	2	注 3
まちづくり	47	331	340	342	349	355	359	+4	4	
災害救援・地域安全		55	57	58	63	66	66	±0	0	
国際交流・協力	19	105	106	108	109	110	111	+1	2	注 4
文化・芸術	22	251	265	267	270	274	275	+1	2	注 5
シニア	8	20	20	20	21	22	22	±0	0	
市民活動支援	47	222	225	225	228	228	229	+1	1	
その他	19	68	68	68	70	70	70	±0	0	
地域組織		30	33	33	36	37	39	+2	2	
合計	357	2,120	2,180	2,192	2,247	2,280	2,301 前年度比: 100.9%	+21	計 26	

注 1 福祉…2 団体削除、3 団体新規追加（R5 増減+1）

注 2 子どもの育成・支援…3 団体削除、4 団体新規追加（R5 増減+1）

注 3 社会教育…2 団体分野変更により追加、1 団体新規追加（R5 増減+3）

注 4 国際交流・協力…1 団体分野変更により削除、2 団体新規追加（R5 増減+1）

注 5 文化・芸術…1 団体分野変更により削除、2 団体新規追加（R5 増減+1）

■分野の変更について

- ・医療・福祉・健康とスポーツは平成 29 年度より分離
- ・子どもの育成支援と社会教育は平成 29 年度より分離
- ・まちづくりと災害救援・地域安全は平成 29 年度より分離
- ・地域組織は平成 22 年度より集計開始

〇二市三町分野別団体情報ファイル経年変化（単位：団体）

年度 分野	H20 (初年度)	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R4→R5 増減	R5 増加数	
福祉	4	19	21	21	26	28	27	－1	0	注 1
医療・保健・健康	3	13	13	13	14	15	15	±0	0	
スポーツ		24	24	25	27	27	28	＋1	1	
人権・ジェンダー	0	7	8	8	10	10	11	＋1	1	
子どもの育成・支援	6	43	48	49	52	53	54	＋1	2	注 2
社会教育		15	16	16	16	16	18	＋2	1	注 3
環境	6	10	10	10	11	11	13	＋2	2	
まちづくり	8	48	52	53	56	57	59	＋2	2	
災害救援・地域安全		4	4	4	5	6	6	±0	0	
国際交流・協力	5	8	8	8	9	9	8	－1	0	注 4
文化・芸術	1	70	73	74	76	77	77	±0	1	注 5
シニア	0	2	2	2	2	3	3	±0	0	
市民活動支援	1	2	2	2	2	2	2	±0	0	
その他	0	2	2	2	2	2	2	±0	0	
地域組織		20	23	28	26	27	29	＋2	2	
合計	34	287	306	306	334	343	352 前年度比： 102.6%	＋9	計 12	

注 1 福祉…1 団体削除、新規追加なし（R5 増減-1）

注 2 子どもの育成・支援…1 団体削除、2 団体新規追加（R5 増減＋1）

注 3 社会教育…1 団体分野変更により追加、1 団体新規追加（R5 増減＋2）

注 4 国際交流・協力…1 団体分野変更により削除、新規追加なし（R5 増減-1）

注 5 文化・芸術…1 団体分野変更により削除 1 団体新規追加（R5 増減±0）

〇エリア別団体情報ファイル経年変化（単位：団体）

年度 エリア	H20 (初年度)	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R4→R5 増減
二市三町	34	287	306	316	334	343	352 前年度比:102.6%	＋9
県内	188	926	959	961	980	997	1,002 前年度:100.5%	＋5
県外	135	907	915	915	933	940	947 前年度比:100.7%	＋7
合計	357	2,120	2,180	2,192	2,247	2,280	2,301 前年度比:100.9%	＋21

②団体紹介シート

市民活動団体の情報発信を支援するTSC独自のツール。団体の連絡先、設立経緯、目的、活動内容、アピールポイントなどを記入するもの。提出された団体紹介シートは団体情報ファイルにファイリングしているとともに、TSCのウェブサイト上で公開しており、市民が自由に閲覧できる。今年度末現在、112団体の団体紹介シートを公開している。

○団体情報シート数（単位：団体） ※二市三町：多賀城市・塩竈市・七ヶ浜町・利府町・松島町

	二市三町	県内	県外	合計	キーワード
福祉	8	4	0	12	障がい者支援、高齢者支援、移送サービス、配食サービス、地域福祉
医療・保健・健康	0	2	0	2	健康、医療、難病支援、カウンセリング、自殺予防、保健、依存症
スポーツ	2	3	0	5	スポーツ振興
人権・ジェンダー	3	2	0	5	平和、貧困支援、労働問題、人権、男女共同参画、DV、マイノリティ、ジェンダー、ひきこもり
子どもの育成・支援	14	9	0	23	子育て、青少年健全育成、障がい児支援、学習支援、児童虐待、不登校、母子・父子家庭支援
社会教育	10	1	0	11	生涯学習
環境	4	2	0	6	自然保護、環境保全、リサイクル、農業・林業・漁業・食育、動物・ペット、エネルギー
まちづくり	13	6	1	20	まちづくり、地域づくり、コミュニティ形成、地域おこし、観光
災害救援・地域安全	0	0	0	0	災害救援、被災者支援、地域防災・安全
国際交流・協力	2	2	0	4	国際交流、国際協力、在日外国人支援、フェアトレード
文化・芸術	12	2	0	14	文化振興、文学、音楽、映画、演劇、アート、歴史、伝統文化、ミニコミ出版、芸術、工芸
シニア	2	0	0	2	団塊世代、セカンドライフ
市民活動支援	0	3	0	3	市民活動団体支援、助成活動
その他	0	0	0	0	オンブズマン、政策提案、消費者保護、科学技術、職能開発、コミュニティビジネス、その他
地域組織	1	0	0	1	自治会、町内会、地域自主組織、まちづくり協議会、老人クラブ、子ども会
合計	73	38	1	112	

2) ウェブサイト・ブログ・X（旧ツイッター）

①ウェブサイト・ブログについて

		ウェブサイト	ブログ	
		訪問者数	訪問者数	記事数
平成 21 年度(初年度)		9,777	15,889	74
平成 29 年度		8,758	28,869	225
平成 30 年度		13,920	35,412	261
平成 31 年度		14,662	45,661	237
令和 2 年度		12,693	38,204	214
令和 3 年度		15,038	46,321	225
令和 4 年度		14,040	41,381	222
令和 5 年度	4 月	1,088	2,964	21
	5 月	1,263	3,146	16
	6 月	1,134	2,745	19
	7 月	1,295	3,120	22
	8 月	1,245	3,084	20
	9 月	1,266	3,255	19
	10 月	1,423	4,200	20
	11 月	1,491	5,262	19
	12 月	1,422	3,793	21
	1 月	1,478	4,557	19
	2 月	1,344	3,636	16
	3 月	1,511	4,400	20
令和 5 年度計		15,960	44,162	232

ウェブサイト：平成 21 年 12 月 25 日開設

ブログ：平成 20 年 7 月 19 日開設

ウェブサイトは主に T S C の機能や事業を、ブログは主に市内外の市民活動に関わる取り組みやノウハウ、地域イベント等を発信している。

※訪問者数比較

前年度比：ウェブサイト 113.7%

ブログ 106.7%

積極的な情報発信を心がけ、ウェブサイト、ブログともに訪問者を増やすことができた。特にブログでは、曜日ごとに発信内容を変えて定期的に情報を発信した。

ブログ訪問者の 8~9 割はブックマークをしている人であり、T S C 事業に対して関心を持つ市民、ブログを通じて市民活動や地域の情報を得ようとしている市民であると考えられる。

T S C の事業の告知や報告の記事の閲覧数が多い傾向があり、特に 11 月は、雑貨市関連の団体紹介を掲載したため、アクセスが増加した。

※平成 28 年 5 月にセキュリティ対策としてウェブサイトの訪問者数測定ソフトを変更。同一人が重複してカウントされない方法となった。

※平成 30 年 4 月、ウェブサイトリニューアルに伴い訪問者測定ソフト・方法を変更。これまでは同一人が 1 ヶ月に何度訪問しても 1 件とカウントされていたが、同一人が訪問した回数だけカウントされるようになった。

②X（旧ツイッターについて） 平成 23 年 9 月 1 日開設

ブログ更新や T S C 事業の告知で活用し、フォロワーに対して広く T S C の情報を届けることができた。今後も継続して各事業とも連携し、講座やイベントの様子を発信など、多様な地域の情報の発信をしていく。

	フォロワー数
令和 5 年 3 月	2,008 人
令和 6 年 3 月	2,058 人 (+50)

3) たがさぼ文庫

たがさぼ文庫は、情報サロン内にある市民活動、NPO、地域活動などに関する書籍を集めた図書貸出コーナーとして平成21年6月1日より開始した。

広報、会計、労務など団体マネジメントに関する書籍、市民活動の入門となる書籍、各分野（福祉・まちづくり・子ども等）の専門書、活動の参考になるハウツー書籍をそろえている。また、NPOに関する絵本や震災関連の資料なども収集している。

蔵書数 (令和6年3月末現在)

・1,338冊 登録者数計245人

概要 ・事前登録により、貸出カードを発行

・1人2冊まで、貸出期間は2週間



令和5年度書籍貸出件数

		貸出図書		
		登録者数	貸出件数	貸出冊数
		人	件	冊
平成21年度（初年度）		37	100	132
平成29年度		11	60	87
平成30年度		10	75	102
平成31年度		10	63	95
令和2年度		14	63	94
令和3年度		20	85	121
令和4年度		6	57	77
令和5年度	4月	1	8	11
	5月	1	7	11
	6月	0	6	8
	7月	0	3	4
	8月	0	5	6
	9月	1	8	11
	10月	1	4	7
	11月	0	3	5
	12月	1	4	5
	1月	0	3	4
	2月	1	7	11
	3月	1	3	4
令和5年度計		7	61	87

登録者数：7人（前年比116.7%）

貸出件数：61件（前年比107.0%）

貸出冊数：87冊（前年比113.0%）

登録者数、貸出件数、貸出冊数すべてにおいて前年を上回ることができた。その要因としては、5～6月、9～10月の2度にわたり、1階エントランスで新入荷図書の紹介展示を行い、貸出図書の周知、利用促進の機会を設けたことがあげられる。

次年度は、TSC事業での図書の展示や講座・イベント時の新規登録や利用の呼びかけを行う機会を増やし、より多くの周知の機会、利用促進の機会を設けたい。また、地域・社会課題の解決のヒントとなる資料を揃え、市民にさまざまな情報を提供していく。

(4) 場の提供

1) 事務用ブース利用状況／事務用ブース入居団体インキュベート相談

○事務用ブース入居状況（令和 6 年 3 月 31 日現在）

ブース	団体名	入居期間（令和 6 年 3 月 31 日現在）
1	高崎こども食堂らっこ広場	令和 4 年 6 月入居 入居 2 年目
2	旭ヶ岡町内会	令和 5 年 2 月入居 入居 2 年目
3	障がい者サポーターズ Golazo!	令和 5 年 6 月入居 入居 1 年目
4	多賀城イングリッシュ・サポーターズ	令和 4 年 6 月入居 再入居 4 年目
5	宮城県学童保育連絡協議会	令和 4 年 9 月入居 再入居 3 年目
6	空き	
7	傾聴の会多賀城	令和 6 年 2 月入居 再入居 1 年目
8	生涯学習 100 年構想実践委員会	令和 4 年 9 月入居 再入居 8 年目

※旭ヶ岡町内会（令和 5 年 7 月 ブース 6 からブース 2 へ移動）

○事務用ブース入居団体インキュベート相談会について

事務用ブース入居 6 ヶ月後に、団体の代表者や事務局担当者と T S C スタッフで相談会を実施。1 団体あたり 1 時間程度、団体の活動の現状把握や運営課題の整理、課題解決に向けた情報提供やアドバイスなどを行った。

今年度の相談会では、運営の担い手を増やすにあたって業務内容の見直しや、団体の情報発信についての課題が多く出た。イベント告知や活動を広く知ってもらうための団体に合った広報手段について、専門家も交えて一緒に考えた。また、事業の規模や活動の範囲がコロナ前の状況に戻りつつある中、団体に合った方法で課題に向き合いながら解決する力がついてきている。法人格の取得を検討するなどさらなる事業の展開を模索している団体も出ている。



事務用ブース

○インキュベート相談会実施状況 ※①～⑦すべて、「NPOつながり支援事業」

団体名	日 時	参加者
傾聴の会多賀城	令和 5 年 7 月 28 日（金）14:00～15:00	2 名
旭ヶ岡町内会	令和 5 年 8 月 17 日（木）15:00～16:00	2 名
高崎こども食堂らっこ広場	令和 6 年 1 月 9 日（火） 9:00～10:00	1 名
多賀城イングリッシュ・サポーターズ	令和 6 年 1 月 12 日（金）15:00～16:00	1 名
障がい者サポーターズ Golazo!	令和 6 年 2 月 4 日（日）15:30～16:30	2 名
宮城県学童保育連絡協議会	令和 6 年 3 月 8 日（金）10:00～11:00	1 名
生涯学習 100 年構想実践委員会	令和 6 年 3 月 12 日（火）14:00～15:10	2 名

2) フリースペース利用状況

①フリースペース概要

○通常の利用

地域づくりに関わる方の交流を深めるための場として、予約不要・無料で利用できる。平成27年5月、2階ギャラリーにWi-Fiを設置、令和2年度からは全館でWi-Fiの利用が可能となり、利用者が自身のスマートフォンやノートパソコンなどでインターネット接続ができ、情報収集・発信を行うことができる。

令和2年度より、テーブル・イスの数を減らす、利用人数・利用時間に制限を設けるといった新型コロナウイルス感染予防対策を行っていたが、今年度の5月8日より、コロナ禍前の状態に戻しての運営となった。



1階ロビー

(「参考-1：主な項目の利用状況推移（平成20年度～令和5年度）」を参照)

○企画の利用

NPO、自治会・町内会、子ども会、生涯学習団体、個人、企業（社会貢献活動での利用）を対象に、展示、ワークショップ、交流会など、下記の目的のもと利用ができる。

【利用目的】

- ・団体の活動を多くの人に知ってもらう
- ・企画づくりを通して団体運営のパワーアップを図る
- ・市民が集い新たなつながりを生む
- ・市民が自分たちの住む社会・地域について知り、考える。
- ・市民が地域・社会のためにアクションを起こす



2階ギャラリー

○TSCからの情報発信活用

1階ロビーは、たがさぽ文庫などのTSCの機能や災害時の支援情報、フードボックスの設置、防災・減災関連やボランティア情報など、まちのことを考えるきっかけとなる情報を発信する場として活用している。

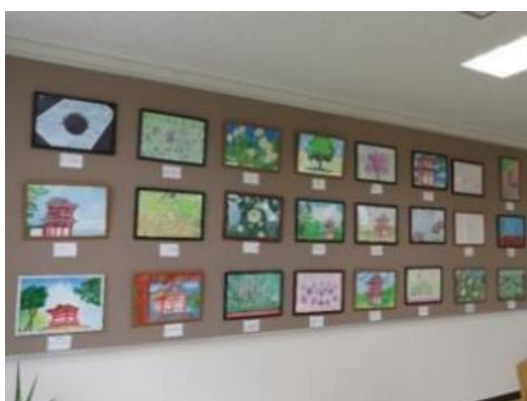


3階交流サロン

②企画の利用内容 2 団体計 2 回の利用があった（前年度は 6 団体計 6 団体の利用）

	企画タイトル	利用団体	期間	実施目的	実施内容	フロア	参加人数
1	令和 5 年度多賀城中学校美術部作品展	多賀城中学校美術部	7/22 ～ 8/1	保護者・地域の方に美術部の作品を見てもらうため	美術部の作品の展示	2 階 ギャラリー 3 階 交流サロン	100 名
2	さをり織り作品展 & ワークショップ	さをりひろば余暇よか	1/6 ～ 1/8	さをり織りの普及のため	作品の展示と織機を使ったワークショップ	3 階 交流サロン	60 名

③企画利用の様子



1. 令和 4 年度多賀城中学校美術部作品展
(多賀城中学校美術部)



2. さをり織り作品展&ワークショップ
(さをりひろば余暇よか)

④TSCからの情報発信活用の内容 10 回の企画を開催

	企画タイトル	期間
1	防災展示(トルコ・シリア地震支援情報/ 市内津波浸水想定情報など)	4/1～5/1
2	スロウタウンであそぼう！	4/22～7/16
3	たがさぼ文庫新入荷（前年度下半期購入分）図書展示	5/2～6/20
4	事務用ブース・ロッカー・レターケース利用団体活動報告書掲示	6/21～7/12
5	雑貨市きつずボランティア講座展示	7/14～8/27
6	令和 5 年豪雨災害支援情報展示	8/4～10/31
7	たがさぼ文庫新入荷（上半期購入分）図書展示	9/28～10/31
8	フードボックス	11/2～1/30
9	クリスマス雑貨市展示	11/24～12/25
10	令和 6 年能登半島地震支援情報展示	1/6～3/31



1. 防災展示
(4/1～5/1 1F エントランス)



2. スロウタウンであそぼう！
(4/22～7/16 3F 交流サロン)



3. たがさぼ文庫新入荷図書展示
(5/2～6/20 1F エントランス)



4. 事務用ブース・ロッカー・レターケース
利用団体活動報告書掲示
(6/21～7/12 1F エントランス)



5. 雑貨市きつずボランティア講座展示
(7/14～8/27 1F エントランス)



6. 令和5年豪雨災害支援情報展示
(8/4～10/31 1F ロビー)



7. たがさぼ文庫新入荷図書展示
(9/28～10/31 1F エントランス)



8. フードボックス
(11/2～1/30 1F ロビー)



9. クリスマス雑貨市展示
(11/24～12/25 2F ギャラリー)



10. 令和6年能登半島地震支援情報展示
(1/6～3/31 1F エントランス)

(5) 他団体・他機関との連携

1) 各会議・実行委員会への参加

地域課題を解決していくためには多様な主体で連携して取り組んでいく必要がある。今年度、TSCでは多賀城市の課や施設を横断しての情報交換や取り組みの場に参加した。

①Taga 懇「多賀城未来の懇談会」

- ・テーマを設けて市民と市長が情報共有し、直接対話・意見交換することを通して、一緒に多賀城の未来を考える。令和4年度から実施。

- ・令和5年度テーマ「日本一暮らしやすいまち」～つなぐ、つなげる。1300年。～

○主管

- ・多賀城市地域コミュニティ課

○TSCの役割

- ・ファシリテーターとして、参加者全員からの発言の引き出し、陳情・要望が出た際の軌道修正が依頼内容。

- ・市民参画のまちづくりのきっかけになるような場をつくること。

○実施状況

	実施日	対象の自治会町内会・会場	協力
第1回	5月27日 (土)	多賀城小学校区 (会場：TSC) 東田中親交会、新田中区親交会、旭ヶ岡町内会、留ヶ谷自治会、伝上山親和会、隅田会、向山町内会、東能ヶ田尚和会、西能ヶ田町内会、下馬西自治会、八幡下二町内会	中津
第2回	7月6日 (木)	山王小学校区 (会場：山王地区公民館) 新田一区町内会、新田二区町内会、新田三区、高橋東一区町内会、高橋東二区町内会、高橋南区町内会、高橋北区町内会、山王自治会、南宮自治会	中津
第3回	7月22日 (土)	天真小学校区 (会場：TSC) 鶴ヶ谷親和会、丸山町内会、黒石崎町内会、下馬東自治会、下馬南自治会、下馬北区自治会、桜木東区町内会、桜木中区町内会、桜木北区町内会	中津
第4回	11月18日 (土)	城南小学校区 (会場：TSC) 市川区、浮島地区自治会、城南自治会、高崎自治会、志引町内会	中津
第5回	11月30日 (木)	多賀城東小学校区 (会場：大代地区公民館) 笠神自治会、大代東町内会、大代中区町内会、大代西町内会、大代北区町内会、大代南区町内会	中津
第6回	1月25日 (木)	多賀城八幡小学校区 (会場：TSC) 東田中南自治会、桜木南区町内会、八幡上一町内会、八幡上二区町内会、八幡下二町内会、沖区振興会	中津

○成果

- ・参加者の発言機会を確保しつつ、市と市民が対立構造にならずに、意見やアイデアが出やすくなるような環境をつくることができた。
- ・Taga 懇で出た暮らしやすいまちの要素をもとに、実現するためのアイデア出しの場を T S C 事業で実施することができた。

○課題

- ・参加者同士意見を出し合い、新たなアイデア等を生み出す場にしていくためには、実施時間が不足している。

②施設情報交換会

市内の施設が連携して事業を実施し、各種対応について意見交換できるよう情報交換の場を設けている。平成 30 年度より始まった。

○参加団体・機関

- ・多賀城市文化センター（中央公民館・市民会館） ・山王地区公民館
- ・大代地区公民館 ・多賀城市総合体育館 ・多賀城市立図書館
- ・多賀城市地域コミュニティ課 ・多賀城市市民文化創造課

○T S C の役割

- ・T S C の取り組みや視点を各施設へ共有する。

○実施状況

	実施日	内容	参加
第 1 回	5 月 23 日 (火)	自己紹介／今年度の事業について コロナ 5 類移行後のコロナ対応	中津 西條
第 2 回	8 月 31 日 (木)	各施設からの報告 コロナ 5 類移行後の施設対応について 防災訓練について	西條
第 3 回	10 月 26 日 (木)	各施設からの報告 令和 6 年度事業計画について	西條
第 4 回	1 月 25 日 (木)	各施設からの報告 施設間連携の可能性について	川口 西條

○成果

- ・各施設の取り組みを共有することができた。
- ・施設間の連携が進み、対象によって他施設を利用することなどの事例が増えている。
- ・T S C の持つ市民活動や課題解決の視点から情報共有することができた。

○課題

- ・次年度以降も情報交換を続け、互いに連携して課題解決に取り組む場としていく。

③中央地区生活支援体制整備事業第2層協議体「ちゅうおう盛り上げ隊 たが和っか」

中央地区における見守り体制やコミュニティ支援について情報共有をしていくための協議体。

○参加団体・機関

- ・多賀城市中央地域包括支援センター ・社会福祉法人多賀城市社会福祉協議会
- ・多賀城市介護障害福祉課介護支援係 ・公益社団法人多賀城市シルバー人材センター
- ・せいふう多賀城駅前 ・アースサポート多賀城 ・デイサービスヒマワリ
- ・みんなで食べよう会 ・八幡下二区町内会 ・向山地区民生委員 ・志引地区住民
- ・多賀城市多賀モリ会 ・伝上山地区住民 ・八幡上一地区住民 ・八幡下二町内会
- ・隅田地区住民 ・NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター

○TSCの役割

- ・市民活動団体等の取り組みの共有。
- ・多様性を持った視点での情報共有。
- ・中央地区の活動者や活動を知り、事業などに活かす。

○実施状況

	実施日	内容	参加
第1回	4月14日 (金)	前年度のまとめ	川口
第2回	5月11日 (木)	「たが和っか」の役割など 多賀城市社会福祉協議会について	川口
第3回	6月19日 (月)	防災、居場所づくりチームでの話し合い シルバー人材センターについて	川口
第4回	7月11日 (火)	TSCが関わる防災の取り組みを共有 隅田地区・伝上山地区の取り組みについて	川口
第5回	8月10日 (木)	防災チームでの話し合い 事業所（デイサービスヒマワリ）について	川口
第6回	9月8日 (金)	防災チームに参加 みんなで食べよう会について	川口
第7回	10月16日 (月)	防災チームに参加 民生委員について	川口
※	10月11日 (水)	認定こども園つむぎ野と地域の避難訓練に参加	川口
第8回	11月14日 (火)	10月11日のつむぎ野の訓練の振り返り 多賀城市市民活動サポートセンターについて	川口
第9回	12月14日 (木)	報告会についての話し合い 居宅介護事業所について	川口
※	2月1日 (金)	地域支え合い講座 お宝事例発表会	川口
第10回	1月12日 (金)	報告会の準備・話し合い	川口

※	1 月 31 日 (水)	報告会リハーサル	川口
第 11 回	2 月 19 日 (月)	たが和つか活動報告会	川口
第 12 回	3 月 12 日 (金)	報告会の振り返り 八幡地区の活動について	欠席

○成果

- ・ T S C の関わる地域の防災の取り組みに協議体メンバーが参加した。
- ・ T S C の役割や取り組みを知ってもらうことができた。

○課題

- ・ よりさまざまな視点を T S C から発信し、地域住民と連携して課題解決に取り組む。

④東部地区生活支援体制整備協議体「あすなろう会」

東部地区における見守り体制やコミュニティ支援について情報共有をしていくための協議体。

○参加団体・機関

- ・ 多賀城市東部地域包括支援センター ・ 社会福祉法人多賀城市社会福祉協議会
- ・ 東部地域（黒石崎・下馬・笠神自治会・桜木）住民 ・ 多賀城市地域コミュニティ課
- ・ 多賀城市教育委員会生涯学習課

○T S C の役割

- ・ 市民活動団体等の取り組みの共有。
- ・ 多様性を持った視点での情報共有。
- ・ 東部地区の活動者や活動を知り、事業などに活かす。

○実施状況

実施日	内容	参加
2 月 16 日（金）	天真小学校わくわく広場 防災教室と昔あそび	川口

○成果

- ・ T S C が関わってきた防災の取り組みについて紹介し、視点を共有できた。
- ・ 東部地区の動きを知ることができた。

○課題

- ・ 学校ごとに協議体とわくわく広場が連携し、地域の防災の教育が促進するよう取り組む。

⑤多賀城市社会福祉協議会地域福祉活動計画推進委員会

「第 1 期地域福祉活動計画」の効果的な計画推進を目的に設置し、計画の進捗を管理するために開催。T S C からは、中津センター長が委員に委嘱されている。

○主管

社会福祉法人多賀城市社会福祉協議会

○構成メンバー

- ・ 学識経験者 ・ 民生委員 ・ 住民組織代表 ・ 福祉関係者 ・ ボランティア団体

- ・関係行政機関
- ・社会福祉法人宮城県社会福祉協議会

○TSCの役割

- ・市民活動・地域活動支援、協働促進に取り組む立場から、地域の課題、団体の運営課題を伝え、計画進捗管理・評価に反映させる。

○実施状況

実施日	内容	参加
3月4日（月）	多賀城市地域福祉活動計画の進捗状況について	中津

⑥多賀城市環境審議会

「第三次多賀城市環境基本計画」の各年度のふりかえりとトピックの報告を行う。TSCからは、中津センター長が委員に委嘱されている。

（任期：令和5年3月20日～令和7年3月19日）。

○主管

多賀城市環境施設課

○構成メンバー

- ・学識経験者
- ・関係行政機関
- ・市長が必要と認めた者

○TSCの役割

- ・市民活動・地域活動支援、協働促進に取り組む立場から、地域の課題、団体の運営課題を伝え、計画進捗管理・評価に反映させる。

○実施状況

実施日	内容	参加
11月20日（月）	「第三次多賀城市環境基本計画」の進捗状況について	中津

⑦令和5年度 多賀城市創業支援事業（ビジネスプランコンテスト）

多賀城市の地域振興に貢献する新たな魅力を創出することを目的に、地域活性化につながるビジネスプラン・アイデアを募集し、新たなビジネス・イノベーションの創出を図る。

○主管

- ・多賀城市産業振興課
- ・NPO法人海族DMC（企画・運営）

○TSCの役割

- ・地域資源や賑わいの創出の観点で審査を行う。

○実施状況

実施日	内容	参加
2月18日（日）	ビジネスプランコンテスト	中津

⑧令和 5 年度 地域学校協働本部会議

学校運営に地域住民の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えていく。
地域と学校が相互にパートナーとして連携協働して行っていく。

○主管

多賀城市教育委員会 生涯学習課

○構成メンバー

- ・地域学校協働推進委員 ・各小学校放課後子どもコーディネーター
- ・小中学校教員 ・公民館職員 等

○T S C の役割

- ・地域と学校のつながりのサポート。関係団体や取り組みの紹介。
- ・地域のキーパーソンとのつながりづくり。

○実施状況

実施日	内容	参加
4 月 27 日 (木)	第 1 回 ・地域学校協働活動事業について ・ネットワークづくりについて／T S C ・コミュニティスクールについて ・情報交換	中津
8 月 4 日 (金)	多賀城市協働教育研修会 講演・ワークショップ	川口
1 月 24 日 (水)	第 2 回 ・地域学校協働活動報告・事例発表	川口

⑨令和 5 年度 多賀城市立多賀城中学校 学校運営協議会

学校と地域住民等が力を合わせて学校運営に取り組むことが可能となるコミュニティスクール。「地域とともにある学校」を目指すための協議会。

○主管

多賀城市立多賀城中学校

○構成メンバー

- ・地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター） ・民生委員
- ・多賀城中学校 P T A ・主任児童委員 等

○T S C の役割

- ・コミュニティスクールの実践について。地域との連携についてのアドバイスや提案を行った。

○実施状況

実施日	内容	参加
9 月 21 日 (木)	第 2 回学校運営協議会 コミュニティスクールについて	川口
10 月 30 日 (月)	第 3 回学校運営協議会 コミュニティスクールの取り組みについて	川口

⑩令和5年度 災害ボランティアセンター体制整備事業 研修会

災害ボランティアセンターに関わる人材研修。災害時に迫られるとっさの対応や状況判断をゲームを通じて学び、多様な意見があることを知り、少数意見も大切なことを学ぶ。

○主管

多賀城市社会福祉協議会

○構成メンバー

- ・多賀城市町内会長連絡協議会 ・自治会・町内会 ・民生員児童委員協議会
- ・多賀城市危機管理課 ・多賀城市社会福祉課 等

○TSCの役割

- ・地域が災害に強くなるよう人材育成に連携して取り組む。

○実施状況

実施日	内容	参加
8月30日（水）	災害時に迫られるとっさの状況判断を防災カードゲーム『クロスロード』を通じて楽しく学ぶ	川口

⑪令和5年度地域懇談会

地域に開かれた児童館・児童クラブを目的に、地域との情報交換や児童館・児童クラブの取り組みを報告。地域との関わりを増やしていくための懇談会。

○主管

多賀城市鶴ヶ谷児童館／多賀城市西部児童センター

（NPO法人MIYAGI子どもネットワーク）

○構成メンバー

- ・各小中学校 ・地域の幼保施設 ・自治会・町内会 ・地域の主任児童委員
- ・多賀城市子育てサポートセンター ・ボランティア連絡会 ・市民活動団体等
- ・学校ボランティア ・各公民館 ・敬老会 等

○TSCの役割

- ・児童館の役割を知り、市民活動団体や取り組みを紹介。
- ・地域とのつながりや連携しての取り組みを推進していく。

○実施状況

実施日	内容	参加
2月6日（火）	鶴ヶ谷児童館 ・鶴ヶ谷児童館、放課後児童クラブの活動報告 （多小・東小・天真小） ・意見交換	中津
2月26日（月）	西部児童センター ・児童センター・放課後児童クラブ活動報告 （山王小・城南小・八幡小） ・意見交換	川口

⑫NPOサポートリンク

被災地の県域・市町村域を超えた支援組織のネットワーク化を行うことで、持続可能な地域復興の支え手となることを目的とする。

○参加団体・機関

- ・NPO法人おおふなと市民活動センター
- ・NPO法人陸前高田まちづくり協働センター ・NPO法人いわてNPOフォーラム 21
- ・NPO法人いわて連携復興センター ・一般社団法人気仙沼まちづくり支援センター
- ・気仙沼まち大学運営協議会 ・NPO法人いしのまきNPOセンター
- ・一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム ・NPO法人杜の伝言板ゆるる
- ・NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター ・南相馬市市民活動サポートセンター
- ・NPO法人ふくしまNPOネットワークセンター
- ・NPO法人アットマークリアスNPOサポートセンター
- ・NPO法人日本NPOセンター

○TSCの役割

- ・被災沿岸市町の支援センターの一員として、復興の先の地域づくりについて考える場をつくる。(平成 31 年度より参画)

○実施状況

実施日	内容	参加
5 月 9 日 (火)	第 1 回リンクアップ会議 ・今後のNPOサポートリンクの在り方について	中津
6 月 27 日 (火)	第 2 回リンクアップ会議 ・今後のNPOサポートリンクの在り方について	中津

○成果

- ・NPOサポートリンクで培われた被災沿岸市町の支援センターのネットワークにより、被災地域からNPOに関する情報発信や、相談できる関係性をつくることができた。
- ・助成期間の満了により、事業は終了となった。引き続きメーリングリストを中心に、情報交換を行っていく。

2) 他部署・他機関との連携事例

他セクターとの協力で課題解決に向けて実践した事例をまとめた。

①課題解決に向けた多様なセクター連携の取り組み

ア) 地域と連携した幼保施設の避難訓練

○下馬みどり保育園（下馬西地区）

【企画について】

日 時：令和5年8月21日（月）13:30～14:30（ルート確認・情報交換）

令和5年9月12日（火）10:00～11:00（避難訓練）

場 所：下馬みどり保育園→集会所経由→鎌倉公園

内 容：浸水地域ではないので、地震からの火災を想定し、訓練を行った。情報交換では、どのような場合に集会所に避難するかなどを確認した。

参 加：29名（情報交換10団体18名、避難訓練11団体11名）

【連携について】

概 要：自治会・町内会への声かけ

地域と保育園の情報交換会への参加

連携団体：下馬みどり保育園（主催）

- ・下馬西区自治会 ・多賀城中学校 ・東部地域包括支援センター
- ・地域の郵便局長（多賀城・下馬・高橋等） ・一般社団法人Bird's-eye
- ・宮城県復興局仙台支所 ・多賀城市危機管理課

成 果：幼保施設の訓練に、自治会・町内会、学校、地域の市民団体等をつなぎ、顔の見える関係づくりと今後の関係性ができるようサポートした。

○認定こども園つむぎ野（鶴ヶ谷地区）

【企画について】

日 時：令和5年9月21日（木）9:00～11:00（ルート確認・情報交換）

令和5年10月11日（水）10:00～11:00（避難訓練）

場 所：認定こども園つむぎ野→天真小学校（避難場所）

内 容：散歩中の地震発生を想定し、浸水する地域から砂押川にかかる橋を渡り一時避難場所へ垂直避難すること、その後避難場所まで避難する。

参 加：71名（情報交換16団体21名、訓練17団体147名 ※園児保護者を含む）

【連携について】

概 要：自治会・町内会への声かけ

地域と幼保施設の情報交換会への参加

連携団体：認定こども園つむぎ野（主催）

- ・鶴ヶ谷親和会 ・黒石崎町内会 ・八幡下二区町内会 ・伝上山
- ・東部地域包括支援センター ・地域の郵便局長（多賀城・下馬・高橋等）
- ・中央地域包括支援センター ・宮城県貞山高等学校

- ・多賀城市立多賀城中学校 ・多賀城市総合体育館
- ・多賀城市社会福祉協議体 ・アースサポート多賀城
- ・向山地区民生委員 ・多賀モリ会会員 ・多賀城市シルバー人材センター
- ・高崎こども食堂らっこ広場 ・一般社団法人チガノウラカゼコミュニティ
- ・株式会社ニシハタシステム ・株式会社サンロフト
- ・多賀城市危機管理課 ・東北電力ネットワーク塩釜電力センター
- ・一般社団法人 Bird's-eye

成 果： 幼保施設の訓練に、自治会・町内会、企業、地域の市民団体等をつなぎ、顔の見える関係づくりと今後の関係性ができるようサポートした。地域の浸水状況なども共有し、施設間の連携や学校なども含めた意識の共有を行った。

○大代保育園・柏幼稚園（大代地区）

【企画について】

日 時： 令和5年10月27日（金）10:00～12:00（ルート確認・情報交換）

令和5年11月17日（金）10:00～11:30（避難訓練）

場 所： ①大代保育園→東小学校（避難場所）

②柏幼稚園→東小学校（避難場所）

内 容： 指定避難場所へ各幼保施設から避難する想定。一時避難場所やルートなどを確認しながら行った。

参 加： 74名（ルート確認14団体24名、避難訓練23団体50名）

※雨天により、園児は避難せず、先生方だけで実施

【連携について】

概 要： 自治会・町内会への声かけ

保育所と自治会・町内会の情報交換会への参加

連携団体： 大代保育園（主催） ・柏幼稚園（主催）

- ・大代南区町内会 ・多賀城市消防団第6分団 ・サーラ文庫
- ・大代地区コミュニティ推進協議会 ・大代地区公民館
- ・多賀城・七ヶ浜商工会 ・地区の郵便局長（大代、下馬等）
- ・宮城復興局仙台支所 ・一般社団法人チガノウラカゼコミュニティ
- ・防災人ミーティング参加者 ・宮城県復興・危機管理部
- ・浜松マーガレット保育園 ・浜松市市民協働センター
- ・千葉大学教員養成開発センター ・千葉縣市原市双葉中学校
- ・株式会社ニシハタシステム ・株式会社サンロフト
- ・一般社団法人 Bird's-eye ・多賀城市危機管理課 他

成 果： 幼保施設の訓練に、自治会・町内会、企業、地域の市民団体等をつなぎ、顔の見える関係づくりと今後の関係性ができるようサポートした。

イ）地域と幼保施設の避難訓練・振り返りの会

【企画について】

日 時： 令和5年2月13日（火）13:30～15:00

会 場：多賀城市市民活動サポートセンター 大会議室

内 容：下馬・鶴ヶ谷・大代地区の3地区に分かれて今後の地域で出来る連携について話し合った。

参 加：30団体41名

【連携について】

概 要：今後のつながりを持つために、各地区ごとに必要である施設、団体に声がけした。地区ごとの連携のための話し合いに参加した。

連携団体：多賀城市危機管理課（主催）

- ・下馬みどり保育園 ・認定こども園つむぎ野 ・柏幼稚園
- ・大代保育園 ・もりのなかま保育園 多賀城高橋園
- ・多賀城はるかぜ保育園 ・鈴の花保育園 ・鶴ヶ谷児童館
- ・下馬西区自治会 ・下馬南自治会 ・下馬東自治会 ・鶴ヶ谷親和会
- ・大代中区町内会 ・大代南区町内会 ・多賀城中学校
- ・貞山高等学校 ・大代地区コミュニティ推進協議会 ・大代地区公民館
- ・防災人ミーティング参加者 ・多賀城市子育てサポートセンター
- ・多賀城市家庭教育支援チームあんだんて ・一般社団法人Bird's-eye
- ・地区の郵便局長（多賀城、明月） 他

成 果：・3地区ごとに行われた避難訓練の実施状況も異なったため、参加者からそれぞれ気づきを共有した。

- ・訓練に参加した市民活動団体や自治会・町内会、施設、学校など、幼保施設とのつながりだけでなく、地域での横のつながりが生まれた。

ウ) 避難訓練を体験して、防災リーダーに必要なことを学ぼう

【企画について】

日 時：令和5年11月16日（木）13:30～16:30

令和5年11月17日（金）10:00～11:30

会 場：大代地区公民館

内 容：県外からの視察者への防災研修、講演会、避難訓練ワークショップ

参 加：25名

【連携について】

概 要：これまで連携して行ってきた避難訓練の視点を県外や多様な立場の参加者と共有し、グループでのファシリテーターを行った。

連携団体：一般社団法人Bird's-eye（主催）

- ・浜松市市民協働センター ・浜松マーガレット保育園
- ・千葉大学教員養成開発センター ・千葉縣市原市双葉中学校
- ・株式会社ニシハタシステム ・株式会社サンロフト ・大代保育園
- ・宮城県復興局仙台支所 ・宮城県復興・危機管理部
- ・ソーシャルビレッジ仙台 ・地域の郵便局長（大代ほか4地区）
- ・わだつみ保育園 ・防災人参加者 ・東部地域包括支援センター
- ・一般社団法人チガノウラカゼコミュニティ ・多賀城市危機管理課 他

成 果：これまで多賀城で継続して開催してきた地域との訓練について、県外からの視察者へ伝えることができた

エ) 多賀城創建 1300 記念歴史シンポジウム ～多賀城碑の歴史的価値を考える～

【企画について】

日 時：①令和5年9月30日（土） 13:30～15:30

②令和5年10月28日（土） 13:30～15:30

③令和5年11月18日（土） 13:30～15:30

会 場：多賀城市市民活動サポートセンター

内 容：①多賀城碑への想いを語る！

②多賀城碑に関わった歴史上の人々

③多賀城碑を未来に活かす！ワークショップをみんなで考えよう！

参 加：①45名 ②43名 ③32名

【連携について】

概 要：TSCは主催する市民活動団体の依頼から3回目のワークショップのファシリテーターを行った。

連携団体：多賀城碑の歴史的価値を考える歴史シンポジウム実行委員会（主催）

（T・Sまちづくり協議会、多賀城市町内会有志の会）

・多賀城市・多賀城市教育委員会（共催）

成 果：・個人のアイデアをグループで共有することにより、多様なアイデアを引き出すことができた。

・歴史に関心を持つ層や今後も活動に関わっていきたいという人材の発掘になり、創建1300年に向けた市民の機運を高めることにつながった。

オ) 多賀城市長杯 多賀城創建 1300 年交流将棋大会

【企画について】

日 時：令和5年3月20日（水・祝）10:00～16:00（一般の部）

令和5年3月23日（土） 13:30～15:45（こどもの部）

会 場：多賀城市市民活動サポートセンター

内 容：・多賀城市を中心とした小学生対象の将棋大会の実施

・他市、多世代交流を目的とした将棋大会の実施

・創建1300年記念の市民団体の事業

・友好都市の山形県天童市との友好事業の一環

参 加：127名（小学生以下の部53名 一般の部74名）

【連携について】

概 要：TSCは主催する市民活動団体の運営サポートと、市内の事業所、観光協会、行政をつなぐ役割を担った。

連携団体：多賀城将棋ラボ（主催）

・多賀城市市民文化創造課 ・多賀城市観光協会 ・市内事業者

・市内小学校 他

成 果：市民活動団体と事業所や行政、観光協会をつなげ、連携して次世代への将棋文化継承のための事業を行うことができた。

カ) とんかつ一代 こども支援「特別な日においしいものを食べよう」プロジェクト

【企画について】

日 時：令和5年4月1日（土）～令和6年3月31日（月）

会 場：多賀城市内

内 容：多賀城の子どもたちへ支援したいという事業者と子どもの支援をしているNPO、団体、学校等をつないだ。

参 加：80名（チケット配布）

【連携について】

概 要：事業者の想いを形にして、必要としているこども支援の団体へつないだ。

連携団体：とんかつ一代（主催）

- ・NPO法人アスイク多賀城こども食堂 ・高崎こども食堂らっこ広場
- ・みんなで食べよう会 ・貞山高等学校 他

成 果：こども食堂などこども支援を行っている団体を通じて、届けたい対象へ支援を届けることができた。

キ) スロウなマルシェ スロウ日和

【企画について】

日 時：令和5年4月22日（土）10:00～17:00

会 場：多賀城市市民活動サポートセンター

内 容：聴覚障害のパン職人が主催するインクルーシブなマルシェ。

参 加：800名

【連携について】

概 要：・インクルーシブなマルシェに理解のある出展者・事業者の紹介

- ・雑貨市きっずボランティア参加の小学生ボランティア参加のサポート

連携団体：SEND.（主催）

- ・福祉施設 ・市民活動団体 ・小学生ボランティア ・TSC 他

成 果：商品POP、表示の工夫をしたり筆談を用いてコミュニケーションや、多様な人と言葉だけではないコミュニケーションの手段を知り、地域活動に触れる機会となった。

ク) 保護猫譲渡会

【企画について】

日 時：令和6年2月11日（土）13:30～16:30

会 場：大代地区公民館

内 容：公共施設での保護猫の啓発活動と譲渡会

参 加：約302名

【連携について】

概 要：・市民活動と公共施設での譲渡会開催へのコーディネート
・市民活動団体へのサポート

連携団体：にゃっ展室内譲渡会委員会（主催）

・大代地区公民館 ・保護猫活動市民団体 他

成 果：・室内で啓発活動や天候に左右されずに譲渡会ができた。
・課題を共有し、市民活動団体と公共施設をつなぎ、公共施設の室内ではじめて譲渡会の開催ができた。

②学校との連携

ア) 多賀城中学校 学校へ行こう！プレ交流会

【企画について】

日 時：令和 5 年 11 月 11 日（土）12:00～13:30

会 場：多賀城市立多賀城中学校 体育館周辺

内 容：学校と地域のつながりをつくるための交流イベント。多賀城で活躍する団体を知る場とする。

参 加：13 団体 43 名

【連携について】

概 要：・地域の市民活動団体、生涯学習団体を紹介し、プレ交流会の企画を学校とともにに行った。

・参加団体とともに中学校との交流を目指し運営サポートした。

連携団体：多賀城市立多賀城中学校／学校へ行こう実行委員会（主催）

・アイリス・プラス・ゾリステン ・多賀城高等学校合唱部

・NPO多賀城谷山学園 ・多賀城イングリッシュサポーターズ

・ソーシャルビレッジ多賀城 ・防災人ミーティング参加者

・多賀城市社会福祉協議会 ・生涯学習 100 年構想実践委員会

・アジアカフェ 他

成 果：市民活動団体や生涯学習団体が、市内の中学校で出店をすることで、学校が地域の人材を知り、団体が地域の開かれた学校を知るきっかけになった。今後のコミュニティスクールの動きの一步になった。

イ) 宮城県貞山高等学校 「総合的な探求の時間」地域国際交流活動

【企画について】

日 時：①令和 6 年 1 月 31 日（水）13:00～13:45

②令和 6 年 2 月 21 日（水）13:00～13:45

会 場：貞山高等学校

内 容：地域で働く外国人技能実習生とのコミュニケーションを通じて、異なる価値観や多角的な視点に気づき、探求的な物の見方や考え方を養う。

①講話「地域課題と国際化の現状を理解する」

②国際交流活動・探求学習の紹介

参 加：①46名、②56名

【連携について】

概 要：これまでの多文化共生事業を通じての多賀城市内の現状をお伝えし、宮城県国際化協会を紹介した。また、外国人技能実習生の受け入れをしている多賀城市内の企業を紹介した。

連携団体：宮城県貞山高等学校（主催）

・宮城県国際化協会 ・株式会社武蔵野 ・管理団体 他

成 果：宮城県、多賀城市の国際化の現状と、自分の暮らしている地域で働いている外国人技能実習生のことを知り、同じ地域の一員として理解することが出来た。

ウ) 防災ワークショップ

【企画について】

日 時：①令和5年12月18日（月）16:45～17:30

②令和5年12月20日（水）16:45～17:30

会 場：①宮城県多賀城高等学校

②多賀城市立多賀城中学校

内 容：レッドクレセントの資格を持つマレーシア在住のゲストからの、ボランティア活動や避難活動の話と、避難行動の実践。

参 加：①15名 ②9名

【連携について】

概 要：TSCは、ともだち・カワン・コミュニティからの相談を受けて、防災ワークショップに興味のある学校や施設に声がけを行った。

連携団体：ともだち・カワン・コミュニティ（主催）

・多賀城中学校ボランティア部 有志 ・多賀城高等学校語学研究部

・多賀城高等学校災害科学科有志

成 果：・TSCがコーディネートし、学校と市民活動団体とのつながりができた。

・生徒がマレーシアでボランティア活動をしているゲストから、防災やボランティアについて学ぶことが出来た。

*レッドクレセント…国際赤十字・赤新月運動（「赤十字運動」）によって運営される戦争や天災（自然災害）時における傷病者救護活動を中心とした人道支援団体の総称。
イスラム教国は赤新月が標章。

(6) スタッフの研修への参加

1) 外部研修

各スタッフに外部研修への参加を促し、業務の参考としていくとともに、積極的に参加者や講師と交流も図った。

研修等名称	主催	日程	参加
2023 春 WEB シンポジウム「春の助成金応募シーズン到来プログラムの狙いを理解して提案力を高めよう」	NPO支援財団研究会	4月27日(木)	西條
基礎から学べる！NPO法人設立講座	みやぎNPOプラザ	5月20日(木)	小林
労働者協同組合法オンライン研修	仙台市市民活動サポートセンター	5月24日(水)	西條
NPO・NGOの組織基盤強化のためのワークショップ2023	NPO法人日本NPOセンター	6月09日(金)	小林
あたたかい場をつくるオンラインファシリテート講座	NPO法人杜の伝言板ゆるる	6月22日(木)	伊藤
ボランティアウェブ説明会	公益社団法人日本フィランソロピー協会	6月23日(金)	小笠原
NPO支援センター初任者研修	NPO法人日本NPOセンター	8月01日(火) 8月23日(水) 9月06日(水)	京極・伊藤
協働教育研修会議	多賀城市生涯学習課	8月04日(金)	川口・渡辺
NPO/NGO「支援力」応援プログラム 現場の声から学ぶ！組織診断サポート研修	NPO法人日本NPOセンター	8月08日(火) 8月18日(金)	西條
NPOと行政の対話フォーラム 多様な主体との協働で誰も取り残さない地域をつくる	NPO法人日本NPOセンター	8月31日(土)	川口
NPO支援財団研究会 2023 秋 WEB シンポジウム「秋の助成金応募シーズン到来。プログラムの狙いを理解して提案力を高めよう！」	NPO支援財団研究会	9月22日(金)	小林
NPOのためのリーダーシップ&チームマネジメント講座	みやぎNPOプラザ	10月05日(木)	西條
町内会のスペシャリストが語る、町内会の存在意義と課題、解決事例について	公益財団法人塩釜青年会議所	10月14日(土)	川口・金子
令和5年度第1回ボランティアコーディネーター研修	宮城県社会福祉協議会	10月20日(金)	小笠原
NPO支援センター研修 NPO支援に効果的な事業企画の作り方	みやぎNPOプラザ	11月09日(木)	小林
防災リーダー研修	一般社団法人Bird's eye	11月16日(木)	川口・金子・小林
NPOのための税金基礎講座	みやぎNPOプラザ	12月15日(金)	小林
NPO支援施設フォローアップ事業人材育成研修「NPOと地域の『つなぎ手』となるために」	みやぎNPOプラザ	2月15日(木) 2月16日(金)	西條・金子

2) 内部研修

各スタッフは外部研修会参加後に報告書を作成し、スタッフで回覧し内容の共有を図っている。また、税務関係の制度開始に伴い業務に深く関係するものについては内部で伝達研修も行った。これ以外にも、講座体験などの研修を随時行い、スタッフの資質向上に努めている。

研修	実施日
インボイス内部研修	10月05日(木)

I -4 事業実施状況

(1) まちをともに創る人を増やす事業 1) T S C 運営への市民参画機会創出事業

目 的	○市民と一緒に地域の状況を共有し、課題を設定し、めざすまちの姿を描き、解決に向けて必要なアイデアを出し合い、T S C の運営に活かす場づくりにより、T S C の運営をひらくことを通して、主体としての市民を増やす。
背 景	○T S C の開館までのプロセス T S C の開館は、市民活動実践者や市職員有志が市民活動や協働についてともに学ぶ中で、市民活動促進の市民活動支援施設の必要性を見出し、機能や運営について検討し、市に提案したことがきっかけとなっている。 ○T S C 運営の現状 利用者とのコミュニケーションを重視している。また、事業参加者へのアンケート、年 1 回実施する利用者アンケート、地元企業や自治会・町内会へのヒアリング、地域のさまざまな主体が集まる会議への参加などを通して、地域のニーズを探り、課題を設定し、めざすまちの姿を描き、事業案に落とし、取り組みを進めてきた。 ○市の施策について 多賀城市地域コミュニティ課は、平成 18 年 6 月策定「市民活動促進指針」、平成 26 年 11 月策定、令和 4 年 3 月改訂「地域づくり基本指針」の検証を進めている。加えて、市の公共施設のあり方も検討されており、市民活動、地域活動をどのように位置づけ、どのように活動を促進していくのか、転換期ともいえる。 ○今年度の方針 市民と一緒に地域の状況を共有し、課題を設定し、めざすまちの姿を描き、事業案に落とししていく場づくりに取り組み始めていく。
対 象	○市民活動団体、自治会・町内会、事業者、学校等の地域のさまざまな主体
成果目標	○所属や役職等にとらわれず、多様な人が地域について考え、意見やアイデアを出し合える場を設ける。(年 2 回) ○出た意見を T S C の運営等に活かす。
成 果	○T S C が捉えている課題と取り組みについて、一部の人のみではあるが、まずは知ってもらう機会をつくることができ、運営に関する評価や期待することを明らかにすることができた。(属性ごとに 6 回開催) ○参加者から出された意見をもとに、館内のチラシ配架場所を見直したこと。市民活動団体や当事者のニーズに沿った取り組みができたこと。
次年度に向けた課題	○今年度は属性ごとの意見を聞く場にしたりため、予定していた多様な主体の参加による話し合いの場をつくることができなかった。次年度以降は多様な主体が参加できるような場をつくる。

実施概況（１）まちをともに創る人を増やす事業 １）ＴＳＣ運営への市民参画機会創出事業

１．たがさば市民ミーティング

目 的：地域の活動における課題と支援の取り組みを地域のさまざまな主体と共有し、今後の市民活動促進について一緒に考え、将来像を描き、市民活動サポートセンターの取り組みに活かしたり、多賀城市への提案等を行う。

テーマ：みなさんの活動の現状と市民活動サポートセンターの取り組みから、今後の地域づくりや市民活動サポートセンターのあり方を考える。

プログラム：

１．市民活動サポートセンターからの話題提供

- （１）市民活動サポートセンターの取り組みについて
- （２）今後の多賀城市の地域づくりについて
 - １）２つの指針（市民活動促進指針・地域づくり基本指針）の見直し
 - ２）公共施設の見直し

２．意見交換

- （１）活動する上での困りごと
- （２）市民活動サポートセンターの取り組みに関して
- （３）市民活動サポートセンターのあり方に関して
- （４）今後の地域づくりに関して
- （５）今後必要な取り組みに関して

方 法：属性ごとに 3～4 名で実施。属性ごとのキーパーソンに声がけし、より多くの方が参加可能な日程で実施。

会 場：多賀城市市民活動サポートセンター会議室

（１）自治会・町内会

日 時：令和 5 年 10 月 13 日（金）18:30～20:00

参 加：木村英廣さん（桜木東区町内会会長）

高橋伸さん（城南自治会会長）

三浦秀雄さん（東田中南自治会会長）

森柳子さん（下馬南自治会）

オブザーブ：地域コミュニティ課 星 胡下 新沼

内 容：

○各地区の特徴

○各地区の取り組み

○活動する上での困りごと

・町内会のあり方 ・担い手 ・防災 ・会費

・子どもの減少

○TSC の取り組みについて



1（１）町内会（10/18）

- ・他地区の情報提供
- ・つなぎ役
- ・他セクターとの出会いの場

成 果：

- ・参加者から出された意見を踏まえ、令和6年度事業立案を行った。

(2) 市民活動団体

日 時：令和5年10月19日（木）14:00～15:30

参 加：佐藤夏色さん（てんでん宮城代表）

佐藤美奈子さん

（NPO法人筋強直性ジストロフィー患者会副理事長）

本郷佳江さん（ハッピーピース代表）

オブザーブ：地域コミュニティ課 胡下

内 容：

○活動の中から感じていること

- ・当事者の声の届け方
- ・横のつながりづくり
- ・めざす地域の姿
- ・子どものころから学ぶ機会づくり
- ・情報の届け方
- ・行政との関わり方

成 果：

- ・当事者がプライバシーを守りながら、安心して市民活動団体の情報を得られるとよいとの意見から、館内トイレに名刺サイズの団体情報の配架を始め、ニーズに沿った取り組みにつながった。

(3) 市民活動団体

日 時：令和5年10月20日（金）19:00～20:30

参 加：相澤直さん（障がい者サポーターズ Golazo!）

羽生裕二さん（麦薫る風処萌芽）

吉田忠彦さん

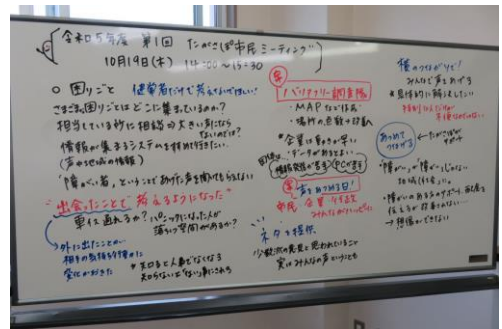
（史都多賀城万葉まつり実行委員会/劇団ポトフ）

オブザーブ：地域コミュニティ課 新沼

内 容：

○活動の中から感じていること

- ・多賀城の市民活動の現状
- ・多賀城の特徴



1 (2) 市民活動団体 (10/19)



1 (3) 市民活動団体 (10/20)

- ・子どもがカギ

- ・市の役割

○T S Cに求めること

- ・団体同士が知り合う場

- ・T S C自体の周知

成 果：

- ・雑貨市の運営のあり方について、関連する団体等と話し合う機会を令和 6 年度事業に盛り込んだ。

(4) 福祉関係者

日 時：令和 6 年 2 月 6 日（火）18:30～20:30

参 加：沼倉亜紀子さん（東部地域包括支援センター 所長）
菊地啓さん（多賀城市社会福祉協議会 地域福祉係長）
米沢菜名子さん（ソーシャルビレッジ仙台 管理者）

オブザーブ：地域コミュニティ課 胡下

内 容：

○分野を越えた連携

成 果：

- ・地域で活動する人材に関して連携できるよう、関連する団体等と話し合う機会を令和 6 年度事業に盛り込んだ。

(5) 事業者

日 時：令和 6 年 2 月 13 日（火）14:00～16:00

参 加：大谷哲也さん（多賀城工場地帯連絡協議会）
伊藤光子さん（多賀城工場地帯連絡協議会）
若木恵子さん
（株式会社松島蒲鉾本舗 経営企画室課長）

オブザーブ：地域コミュニティ課 星 新沼

内 容：

○社会貢献活動の取り組み内容

○今後の取り組みについて

○公共施設の見直しについて

成 果：

- ・多賀城で活動する団体との情報交換の機会をつくり、場を設けた。

(6) 教育関係者

日 時：令和 6 年 2 月 22 日（木）10:00～12:00

参 加：J.F.モリスさん



1 (4) 福祉関係者 (2/6)



1 (5) 事業者 (2/13)



1 (6) 教育関係者 (2/22)

(東北大学災害科学国際研究所特任教授) 中里和裕さん (多賀城中学校 校長) オブザーブ：地域コミュニティ課 新沼 内 容： ○子どもたちと地域との関係性 ○学校と地域の関係性 ○T S C の役割 成 果： ・参加者から出された意見を踏まえ、令和 6 年度事業立案を行った。	
---	--

(1) まちをともに創る人を増やす事業

2) 多賀城のまちの未来を描くフューチャーセッション

目 的	○市民が主体となり、多賀城のまちについて考え、課題を設定し、実現可能な対応策を考える場を重ねることで、考え行動する市民を増やす。
背 景	○多賀城市の現状 地域の中の支え合いを増やそうとしている地域福祉分野、地域ぐるみで子どもたちを育む体制づくりを進める教育分野、地元の人やコトを活かす観光をめざす観光分野等、第六次総合計画の推進には、地域の力が重要になっている。それぞれ行政が主催し、市民が参加し話し合う場が作られているが、話し合う課題や出た意見を活かす場が最初から決まっていることがほとんどである。 ○T S Cの現状 平成 29 年度から取り組んでいる T S R（多賀城から、持続可能な関係性を探る）では、地域課題を共有し、解決に必要なことを考え、実践に向けて、地域の活動者が対等な立場で取り組みを重ね、多文化共生や防災に関する課題解決の取り組みが生まれている。 ○今年度の方針 T S Rの実践を活かし、市民が主体となり、多賀城のまちについて考え、課題を設定し、実現可能な対応策を考える場（＝フューチャーセッション）を重ねていく。 テーマは「まちの担い手をどのようにつくるか」など多賀城のまちに関することとし、既活動者を中心に参加者を募るが、当事者も非当事者（未来の当事者の可能性がある）も参加できる場とする。アイデアベースではなく実現可能な案にブラッシュアップし、実践してみる。市民がまちのことを考え、自分たちが決めたことを行動に移す経験を通して、市民の主体性を育む。議題によっては、行政への提案力向上や行政との協働を促進することもねらう。
対 象	○市民活動団体、自治会・町内会、事業者、学校等の地域のさまざまな主体
成果目標	○地域の課題を把握し、解決のために必要なことを考え、解決に向けた行動を起こす主体的な市民が増えている。
成 果	○20 代から 80 代と幅広い年代の参加者同士で、実現したいまちの姿を共有することで、共通点を見出し、アイデアを出し合うことで、実現に向けた動きを生み出すことができた。
次年度に向けた課題	○今年度は、すでに活動している人、これから具体的に活動を始めようとしている人の参加だった。加えて潜在的活動者や他セクターなど参加の輪を広げていく工夫が必要。賛同者とともに地域での実践につなげていく。

実施概況 (1) まちをともに創る人を増やす事業 2) 多賀城のまちの未来を描くフューチャーセッション

1. 多賀城の街の未来を描くフューチャーセッション

○多賀城フューチャーセッションとは

多賀城のまちのよいところや気になるところ、気になるキーワードを持ち寄り、「こうなったらいいな」という未来の姿を描きながら、実現に向けたアイデアを出し合う。参加者同士、多様な意見を聴きあうことで、新たな気づき、アイデア、関係性、取り組みなどを生み出していこうという場。

○今回のテーマ：「暮らしやすいまちを考える」

「日本一暮らしやすいまち」をテーマに R5 年度多賀城市が実施した Taga 懇「多賀城未来の懇談会」の参加者から出た暮らしやすい多賀城のまちの要素をもとに、多賀城を誰にとっても暮らしやすいまちにしていこうためのアイデアを話し合う。

日 時：令和6年3月17日（日）10:00～12:00

会 場：多賀城市市民活動サポートセンター 2階ギャラリー

参加費：無料

参 加：6人／定 員：20人

ゲスト：原亮さん エイチタス株式会社代表取締役社長

プログラム：

①趣旨説明

②話題提供 Taga 懇で出た「暮らしやすいまちの要素」の紹介

③ワーク

・自己紹介

・叶えたい未来のまちと私の姿 ワークシート記入

何年後に、どんなまちを実現したいか、その中でのありたい自分の姿を想像し、ワークシートに記入する。

・叶えたい未来のまちと私の姿 発表

・お互いの発表に対し、感じたことやアイデアを出し合う

○出たアイデア：

・多賀城のまちを誇れる人が増えている

・人とのつながりをつくりたい

・対話のあるまち

・つぶやきを実現するサポートがしたい

・若い世代と先輩世代をつなぐ

・個人や世代の負担感を減らしたい

○実現に向けたアイデア：

・人が多く通る多賀城駅前で、お茶を飲みながら、世代を越えて話せる場をつくる



叶えたい未来のまちと私の姿をどうしたら実現できるのかポイントを話すゲスト



ワークシートに書き出して想いを整理



実現に向けたアイデアを話し合う

2. 参加者の実現に向けた動き

次年度の実施に向けて、情報交換を行っている。

アンケート集計結果

1. 多賀城のまちの未来を描くフューチャーセッションアンケート（6件回収／6名参加）

①年代

10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
0名	2名	1名	1名	0名	0名	1名	1名

②住所

多賀城市	塩竈市	七ヶ浜町	利府町	松島町	仙台市	その他
5名	0名	0名	0名	0名	1名	0名

③満足度（5段階評価）

5	4.5	4	3	2	1
3名	1名	2名	0名	0名	0名

○理由

- ・Taga 懇でもっと具体的につながりたいと思っていたのでよかった。

④参加して得られたことや感想など

- ・いろんな話が聞けてよかった。
- ・本日参加してみて、あまりここまで、いろんな世代が集まるイベントに参加することがないので新鮮でした。世代がちがうのに、みんな目指すところが同じなのが面白かったです。
- ・違う世代の意見を聞いておもしろかったです。
- ・自分の中の熱を継続できるポイントを洗い出しできました。
- ・みなさんよく考えているのがよくわかった。あとは発信力が必要かと思う。

⑤今後取り上げてほしいテーマなど

- ・アイデアを実行できたり、継続するために必要なもの。
- ・高校生の探究学習を受け入れやすい土壌づくり。

⑥イベントを何で知ったか

多賀城市の SNS	TSC スタッフより	チラシ	広報多賀城	その他
2名	1名	1名	1名	1名

- ・その他…SNS で流れてきたものを見て

(2) 関わりしるを増やす支援事業 1) 自治会・町内会等の関わりしるを増やす支援事業

目 的	○自治会・町内会の取り組みの支援を行うことで、新たな層が関わるができるような取り組みを増やす。 ○他の主体と連携した取り組みの実践を通じて、連携の視点を持つことで、持続可能な地域運営につなげる。
背 景	○令和 4 年度は、自治会・町内会の運営支援を行うとともに、地域の人が自分の地域の魅力を発信する「地域学」などの事業を通じて、転入者などがその地域に愛着をもち、地域の活動に関わる人を増やすことのほか、「町内会新聞シェア会」などの事業を通じて、他の自治会・町内会の事例や取り組みを知り、アイデアの共有や他地区とのつながりをつくることを目指してきた。 ○令和 5 年度は、これまでの取り組みから見えてきた運営課題や地域課題について、これまでの自治会・町内会の域を超えて、役員以外の人に関われる手法や関わりしるを探っていく。また、多賀城にとらわれず、他地域の取り組みも紹介しながら、他セクターの地域への関わりも含め、枠を超えての取り組みを探っていく。
対 象	○自治会・町内会の会長、役員等 ○これまで町内会にあまり関わっていなかった人・団体 ○若い世代（学生など）
成果目標	○自治会・町内会、また地区の取り組みに関心のある人たちが情報交換やアイデアを出し合う場を持つ（1 テーマ以上） ○既存の取り組みの棚卸や活動の見直しから、新たな取り組みが始まる（1 事例以上） ○住民が自らの地域の魅力を発信する（新たに 1 事例以上） ○自治会・町内会の活動のヒアリングを通して事例の蓄積と情報発信を T S C が行う（新しい地区ヒアリング：5 地域、情報発信：10 回以上）
成 果	○情報交換会やイベントに 40 代以下の若い人の参加も見られ、また地域の関心・テーマも「子ども会」に注目が集まる等、新たな動きをつくることができた。 ○コロナ禍での自粛が緩和され、3 年ぶりに夏祭り等のイベントを開催する地区の情報収集・ヒアリングに取り組み、17 地区・14 回の情報発信をすることができた。 ○これまでは現在の課題の共有やアイデア出しを中心に行ってきたが、今年度初めて、これからの地域の在り方を考えるきっかけの場を試行した。 ○前年度から実施している防災人ミーティングの参加者が、幼保施設と地域の避難訓練への参加や多賀城中学校のプレ文化祭に出展する等、参加の幅を広げてきた。
次年度に向けた課題	○持続可能な地域運営のためにも、地域を開いていくこと、多様な人や団体、企業などの多セクターが関われる取り組みが生まれると良い。 ○自治会・町内会へのヒアリングの中から、「子ども会の存続をどうするか」という課題が複数地区から聞こえてきた。次年度は子ども会を担っている世代にもアプローチしつつ、問題を可視化するところから始めていきたい。

実施概況（２）関わりしるを増やす支援事業 １）自治会・町内会等の関わりしるを増やす支援事業

１．自治会・町内会の情報交換会・アイデア出しの場

（１）自治会・町内会情報交換会

日 時：令和5年6月24日（土）14:00～15:30
 会 場：多賀城市民活動サポートセンター大会議室
 内 容：テーマごとの情報交換会（テーマ：夏まつり、合同町内会での取り組み、防災、SNS活用・その他）
 参 加：10地区12名（桜木東・東田中南・大代中・旭ヶ岡八幡下一・城南・下馬南・浮島・黒石崎）
 成 果：夏祭りの実施についての情報交換や実務に直結する話題、課題の共有をすることができた。



1（１）グループごとに情報交換を行った

（２）防災人ミーティング

１）１回目

日 時：令和5年9月28日（木）18:30～19:30
 会 場：多賀城市民活動サポートセンター大会議室
 内 容：防災に関する情報交換やアイデア出し
 参 加：17名（5名新規参加あり）



1（２）１）グループトークでは、水害や多様な人たちが関わる防災、防災担当としてどのような訓練が必要か等を話し合った

２）緊急！防災人ミーティング

日 時：令和6年2月9日（金）18:00～19:00
 会 場：多賀城市民活動サポートセンター301会議室・オンライン（Zoom）
 内 容：能登半島地震について、情報交換やわたしたちにできることを考える
 参 加：会場6名・オンライン4名
 成 果：普段は地域の活動に関わりがない人も「防災」をテーマに集まり意見交換ができた。令和4年度から不定期で始めて、通算6回実施をしてきたため、過去に参加した人から自発的に防災人ミーティング開催の要望が出るようになった。また、自ら自治会の防災関連の役員になった参加者もいた。



1（２）２）能登半島地震についてそれぞれの立場で情報交換や多賀城でできること等を話し合った

（３）みらい自治トーク～様々な人の関わり～

日 時：令和6年2月4日（日）13:00～15:00
 会 場：多賀城市民活動サポートセンター大会議室
 内 容：10年後の未来の自治についてのアイデアを出し
 ゲスト：まるっとつるがや

多賀城事例紹介：「サポーター制度の活用」城南自治会

「子ども会と町内会等の連携」黒石崎

参 加：12 地区 23 名（黒石崎、城南、東田中南、旭ヶ岡、桜木東、下馬東、下馬南、浮島、八幡下一、高橋東二区、七ヶ浜、仙台）

成 果：これまでは現在の課題共有を中心に行ってきたが、「現在」から「未来」に視点を変えてみることで、ゲストや多賀城の事例から様々な人が地域に関わるためにはどうしたらいいか考えるきっかけになった。

2. 既存の取り組みの見直しからの新しい取り組みの実践

夏祭りや防災訓練での実施を検討していたが、コロナ禍の対応が緩和されて初めての年だったため、夏祭り開催自体検討している地域や市の防災訓練のやり方が変わったこと等もあり実施を見送った。

3. 住民が自らの地域の魅力を発信する場

（1）多賀城みんなの地域学 八幡沖区編

日 時：令和5年6月1日(木)10:00～11:00

会 場：八幡沖公民館

対 象：沖区サロンの参加者

内 容：古い地図や写真を見ながら昔の記憶や災害のエピソードを共有する。

講 師：NPO法人20世紀アーカイブ仙台

参 加：20 名

成 果：地域の「人と人」「地域と人」のつながりをつくるきっかけになった。あらためて自分の暮らす地域の魅力や地形などを知ることができた。

主 催：おしゃべりサロン沖

4. 町内会活動のヒアリング、情報の蓄積と情報発信事業

（1）自治会・町内会ヒアリング／相談対応

日 時：通年

内 容：夏祭りを主テーマに町内会にヒアリングを行った。

成 果：ヒアリングを重ねて行うことで、各町内会の役員や会長等からの相談が寄せられるようになった。



1（3）ゲストや多賀城の事例を踏まえて、グループで感想や未来の自治についての考えを話し合い、最後に全体で共有した



3（1）昔の写真を見ながら、「知っている人かも」と盛況だった

(2) 自治会・町内会の取り組み発信（ブログ）

1) ブログ発信

令和5年 6/5（月）	多賀城みんなの地域学～八幡沖区編～ 行ってきました！
6/30（金）	自治会・町内会情報交換会を開催しました！
7/16（日）	八幡下二区サロンで民話を聞く会をプレ開催！
7/23（日）	町内会対抗ソフトボール大会を観戦！
8/4（金）	わっしょい！ひさしぶりの夏祭りで賑わっています！（高橋4区合同、下馬南、桜木北区、桜木東区）
8/10（木）	夏まつりだワッショイ！町内会夏まつりレポート第2弾（大代中区、桜木南区、浮島）
9/1（金）	初合同開催！ 八幡上下一町内会公民館まつり
9/19（火）	わっしょい！子どもも大人も本気で参加する 八幡上二区秋まつり
10/16（月）	今年初！多様な情報交換の場 防災人（びと）ミーティング開催しました
11/25（土）	災害時の幼保施設の取り組み、県外の人も交えて意見交換をしました！
12/5（火）	震災後はじめての開催 八幡下二区町内会 いも煮と清掃活動
12/8（金）	鶴ヶ谷親和会コミュニティ文化祭に行ってきました
令和6年 1/15（月）	町内会新聞特集号！紹介します
2/27（火）	緊急！防災人ミーティングを開催しました

5. 幼保施設と地域の避難訓練

○（1）～（3）共通

◇進め方

①ルートの確認・地域との情報交換：

- ・地域の人と東日本大震災時の状況や浸水地域などの情報の共有や避難ルートの相談などの情報交換

※TSCは地域とのつなぎの部分を重点的に協力

↓

②避難訓練本番：地域や企業と連携した避難訓練を実施

◇主 催：避難訓練実施の各幼保施設

◇協 力：一般社団法人Bird's-eye、地域の郵便局長、



4（2）1）八幡下二区サロンで民話を聞く会プレ開催（7/16 掲載）



4（2）1）町内会対抗ソフトボール大会（7/23 掲載）



4（2）1）高橋4区合同夏祭り（8/4 掲載）



4（2）1）八幡下二区町内会 いも煮会と清掃活動（12/5 掲載）

多賀城市危機管理課、T S C

(1) 下馬みどり保育園

① ルートの確認・地域との情報交換

日 時：令和5年8月21日（月）13:30～14:30

会 場：下馬西集会所

参 加：10 団体 18 名（T S C 3 名含む）

下馬みどり保育園、下馬西区自治会、多賀城中学校、東部地域包括支援センター、地域の郵便局長（多賀城・下馬・他1局）、一般社団法人 Bird' s-eye、危機管理課、T S C

② 避難訓練当日

日 時：令和5年9月12日（火）10:00～11:00

参 加：11 団体 11 名（T S C 1 名含む）、ほか園児 62 名

下馬みどり保育園、東部地域包括支援センター、地域の郵便局長（多賀城・下馬・高橋・他2局）、宮城復興局仙台支所、一般社団法人 Bird' s-eye、危機管理課、T S C

(2) 認定こども園つむぎ野

① ルートの確認・地域との情報交換

日 時：令和5年9月21日（木）9:00～11:00

会 場：認定こども園つむぎ野

参 加：16 団体 21 名（T S C 2 名含む）

認定こども園つむぎ野、鶴ヶ谷親和会、黒石崎町内会、東部地域包括支援センター、地域の郵便局長（多賀城・下馬・高橋・他2局）、貞山高等学校、多賀城中学校、多賀城市体育館、東北電力ネットワーク塩釜電力センター、一般社団法人 Bird' s-eye、危機管理課、T S C

② 避難訓練当日

日 時：令和5年10月11日（水）10:00～11:00

参 加：17 団体約 50 名（T S C 1 名含む）、ほか園児 97 名、保護者 8 名

※貞山高等学校からの訓練:15 団体約 25 名（T S C 2 名含む）

認定こども園つむぎ野、鶴ヶ谷新和会、黒石崎町内会、八幡下二区町内会、伝上山、中央地域包括



5 (1) ①東日本大震災時の地域の情報等の情報交換を行った



5 (1) ②園で火災が発生した想定で近隣公園まで避難訓練を行った



5 (2) ①認定こども園つむぎ野から天真小学校まで下見をした

支援センター、貞山高等学校、東北電力ネットワーク塩釜電力センター、株式会社ニシハタシステム、株式会社サンロフト、地域の郵便局長（多賀城・下馬・高橋・他 3 局）、東部地域包括支援センター、市社会福祉協議会、アースサポート多賀城、向山地区民生委員、多賀モリ会会員、多賀城市シルバー人材センター、高崎こども食堂らっこ広場、一般社団法人チガノウラカゼコミュニティ、一般社団法人 Bird' s-eye、危機管理課、T S C

（3）大代保育園・柏幼稚園

① ルートの確認・地域との情報交換

日 時：令和 5 年 10 月 27 日（金）10:00～12:00

会 場：大代地区公民館

参 加：14 団体 24 名（T S C 3 名含む）

大代保育園、柏幼稚園、大代南区町内会、多賀城市消防団第 6 分団、大代地区コミュニティ推進協議会、サーラ文庫、大代地区公民館、多賀城・七ヶ浜商工会、地区の郵便局長（大代、下馬）、宮城復興局仙台支所、一般社団法人 Bird' s-eye、危機管理課、T S C

② 避難訓練当日

日 時：令和 5 年 11 月 17 日（金）10:00～11:30

参 加：23 団体 大代保育園 約 25 名、柏幼稚園 約 25 名（T S C 3 名含む）

※雨天により、園児は避難せず、先生方だけで実施
大代保育園、柏幼稚園、大代中区町内会、大代南区町内会、大代地区コミュニティ推進協議会、サーラ文庫、大代地区公民館、一般社団法人チガノウラカゼコミュニティ、防災人ミーティング参加者、地区の郵便局長（大代、下馬、他 1 局）、宮城復興局仙台支所、宮城県復興・危機管理部、浜松市市民協働センター、浜松マーガレット保育園、千葉大学教員養成開発センター、千葉縣市原市双葉中学校、株式会社ニシハタシステム、株式会社サンロフト、一般社団法人 Bird' s-eye、危機管理課、T S C、他



5（2）②貞山高等学校の生徒たちも園児のサポートを積極的に行っていた



5（3）①幼稚園の参加は初めて



5（3）②雨の中の訓練となったため、大人だけの訓練となったが、より実践に近い形で行った

(4) 幼保施設避難訓練振り返りの会

日 時：令和6年2月13日（火）13:30～15:00

会 場：多賀城市民活動サポートセンター大会議室

内 容：今年度多様なセクターと連携した幼保施設の避難訓練を実施した4施設の訓練の振り返り

参 加：30団体41名

下馬みどり保育園、認定こども園つむぎ野、柏幼稚園、大代保育園、もりのなかま保育園 多賀城高橋園、多賀城はるかぜ保育園、鈴の花保育園、鶴ヶ谷児童館、下馬西区自治会、下馬南自治会、下馬東自治会、鶴ヶ谷親和会、大代中区町内会、大代南区町内会、多賀城中学校、貞山高等学校、大代地区コミュニティ推進協議会、大代地区公民館、防災人ミーティング参加者、多賀城市子育てサポートセンター、多賀城市家庭教育支援チームあんだんて、地区の郵便局長（多賀城、明月）一般社団法人Bird's-eye、危機管理課、TSC

成 果：「子ども」をキーワードに、町内会や防災人ミーティングに参加している人などの地域の人やNPO、企業等の多様なセクターと協働しながら実施し、地域のつながりをつくることができた。幼保施設の避難訓練から日常の地域のつながりを強化していきたいという想いを共有することができた。

6. その他

(1) 多賀城中学校「学校へ行こう！～プレ交流 Day」

多賀城中学校より、コミュニティ・スクール導入に伴い学校を地域に開放しての交流イベントを開催したいとの相談があり、企画・参加団体のコーディネートをした。

日 時：令和5年11月11日（土）12:00～13:30

（多賀城市総合防災訓練終了後）

会 場：多賀城中学校

内 容：①ステージ発表 ②ワークショップ
③防災の取り組み紹介 ④食品販売

参加団体：

- ①アイリス・プラス・ゾリステン、多賀城高等学校合唱部
- ②NPO多賀城谷山学園、多賀城イングリッシュ・サポーターズ
- ③一般社団法人Bird's-eye、ソーシャルビレッジ仙台、防



5 (4) 各グループで避難訓練の振り返りを行い、最後に全体で共有した



6 (1) 段ボールトイレの説明をしているところ

災人ミーティングのメンバー

- ④生涯学習 100 年構想実践委員会、RINGO BAKERY、手作り雑貨 駄菓子のお店 kero*kero、一般社団法人アート・インクルージョン「アジアカフェ」

成 果：地域で活動している団体と学校をつなぎ、市民に活動を知ってもらい機会をつくることができた。また防災人ミーティングのメンバーが防災のワークショップを実施する等、活動の場を広げることができた。

(2) Web相談会

日 時：令和6年1月13日（土）14:00～15:00

会 場：多賀城市市民活動サポートセンター 3階フリースペース

対 象：城南自治会

内 容：HP作成の相談を中心に、SNS活用等、町内会の相談について、Webデザイナーを交えて個別相談会を実施した。

成 果：日常のヒアリングから相談のあったHP作成やSNS活用について個別に相談対応することで、より詳細な回答を得ることができた。



6 (2) 個別の相談をヒアリングしながら、相談会を実施した

アンケート集計結果

1 (1) 自治会・町内会情報交換会 (11 件回収/ 12 名参加)

①住所

桜木東	東田中南	大代中	旭ヶ岡	八幡下一	城南	下馬南	浮島	黒石崎
2 名	1 名	1 名	1 名	2 名	1 名	1 名	1 名	1 名

②年代

40 代以下	50 代	60 代	70 代	80 代以上
2 名	0 名	3 名	6 名	0 名

③何で知ったか

チラシ	多賀城NOW	スタッフ	お誘い	その他
0 名	0 名	9 名	2 名	0 名

④満足度 (5 段階評価)

5	4	3	2	1
5 名	6 名	0 名	0 名	0 名

○「5」を選んだ理由（抜粋）

- ・他の自治会の取り組み等、大変参考になりました

○「4」を選んだ理由（抜粋）

- ・20分では少ないとは思ったけれど、いろいろな課題について話し合えて良かったと思います

⑤参加者の話から参考になったこと（抜粋）

- ・地区の新聞を作っているのをいいなと思った
- ・SNS等難しいと思われる事もやられている地域もあり参考になりました
- ・防災で各区の取り組みの違いが分かった。それぞれの特徴を生かした形となっている
- ・夏祭りで若い人の参加（役員）が多いとの事
- ・防災についてもいろいろなやり方、考え方があることを実感しました。日中の被災も考えなくてはいけないということは大切ですね
- ・子供会や、子ども会育成会の解散（脱退）が増加している

⑥新しく検討している取り組み（抜粋）

- ・今まで北区と合同で行っていた敬老会を南区だけでやることになったので検討中です
- ・若い世代を町内会に入れる方法
- ・SNS
- ・防災訓練での「一時避難所」に代わる施設の検討

⑦感想やアイデア（抜粋）

- ・他の地域の話は嬉しい
- ・情報共有ができて大変良かった
- ・どこの町内会も同じ様な課題を抱えているので、テーマを決め連続講座で時間を増やしてやって欲しい

1（2）1）防災人ミーティング1回目（14件回収／17名参加）

①住所

多賀城市	塩竈市	七ヶ浜町	利府町	仙台市	その他
10名	0名	1名	1名	2名	0名

②年代

10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	未記入
0名	1名	2名	2名	2名	2名	4名	0名	1名

③多賀城との関わり（複数回答可）

住まいが多賀城	通勤・通学	家族・親戚が多賀城	以前多賀城在住	その他
8名	4名	2名	0名	3名

④イベントを何で知ったか（複数回答可）

TSCスタッフ	チラシ	HP・ブログ	知人・友人	市関連	その他
9名	3名	0名	1名	1名	1名

⑤感想や今後の情報交換会で取り上げたいテーマなど（抜粋）

- ・多様な意見があり、参考になった。一人一人違う考えあることを再認識した
- ・顔の見える関係を作っておくことが大事。難しい面があることもわかった
- ・地域と学校がつながることの温度差が地域にはあることもわかり、地域の実情をもっと知りたいと思いました
- ・テーマについてですが、「防災」と広く設けるのも良いですが、防災の中でもミニマムなテーマにしぼって開催頂くのも良いかと思いました。「防災訓練」「非常災害時の日頃の備え、準備物」など
- ・様々な立場の方や職場の方との意見交換ができ、有意義な時間を過ごすことができました。ぜひ、今後も継続していただきたい
- ・11月11日の防災訓練を有効に用いていきたいですね
- ・自分の地区のことをよく考えておられて大変参考になりました。これからも地区の実情に合わせた課題を解決していきたいと思います
- ・情報共有の会を得て、大変貴重な時間でした。「子ども」をキーにして、地域の防災意識の向上につなげたいと考えています

⑥ほかご意見・質問

- ・地域の力、底上げというが、「地域」という言葉を聞くたびにプレッシャーに感じてしまう。イベントをしても参加しない、子ども会もないし、顔も知らないのにどうやって力づけをすればよいのか、アイデアがほしい
- ・地区ごとに防災に関する勉強会を企画して行っているが、集まりが悪い
- ・町内会って何をしているところかを住民は知らない。自分の地域の課題を発信することは大切と思っている
- ・役員の意識だけでなく、班長の意識を高めることが大切。すべての行事は防災に通じている。中学校の活用は大切だと思う
- ・コミュニティスクールの動きもあるので、ぜひ学校を活動してほしい

1（3）みらい自治トーク（20件回収／23名参加）

①住所

多賀城市	塩釜市	七ヶ浜町	利府町	仙台市	その他
14名	0名	1名	0名	5名	0名

②年代

10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
0名	0名	1名	2名	1名	6名	10名	0名

③多賀城との関わり（複数回答可）

多賀城在住	通勤・通学	家族・親戚が多賀城	以前多賀城在住	その他
14名	2名	1名	1名	4名

④イベントを何で知ったか（複数回答可）

TSCスタッフ	チラシ	HP・ブログ	知人・友人	市関連	その他
14名	3名	0名	3名	1名	2名

⑤満足度（5段階評価）

5	4	3	2	1
6名	9名	4名	1名	0名

○「5」を選んだ理由（抜粋）

- ・自治会の現状と問題点が提議されたこと

- ・地域の一番大事な話に同感だと思った

○「4」を選んだ理由（抜粋）

- ・他の自治会の取り組み、問題、解決の方向性の参考となった

○「3」を選んだ理由（抜粋）

- ・時間が短くて、もっといろいろなお話が聞きたかったと思います

⑥感想、ゲストへの質問など自由記述（抜粋）

- ・もっと時間を取って中身を深めてほしい

- ・他地域の町内会、自治会の活動を情報交換できたので良かった

- ・発表された方々の活動内容がとてすごくて立派だと思いました。地域の人達のつながりをどうつくっていくかが、とても大切だと思いました

- ・高齢者の関わりばかりの日々の中で、今日は地域の子どもたちへの取り組みが新鮮に入ってきました

- ・頑張っている方が地域にはいるということを知る機会となった

- ・一方的な勉強会では集まった人たちがもったいない。会の内容が多すぎるのでは？

3.（1）住民が自らの地域の魅力を発信する場（18 件回収/19 名参加）

①住所

八幡沖	八幡	町前	その他
12 名	3 名	2 名	1 名

②年代

50 代以下	60 代	70 代	80 代
2 名	3 名	8 名	5 名

③満足度（5 段階評価）

5	4	3	2	1
14 名	3 名	0 名	0 名	0 名

○「5」を選んだ理由（抜粋）

- ・ご近所（身近）な場所が題材だったのですぐに入りこめた

④おもしろかったこと、興味を持てたこと（抜粋）

- ・昔の写真やそれにまつわる話が出てたのしかった

- ・なつかしい写真を見せて頂き、感動しました

- ・自宅の昔の写真があったことにびっくりしました。昔の良い所、良かった所を再認識しました

- ・昔の沖区の写真がおもしろかったです

- ・若妻会の写真が興味深かった

- ・青春時代の写真を見せていただきなつかしかったです

⑤みなさんの地域のおもしろいネタ、不思議に思っていること、やってみたいこと

- ・イベントの内容を事前に知っていれば、昭和 50 年代のカーフェリーの写真（家から見えた）持ってきたと思う

- ・子供達への伝言としたもよおしの機会があれば…

⑥感想や意見など（抜粋）

- ・次回も楽しみにしております。
- ・多賀城に住んで 6 年ですが、地域の方との交流の場もあまりなかったので今回参加して皆さんとお話できたこと、昔の写真の話を聞いたこととても良かったです！！

■全体の事業を通じて参加いただいた市内の自治会・町内会（26 カ所／全 46 カ所） ※個人、他事業との連携も含む

【東部】	1. 鶴ヶ谷親和会 2. 黒石崎町内会 3. 丸山町内会 4. 下馬東区自治会 5. 下馬西区自治会 6. 下馬南自治会 7. 大代東区町内会 8. 大代中区町内会 9. 大代西町内会 10. 大代北区町内会 11. 大代南区町内会 12. 桜木東区町内会 13. 桜木南区町内会 14. 桜木北区町内会 15. 笠神自治会
【中央】	16. 八幡上一区町内会 17. 八幡上二区町内会 18. 八幡下一区 19. 八幡下二町内会 20. 沖区振興会 21. 東田中南自治会 22. 志引町内会 23. 旭ヶ岡町内会
【西部】	24. 高橋東二区町内会 25. 城南自治会 26. 浮島地区自治会
【市外】	27. 七ヶ浜町 湊浜区

(3) 新たな地域の担い手発掘・育成事業 1) 次世代活躍事業

目 的	○市民活動やボランティア、地域／社会の課題についての小中高生の理解を深める。 ○活動の大切さを知り、継続して参加しようとする意欲を持つ小中高生を増やす。 ○「地域で何か活動したい」と思う中高生が集まり、話し合うことで互いに刺激し合い、自分の起こしたいアクションを明確にしていく。
背 景	○令和 5～7 年度 T S C 施設運営方針では、重点的取り組みとして「新たな地域の担い手発掘・育成の継続—高校生が活躍する場づくりにチャレンジする」を掲げている。 ○この項目を踏まえて設定された本事業では、自治会・町内会や市民活動団体の活動やボランティアに関する情報提供、コーディネートを行うことで中高生が地域に関わる機会を創出するとともに、中高生自らが気づいた地域の困りごとや課題に向けてアクションを起こそうとする意識を持たせたい。また、前年度実施した小学生対象の講座を本年度も継続し、中高生になってからの活動の意欲づけにもつなげていく。 ○これらの取り組みを通して、小中高生が市民活動、ボランティアについての理解を深め、活動を積み重ねることで新たな地域の担い手として育成していきたいと考える。
対 象	○小中高生など未来を担う世代。 ○市民活動やボランティア活動に関心がある「地域で何か活動したい」と考える中高生。
成果目標	○T S C が情報提供・コーディネートしたボランティア活動に延べ 70 人以上の小中高生が参加する。 ○きつずボランティアの参加者の 7 割以上が、市民活動やボランティア、地域／社会の課題についての理解を深める。 ○参加者の 7 割以上が、機会があればまた活動に参加したいと思う、または複数回参加する。 ○「地域で何か活動したい」と思う中高生の 5 割が、自分の起こしたいアクションを明確にする。
成 果	○成果目標から見た達成度 ・ボランティア活動に参加した参加者数：延べ 55 名（達成度 78.6%） ・きつずボランティア参加者の理解：延べ 77 名中 75 名が事後アンケートにおいて「よくわかった」「すこしわかった」と回答（達成度 97.4%） ・また参加したいと思う：25 名中 24 名が事後アンケートで回答（達成度 96.0%） ○ほとんどの参加者が、講座や活動に積極的に取り組むとともに、活動中にどのように動くとうまくいくかを考えて取り組む様子が見られた。この点も含め、講座や活動を終えての満足度も全体的に高かった。 ○機会があればまた活動に参加したいと考える参加者が多かった。その理由として、参加を通してよい活動ができた・小さな成功体験があったことが挙げられる。
次年度に向けた課題	○成果目標の 1 つ「中高生のアクションの明確化」については、自分の想いをもとにアクションを考えるとところまで進むことができなかった。次年度以降の事業を通して市民活動・地域活動に興味を持ち、自ら参加したいという若い層を掘り起こし、自発的に参加する若者を増やす取り組みを行う。

実施概況（3）新たな地域の担い手発掘・育成事業 1）次世代活躍事業

1. 雑貨市きつずボランティア講座

日 時：令和5年8月～12月の期間中に5回開催

（詳細の日時は下記参照）

対 象：市民活動に触れる機会が少ない小学生とその保護者

内 容：活動者のお話や活動体験を通して市民活動やボランティアについて知り、雑貨市ボランティアやその後の活動・生活につなげるための5回連続講座

参 加：小学生18名

その他：多賀城市ジュニアリーダー「エステバン」が講座のサポート役で参加した。

（1）第1回・子どもたちにワクワクを！

エステバンのおはなしとゲーム体験

日 時：令和5年8月27日（日）10:00～11:30

会 場：多賀城市市民活動サポートセンター 大会議室

ゲスト：多賀城市ジュニアリーダー「エステバン」

内 容：・TSCスタッフによる雑貨市とボランティアのお話
・ゲストによる活動紹介とゲーム体験

参 加：参加者17名／保護者4名／エステバン2名

成 果：ボランティアやエステバンの活動の話から、地域で活動する意義などの気づきがあった。

（2）第2回・障がいのある人もない人も一緒に楽しめる

スポーツのおはなし

日 時：令和5年9月24日（日）10:00～11:30

会 場：さんみらい多賀城イベントプラザ（STEP）

ゲスト：障がい者サポーターズ Golazo！

内 容：・ゲストによる団体の活動についてのお話
・目隠し体験、制限付きサッカーの体験

参 加：参加者17名／保護者5名／エステバン4名

成 果：目隠し体験や片足だけを使うサッカーなどを通して、その大変さを実感し、その中でできることを考えて活動に取り組んでいた。

（3）第3回・みんなでつくる！「あそび場」作戦会議

日 時：令和5年10月14日（土）10:00～11:30

会 場：多賀城市市民活動サポートセンター 大会議室



1（1）エステバンによるゲーム体験



1（1）エステバンの活動を紹介



1（2）目隠し体験。声で、仲間を探す



1（2）使える足を限定したサッカーで、ゲストに挑む

ゲスト：あそびのわ がまっこぶれーぱーく

内 容：・プレーパークのあそび体験

- ・ゲストによる団体の活動についてのお話
 - ・たがさぼのクリスマス雑貨市・あそびブース出展内容の検討
- 「七輪でマシュマロ焼き」「紙皿リースづくり」を行うことになった。

参 加：参加者7名／保護者1名／エステバン3名

成 果：体験やお話を通して、あそびの楽しさ、大切さに気づくことができた。また、あそびブースの内容を考え、決定することができた。

（4）第4回・「たがさぼのクリスマス雑貨市」

ボランティア説明会・あそびブース準備

日 時：令和5年11月25日（土）13:00～15:00

会 場：多賀城市民活動サポートセンター 301 会議室

内 容：・出展団体サポート担当はボランティア説明会に参加
・「あそびブース」担当は雑貨市当日の準備

参 加：参加者17名／保護者4名／エステバン3名

成 果：「あそびブース」の準備や、紙皿リースの試作に積極的に取り組んでいた。また、ボランティア説明会では参加団体と交流し、活動について知ることができた。

（5）第5回・「たがさぼのクリスマス雑貨市」

ボランティア体験・お買い物体験

日 時：令和5年12月3日（日）9:30～12:15

会 場：多賀城市民活動サポートセンター

内 容：・それぞれの担当に分かれてのボランティア体験
・お買い物体験

参 加：参加者18名／エステバン5名

成 果：それぞれの役割に一生懸命取り組み、ボランティアや団体の活動内容を知るなど多くの学びがあった。また、機会があればまたボランティアをしたいという参加者がほとんどであった。



1（3）ゲストも一緒に、プレーパークのあそび体験



1（3）あそびブースの内容を考え中



1（5）「七輪でマシュマロ焼き」ブース
まずは火おこしから



1（5）「書道楽」でのボランティア活動

2. 中学校・高校のボランティアコーディネート支援の模索

(1) 「認定こども園つむぎ野」避難訓練への高校生の参加

日 時：令和 5 年 10 月 11 日（水）9:30～11:30

会 場：認定こども園つむぎ野、貞山高等学校、天真小学校

内 容：大地震後、津波が襲来するという想定での避難訓練。

2 グループに分かれて参加した。

①認定こども園つむぎ野の園児と一緒に天真小学校まで避難

②貞山高等学校での垂直避難、市職員の講話、天真小学校までの避難ルートを確認しながら移動

参 加：貞山高等学校生徒 16 名

成 果：避難訓練や講話を通して、生徒たちは津波の脅威や避難の大事さなど多くの気づきを得ることができた。また高校からは、地域とつながる機会ができてよかったとの話があった。

(2) 多賀城中学校「学校へ行こう！～ブレ交流 Day」

企画・実施サポート

○多賀城中学校より、コミュニティ・スクール導入に伴い学校を地域に開放しての交流イベントを開催したいとの相談があり、企画や参加団体のコーディネート、実施をサポートした。

日 時：令和 5 年 11 月 11 日（土）12:00～13:30

（多賀城市総合防災訓練終了後）

会 場：多賀城市立多賀城中学校

内 容：①ステージ発表 ②ワークショップ

③防災の取り組み紹介 ④食品販売

参加団体：多賀城中学校ボランティアセンター生徒 8 名

成 果：当日の参加者は多くはなかったが、団体の取り組みを知ってもらえたり、楽しんでもらうことができた。また、多賀城中学校のボランティアセンターに登録している生徒が団体の活動に参加し、気づきを得ることができた。



2 (1) 避難ルートを確認する生徒の皆さん



2 (2) 防災バッグの中身を紹介



2 (2) 参加団体と、地域住民の皆さんとの交流も生まれた

(3)「たがさぼのクリスマス雑貨市」ボランティア

日 時：①令和5年12月2日（土）13:00～17:00

②令和5年12月3日（日）9:00～16:00

会 場：多賀城市民活動サポートセンター

内 容：①前日会場準備、装飾作業

②雑貨市ツアーガイド、出展団体のサポート

参 加：①中学生1名

②雑貨市ツアーガイド：中学生3名、高校生2名

出展団体サポート：中学生2名

成 果：ツアーガイドについては、自ら立てた企画をもとに参加者を案内し、団体の活動について知ってもらうことができた。また、出展団体や来場者との交流を図ることができた。

(4)「スロウ日和」イベント運営ボランティア

（「きっずボランティア講座」に参加した小学生対象）

①「スロウ日和」Vol.1

日 時：令和5年4月22日（土）10:00～17:00

会 場：多賀城市文化センター

内 容：一般社団法人アート・インクルージョンのワークショップ「スロウタウンであそぼう！」のサポート

参 加：1名（R4年度「雑貨市きっず講座」参加者）

主 催：SEND.

②「スロウ日和」Vol.2

日 時：令和6年3月24日（日）10:00～16:00

会 場：多賀城市文化センター

内 容：委託販売ブースでの販売サポート

参 加：3名（今年度「きっずボランティア講座」参加者）

主 催：SEND.

①②合わせての成果：参加者自らが方法を考え、多様な人と交流することができた。地域や社会のために活動する人の想いに触れる機会になった。



2 (3) ①前日準備。クリスマスツリーの組み立て中



2 (3) ②雑貨市ツアーの様子。出展団体からのお話



2 (4) ①「スロウタウン」での家づくり



2 (4) ②SEND. +きっずボランティアブース。電子ボードも活用

3. 中学校・高校への市民活動に関する授業提案

(1) 「授業提案書」の作成、提案

○TSCとして、中学校・高校の授業などで活用できそうなソフト資源（講話、ワークショップ、事例紹介など）を取りまとめ、多賀城市教育委員会生涯学習課・貞山高等学校・多賀城中学校に提案した。

○提案の主な内容

- ・講師・コメンテーター派遣
NPO・市民活動についての講話や多賀城で活動する団体の紹介、発表会での質疑やコメント発表など
- ・授業・ワークショップ設計、ファシリテーター派遣
地域づくりやキャリア教育に関する授業、トークフォークダンスなど
- ・NPOや町内会など地域で活動する人の紹介

(2) 多賀城高等学校キャリアセミナー

日 時：令和5年11月14日（火）12:50～16:00

会 場：多賀城高等学校

内 容：多賀城高等学校のキャリアセミナーの講師の1人として、市民活動について高校生に伝えた。

講 師：スタッフ渡辺

参 加：10名

主 催：NPO法人ハーベスト

成 果：NPOについて知ってもらうきっかけとなった。

(3) 防災ワークショップの提案・実施

日 時：①令和5年12月18日（月）16:45～17:30

②令和5年12月20日（水）16:30～17:30

会 場：①多賀城高等学校

②多賀城中学校

内 容：「ともだち・カワン・コミュニティ」から中高生向け防災ワークショップの提案があり、多賀城高等学校、多賀城中学校に声がけして実施した。レッドクレセントの資格を持つゲストからの、ボランティア活動や避難活動の話と救護の実践を行った。

ゲスト：ハムザさん（マレーシア）

参 加：①多賀城高等学校生徒15名

②多賀城中学校生徒9名



3 (2) NPOが活躍していると思う分野を考える参加者



3 (3) ①負傷した人を安全に運ぶには？



3 (3)

②ハムザさんのお話を聞く生徒の皆さん



3 (4)

②技能実習生2人が自己紹介をしている様子

主 催：ともだち・カワン・コミュニティ

成 果：自分ができる避難行動をプロから学び、人を助ける
ことの意味やボランティアについて学んだ。

(4) 貞山高等学校「多文化共生」についての授業

貞山高等学校から「総合的な探求の時間 地域国際交流活動」の依頼があり、授業の講師・ゲストを紹介した。

日 時：①令和6年1月31日（水）13:00～13:45

②令和6年2月21日（水）13:00～13:45

会 場：貞山高等学校

内 容：貞山高等学校から「総合的な探求の時間 地域国際交流活動」の依頼があり、授業の講師・ゲストを紹介した。多文化共生に関する講話、技能実習生との交流を実施した。

ゲスト：①大泉貴広さん（公益財団法人宮城県国際化協会）

②株式会社武蔵野の技能実習生2名、通訳2名、
企業担当者1名

参 加：①46名 ②56名

成 果：多賀城にどのような人が暮らし、どのような仕事をしているかを学んだ上で交流することで、いろいろな人がまちにはいることや多様な価値観があることを学んだ。

4. TAGAJ0 Youth Challenge 部

(1) 中高生しゃべり場

日 時：令和6年1月21日（日）14:30～16:00

会 場：多賀城市民活動サポートセンター 3階交流サロン

内 容：最少催行人数に達しなかったため中止とし、代わりに
ゲストのインタビュー動画の収録を行った。

ゲスト：中野柊一郎さん（一般社団法人manaco 共同代表）

佐々木湧雅さん（尚絅学院大学4年）

(2) 次世代セッション「きっかけのきっかけトーク」

日 時：令和6年3月10日（日）14:00～15:00

会 場：多賀城市立図書館

内 容：若手活動家のゲスト2人によるトークセッションとゲスト2人、多賀城市立図書館、TSCによる多賀城クロスセッションを行った。



4 (1) インタビュー動画撮影の様子



4 (2) ゲストの話を聞いている様

ゲスト：中野柊一郎さん（一般社団法人 manaco 共同代表） 佐々木湧雅さん（尚絅学院大学 4 年） 参 加：24 名 成 果：10 代 7 名、20 代 7 名と若い層の参加が過半数を超えた。 ゲストの話を聞き、何か始めてみたいと思った人が多くいた。また、参加者同士の交流やつながりもつくること ができた。	
---	--

アンケート集計結果

1. 雑貨市きつずボランティア講座 （18 名参加）

①通学している小学校

多賀城小	多賀城東小	山王小	天真小	城南小	多賀城八幡小
1 名	0 名	4 名	1 名	4 名	8 名

②学年

6 年	5 年	4 年	3 年	2 年	1 年
6 名	4 名	5 名	1 名	2 名	0 名

(1) 第 1 回・子どもたちにワクワクを！エステバンのおはなしとゲーム体験

(17 名参加／17 件回収・保護者 4 名参加／4 件回収)

①今日の講座はどうだったか？

	よくわかった	すこしわかった	わからなかった	備考
参加者	15 名	1 名	0 名	すべてに○：1 名
保護者	4 名	0 名	0 名	

②ボランティアで、いちばん大事だと思ったことはどれか？

	自分の考えで 進んで行く	みんなで協力し 支えあう	お金・ものによる お礼を求めない	あたらしいアイデア で、よりよい活動に
参加者	1 名	9 名	2 名	5 名
保護者	2 名	2 名	0 名	0 名

③今日のお話とゲームで、いちばんよかったこと、心に残ったこと（抜粋）

○おはなし

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| ・ エステバンの名前のつけ方 | ・ エステバンが質問に答える時間 |
| ・ いろんなボランティアがあることが分かった | ・ ボランティア（七ヶ浜の）の話 |
| ・ ボランティアで自分にもできることがあればやりたい | ・ みんなで協力してささえあうこと |
| ・ たがさぼのことが良く分かった | ・ 難しかったけどよくわかりました |

○ゲーム

- ・木とリスでいろいろな人と話せた
- ・木とリスで楽しくあそべた
- ・質問じゃんけん！！（みんなの「推し」聞きまくった）
- ・拍手
- ・知らない人と話したりできたことがよかった
- ・一回一回やっていくごとに知りあったりできて、よかったと思いました
- ・エステバンの人たちが、順序を考えてるのがすごいな
- ・エステバンの人がいろいろ楽しいあそびとかを考えてくれてすごい

④エステバンに聞きたいこと、つたえたいこと（抜粋）

- ・エステバンには何人ぐらい人がいるのか
- ・ピンクのはっぴのメッセージは、だれが書いているんですか
- ・来年入りたいです！（できれば）
- ・エステバンをやっていてよかったと思うのは、ありますか？
- ・前のサマーキャンプふくめて、とっても楽しかったです！！

⑤自分にもできると思ったこと、やってみたいと思ったこと（抜粋）

- ・ゴミ拾い
- ・ビーチクリーンにさんかする
- ・エステバンに入りたい
- ・ボランティアの「みんなで協力しあう」ことが私の中では一番大切だなと思いました
- ・ボランティアはだれでもできると思うので、進んで参加して地域や人の役に立てると思いました

⑥「クリスマス雑貨市」の「あそびブース」でやってみたいこと（抜粋）

- ・じん取りゲーム
- ・おにごっこ
- ・スポーツのたいけんかい
- ・輪なげ
- ・たけうま
- ・ホッピング

（2）第2回・障がいのある人もない人も一緒に楽しめるスポーツのおはなし

（17名参加／17件回収・保護者5名参加／5件回収）

①今日の講座はどうだったか？

	よくわかった	すこしわかった	わからなかった
参加者	14名	3名	0名
保護者	3名	2名	0名

②今日のお話とゲームで、いちばんよかったこと、心に残ったこと（抜粋）

○おはなし

- ・人びと（しょうがいのひと）のためにがんばっていることが分かった
- ・障害がある人に対しての差別をなくそうと頑張っているのがわかった
- ・Golazoさんの活動がいろいろなところで行われていることが心にのこった
- ・Golazo!さんの話で、いろんな障がいの人が困っていることもあるから、自分でも取り組めることがあったらやりたい
- ・障害の人でも楽しめるように考えていた
- ・障がい者でもできるスポーツがわかった

○体験

- ・すごくたのしかった
- ・目が見えない人ってこんなに大変なんだな

- ・目が見えない人の体験をしました。かなり不安でした。目の見えない障害の人は外にでるとき不安なんだなと思いました
- ・目が見えない人になってグループになったとき、同じ人が見つかったこと
- ・アイマスクをしていても声で伝え合うのが残りました・ウォーキングサッカー
- ・ウォーキングサッカーで、協力して、みんなで勝った後の達成感が楽しかったです

③ゲストの人に聞きたいこと、つたえたいこと（抜粋）

- ・SDGsってなんですか
- ・これからも障害がある人のために頑張ってください
- ・サッカー以外にも鬼ごっこなどたくさんあるのに、なぜサッカーを選んだのですか？
- ・おもしろかったです
- ・スタッフの人たちは点字は読めるんですか

④自分にもできると思ったこと、やってみたいと思ったこと（抜粋）

- ・人助けはできるとおもった
- ・Golazo!のイベントに参加する
- ・障害のある人とのあそびを考えたりすることです
- ・どんな人でもできる遊びをしたい
- ・目が見えない人がいたら手伝う
- ・障害がある人に対して普通の人のように接する
- ・障害のある人も一緒に遊んであげる
- ・障害の人と実際にサッカーをやってみたい

⑤「クリスマス雑貨市」の「あそびブース」でやってみたいこと（抜粋）

- ・おにごっこ
- ・焼きマシュマロ
- ・小さい子から高齢者まで楽しめる遊び
- ・竹馬か昔ながらのあそび
- ・お絵描き
- ・竹馬
- ・ウォーキングサッカー
- ・かくれんぼ

(3) 第3回・みんなでつくる!「あそび場」作戦会議(7名参加/7件回収・保護者1名参加/1件回収)

①今日の講座はどうだったか?

	よくわかった	すこしわかった	わからなかった
参加者	7名	0名	0名
保護者	1名	0名	0名

②今日のお話とゲームで、いちばんよかったこと、心に残ったこと（抜粋）

○おはなし

- ・てづくりプール
- ・がまっこぶれーばーくについて分かりやすく説明してくれてとてもよかった
- ・いろいろな遊びをしたり、体験をしたりしているという話を聞いて楽しそうだなと思った!
- ・公園で遊べなくても、遊ぶところはあるとわかりました。

○体験

- ・くもの巣づくりが楽しかったです。
- ・割りばしでっぽうがあまりやったことがなかったので楽しかったです
- ・いろんな遊びがあつたのしかつた

- ・ ジェンガと折り紙が楽しかった。

③ゲストの人に聞きたいこと、つたえたいこと（抜粋）

- ・ 子どもたちの遊ぶところをつくるというのは、とても大切に素敵なことだと思いました。
- ・ くもの巣ってどうやって考えたんですか
- ・ ありがとうございます

④あそびブースの話し合いで、いろいろ考えたり、話したりできたか？

	よくできた	すこしできた	あまりできなかった
参加者	3名	4名	0名

⑤「クリスマス雑貨市」の時、どのボランティアをしたいか？

	出展団体のお手伝い	あそびブースの担当	どちらでもよい
参加者	1名	5名	1名

（４）第４回・「たがさぼのクリスマス雑貨市」ボランティア説明会・あそびブース準備
（17名参加／17件回収・保護者4名参加／アンケートなし）

①今日の活動に、すすんで参加することができたか？

	よくできた	すこしできた	あまりできなかった
参加者	12名	5名	0名

②今日の活動で、いちばんよかったこと、心に残ったこと、楽しかったこと（抜粋）

- ・ ポスターを書けたこと
- ・ 今日は、ポスターをつくったり紙皿リースを友達と話しながらかつてできて楽しかった。
- ・ いろんなグループの説明を聞けてすごかったです
- ・ 出展団体の人たちの説明で、知らなかったいろいろな団体さんがたくさんいてすごかったです。
- ・ 出展団体の第一希望がとおってうれしかったです
- ・ エステバンとのお話

③雑貨市でボランティアをする時に、がんばりたいこと（抜粋）

- ・ 自分からすすんで話しかけること
- ・ 自分も楽しむこと
- ・ 自分がすることをしっかりする
- ・ 担当の人に迷惑をかけないようにがんばりたい
- ・ 私がボランティアをする団体の人には耳が聞こえない人がいるのでなおさらがんばりたいです。
- ・ いろんな人とコミュニケーション
- ・ 笑顔で接すること
- ・ すすんで活動したい

(5) 第5回・「たがさぼのクリスマス雑貨市」ボランティア体験・お買い物体験（18名参加／18件回収）

①今日の活動に、すすんで参加することができたか？

	よくできた	すこしできた	あまりできなかった
参加者	18名	0名	0名

②今日の活動で、いちばんがんばったこと（抜粋）

- ・お客さんといろいろ話した
- ・お客さんの呼びこみ
- ・来たお客さんをたくさん楽しませた
- ・焼きマシュマロの時、自分から進んで話した
- ・人とのコミュニケーション
- ・マシュマロ焼きで（燃やすための）葉を拾った
- ・絵本を読むこと
- ・火が弱くなっている時に強くする
- ・小さい子にわかりやすく教えた。やけどしないように気をつけた

③今日の活動で、いちばん心に残ったこと、楽しかったこと（抜粋）

- ・お客さんが「ありがとう」と言ってくれたこと
- ・障がい者の人といっしょにお店をしたこと
- ・いろいろな人と活動すること
- ・たくさん商品が売れたこと
- ・売って、買ってもらったこと
- ・はじめてこのような店をやって楽しかったです
- ・書道で、いろいろなを書いたこと
- ・マシュマロを焼いたこと

④今日の活動をとおして、勉強になったな、と思ったこと

- ・誰かに何かを買ってもらうと、自分も相手も笑顔になること！！
- ・お店をしていてお客さんを楽しませることはとても大切だと思った
- ・お客さんを楽しませること
- ・ベトナムとかの「ありがとう」とかが勉強になった
- ・障がいがあっても物はつくれるということ
- ・たくさんの工夫をして商品をつくっていること
- ・マシュマロの焼き方
- ・火のつけ方を覚えた
- ・煙の方に行かない

⑤今後、ボランティア活動の呼びかけがあったら、参加してみたいと思うか？

	すぐにでも参加したい	中学生や高校生、大人になったら参加したい	参加しない	わからない
参加者	15名	2名	0名	1名

⑥お買い物体験の感想（抜粋）

- ・いろんな団体のことを知ることができてよかった
- ・色んなお店があって買うのに悩みました。でも、気に入った物を買うことが出来ました！
- ・色んなお店があって選ぶのが楽しかった
- ・お買い物券だとお話ができて楽しかった
- ・やかもち鍋の中に昔のお米で作ったお餅が入っていることを教えてもらいました。おいしかったし、売っている人とお話もできて楽しかったです。
- ・とても美味しかったです。楽しかったです。
- ・可愛いものがたくさんあった
- ・楽しかった！

2. 中学校・高校のボランティアコーディネート支援の模索

(3) 「たがさぼのクリスマス雑貨市」ボランティア（8名参加／7件回収）

①雑貨市のボランティアをやりたいと思った理由（抜粋）

- ・学校のボランティアセンターに所属していて、そこで今回のボランティア活動を募集していたため「やりたいな」と思い参加しました。
- ・何かボランティアをしたいなというタイミングで、高校で募集をかけていたから。
- ・高校に入学してから、ボランティア活動に興味があったため。
- ・人との交流が好きだから。
- ・いろんな人と交流してみたいと思ったからです。
- ・人を助けたり手伝ったりするのが好きだから。

②ボランティアの募集、説明会について

1) ボランティアの募集内容について

分かりやすい	普通	分かりにくい
4名	3名	0名

2) ボランティアの募集情報を知った場所をお書きください。

- ・学校のおたより（3）
- ・高校（2）
- ・学校
- ・学校のボランティアセンター

3) ボランティアの説明会について

分かりやすい	普通	分かりにくい	不参加
4名	0名	0名	3名

③雑貨市当日について

1) 活動の全体の満足度（5段階評価）

5	4	3	2	1
4名	3名	0名	0名	0名

○「5」を選んだ理由

- ・スペシャルツアーを通して、小さな子から大人まで幅広い年代の方と話すことができました。また、お店がたくさんあって満足できました。
- ・手伝いをしていてとても楽しかったし、周りの人も笑顔で話してくれたから
- ・始めは緊張していて積極的に行動できなかったが、やっているうちに慣れて楽しくなり自分から行動する力が身についたから。
- ・初めてのボランティア活動で心配だったが、とても楽しく、小さい子供からお年寄りまで、幅広い人と話したりすることができたから。

○「4」を選んだ理由

- ・様々な団体の方々と交流ができ、とても良い時間を過ごすことができました。
- ・好きなお店をたくさんおすすめてきてよかったです。たくさん買ってもらえてよかったです。
- ・みんなと交流して仲良くなれたりしたので結構満足できました。

2) ボランティアの活動内容の指示や説明について

分かりやすい	普通	分かりにくい
5名	2名	0名

3) 参加団体との交流はできたか？

よくできた	普通	出来なかった
7名	0名	0名

4) 今後、また何かボランティア活動に参加したいと思うか？

思う	思わない	どちらともいえない
7名	0名	0名

5) 今回のボランティアを通して分かったことや感想、要望など

- ・いろいろな活動をするにあたって、一人でするのではなく、いろいろな人と協力してすることが大切だと分かった。
- ・積極的に行動することで、いろいろな人とコミュニケーションが取れると分かりました。また、海外をテーマにして出店している方もいたので、様々な文化に触れることができて良かったです。
- ・世界には、さまざまな文化やひとがいるなどあらためて感じました。
- ・どこかの国のぼうし(?)をかぶってみて、髪がじゃまじゃなかったり、暖かったです。
- ・たくさんの人と交流ができました。また、さまざまな団体の人々と交流ができて、その団体について知ることができました。またこのようなボランティア活動の募集があったらやりたいと思いました!!
- ・他国の文化をたくさん知れました。こういう活動に参加するのが初めてだったので、いろいろな方と交流できて良かったです。
- ・お子さんから、ご高齢の方まで様々な年代の方とお話できて、たくさんの交流ができて、様々な人との関わり方など色々なことを学ぶことができました。本当にありがとうございました。

4. TAGAJ0 Youth Challenge 部

(2) 次世代セッション「きっかけのきっかけトーク」(22件回収/24名参加) ※1枚に3人の記載が1枚あり

①住所

多賀城市	塩竈市	七ヶ浜町	利府町	仙台市	その他
11名	1名	0名	1名	11名	0名

②年代

10代以下	20代	30代	40代	50代	60代
7名	7名	4名	2名	3名	1名

③この講座をどこで知ったか(複数回答可)

TSCスタッフ	知人・友人	チラシ	TSCのHP/ ブログ/X	広報多賀城	その他
4名	9名	10名	2名	3名	1名

④満足度（5段階評価）

5	4	3	2	1
15名	4名	3名	0名	0名

○「5」を選んだ理由（抜粋）

- ・話が興味深い。元気をもらえました
- ・実行・実現するためのアクションを知ることができたため
- ・本を読む、何か動いてみる、など行動しようと思えるモチベーションが高まった
- ・参加者との交流もあり、学びが深まりました

○「4」を選んだ理由（抜粋）

- ・お話自体すごくおもしろかった

⑤イベントに参加してみて、今の想いに近いもの（複数回答可）

ボランティア に参加したい	イベントを 企画したい	団体を立ち上 げたい	すでに活動し ている	その他
5名	5名	2名	3名	6名

○その他の理由（抜粋）

- ・何か思ったことを相談したい
- ・やりたいことをどんどん行動に移していきたい
- ・まずやりたいことを人に話してみようと思った

⑥興味や関心のある分野（複数回答可）

福祉	まち づくり	国際 交流 協力	NPO 支援	シニア	医療 保健 福祉	スポ ーツ	子ども の育成 支援	社会 教育 生涯 学習	文化 芸術	環境	人権 ジェンダー	その他
3名	10名	4名	4名	1名	3名	1名	8名	7名	7名	3名	1名	3名

○その他

- ・キャリア教育
- ・IT・ゲーム
- ・食品ロス

⑦ゲストへの質問・感想など（抜粋）

- ・私は行動力がある方だと思っていましたが、佐々木さんのお話を聞いて、自分にできることはまだまだあ
ると気付かされました。今後は今まで以上に行動していきたいととてもわくわくさせられたのでとても有
意義な時間を過ごせました！とても良いイベントでした。ありがとうございます
- ・人とのつながりがすごいなと思った。目の前のことだけでなく、周りを見る余裕がほしいと思った
- ・短い時間でしたが、内容の濃いお話を聞くことができ、とても面白かったです
- ・やりたいことを小さくても人と話すことをしていこうと強く思いました。また、人との繋がりも大切にし
ていきたいです。貴重なお話ありがとうございました
- ・やりたいことがあり模索中です。背中を押していただきました

(3) 新たな地域の担い手発掘・育成事業 2) 市民参画促進事業

目 的	○市民活動・ボランティア活動の知識や理解を深めることで、地域で活動する団体や地域課題に関心を持った方が、次のアクションにつながるきっかけをつくる。 ○ボランティア体験や市民活動団体との交流を通し関わることの楽しさを知り、自分のできるかたちで活動に関わる市民を増やし、新たな担い手を増やす。 ○小学生を対象とした雑貨市きつず講座を実施することで、市民活動について知ってもらう機会を提供する。(次世代活躍事業と連携)
背 景	○何らかの形で地域の役に立ちたい、自分のスキルをだれかのために活かしたい、そのためにNPOについて学びたいという市民や無関心層にも市民活動やボランティア活動を知る・関わる機会を提供することで、市民活動が自分や地域にとって身近な存在であることに気づくことができる。 ○クリスマス雑貨市やきつずボランティア講座などを行うことで、より市民活動や課題を身近に感じてもらう機会を提供していく。(次世代活躍事業との連携) ○今年度は学びから活動につながるように、市民活動体験など、より実践の場での学びを提供していく。さらに、NPOの交流会への参加など、自らNPOや市民の声を聞きアプローチできる機会をつくる。(NPOつながり支援事業との連携)
対 象	○市民活動に触れたことがない方、何かしたい、役に立ちたいと思っている方 ○無関心層の 20～40 代の方やファミリー層
成果目標	○講座受講者 3 名以上が情報収集や市民活動団体のイベントや講座、また交流会への参加など、団体や市民活動に関心を示す(個別ヒアリングにより集計) ○講座受講後に市民活動やボランティアへ 5 名以上参加(個別ヒアリングにより集計) ○クリスマス雑貨市の来館者目標：500 名(入口で入場者数をカウントして集計) ○クリスマス雑貨市の新規来館者／全体来館者の 40%(来場者アンケートより集計)
成 果	○講座受講者が関心のある活動の情報収集やイベント・講座に 4 名参加、またこれからやりたいと思っている活動の周知や地域団体とのつながりづくりとして交流会に 2 名が参加(合計 6 名／達成率 200.0%)次のアクションにつながった。 ○講座受講後・雑貨市参加後、ボランティア活動(にゅっ展 1、雑貨市 1、生涯学習 100 年構想実践委員会 1)へ参加し次の一步を踏み出した(合計 3 名／達成率 60.0%) ○クリスマス雑貨市の来館者目標：500 名 来館者数 716 名(達成率 143.2%) ○クリスマス雑貨市の新規来館者 46 名 アンケート回答者 123 名(達成率 37.4%)
次年度に 向けた課題	○ボランティア入門講座後、受講生に定期的なボランティア情報や活動サポート情報などの提供が不十分だった。自立した活動ができるように情報提供を行うことが必要と考える。 ○相談対応からテーマを設定したNPOいちから塾が参加者のニーズに合致した。次年度もテーマ型のNPOいちから塾の実施を検討する。 ○クリスマス雑貨市については来年が 12 年目となる。団体や市民の関わり方を含めた目的の見直しを検討する。

実施概況（3）新たな地域の担い手発掘・育成事業 2）市民参画促進事業

1. NPOいちから塾&ボランティア講座

（1）NPOいちから塾

日 時：令和5年5月13日（土）10:30～12:00

会 場：多賀城市民活動サポートセンター 301 会議室

対 象：市民活動に興味・関心のある方

これからNPOを始めようと思っている人

プログラム：・NPO基礎講座

- ・たがさぼガイドツアー
- ・質疑応答・交流タイム
- ・アンケート記入など

講 師：スタッフ齋藤

ガイド：スタッフ西條

参 加：7名

成 果：NPOの基礎知識を学ぶ機会となり、他のNPO関連の講座やイベントに関心を持つ機会を提供できた。活動事例の紹介から活動者の想いや目的に触れる事ができた。

（2）ボランティア入門講座

日 時：令和5年5月13日（土）13:00～14:30

会 場：多賀城市民活動サポートセンター 301 会議室

対 象：ボランティア活動に関心のある方

プログラム：・ボランティア入門講座

- ・ボランティア活動体験のお話
- ・グループトーク
- ・ボランティア体験の説明、アンケート記入など

講 師：スタッフ西條

ゲスト：畑岡みゆきさん、米倉祐子さん

（ボランティア活動者、2022年度はじめてみよう

ボランティア講座受講者）

インタビュアー：スタッフ京極

参 加：6名

ボランティア体験先：

1）「にゃっ展 2023」

猫が大好きな作家たちの作品販売と展示会

日 時：令和5年5月19日（金）14:00～17:00

会 場：七ヶ浜国際村



1（1）講座の様子



1（1）館内ガイドの様子



1（2）講座の様子



1（2）ボランティアへの想いや不安を共有

参 加：1名

2) たがさぼのクリスマス雑貨市 2023

日 時：令和5年12月3日(日) 10:30~15:00

会 場：多賀城市民活動サポートセンター

参 加：1名

成 果：ボランティアを始めるためのハードルの高さを
感じている参加者に、気軽に始められるという
事を伝えることが出来た。

(3) 出前NPOいちから塾(一般社団法人夢と絆)

日 時：令和5年6月19日(月) 19:00~19:40

会 場：多賀城市民活動サポートセンター 第1和室

内 容：NPO基礎講座

講 師：スタッフ齋藤

参 加：4名

(4) NPOいちから塾 ~保護猫・地域猫のことを知ろう~

日 時：令和6年1月19日(金) 18:30~20:00

会 場：多賀城市民活動サポートセンター 301 会議室

対 象：猫の保護活動に関心のある方

猫の保護活動に参加してみたい方

地域の野良猫問題をどうにかしたい方

プログラム：・NPO基礎講座

- ・保護猫、地域猫のことを知ろう
- ・質疑応答、交流タイム
- ・アンケート記入など

ゲスト講師：マオメオ・キャットクラブ 阿部佳代子さん

講 師：スタッフ齋藤

参 加：9名

成 果：NPOの基礎知識を伝え、今回のテーマである保護
猫・地域猫関連の活動についてと助成金、ボランティ
アの種類についてなど参加者が知りたい内容を伝える
ことができた。

2. たがさぼのクリスマス雑貨市 2023

(1) おでかけミニ雑貨市@ロビーステージ&サークルフェア 2023

主 催：多賀城市文化センター指定管理者

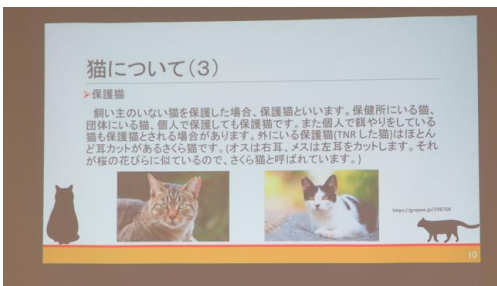
日 時：令和5年10月9日(月・祝) 10:00~15:00



1 (2) にゃっ展で受付のボランティア体験



1 (4) ゲスト講師から野良猫・地域猫・保護猫の違いなどをお話いただいた



1 (4) 保護猫とは、地域猫とは何かを学んだ



2 (1) たがさぼ出展ブース全体の様子

会 場：多賀城市文化センター 小ホールホワイエ

内 容：市民活動団体、ワークショップ

出展団体：4団体

- ・手形足形ぺったんアートチコラ
- ・さをりひろば余暇よか
- ・M工房
- ・むかい＊いきもの研究所

来場者：のべ664名※イベント全体の参加者数

(2) 雑貨市展示

内 容：「インクルーシブってなんだろう？」

さまざまな人がたのしめるイベント「たがさぼの
クリスマス雑貨市」に出展する団体を通して、イ
ンクルーシブの意味を伝えた。

1) 多賀城市立図書館展示・委託販売

①展示

日 時：令和5年11月13日（月）～24日（金）

会 場：A棟2階西側共有スペース

参加者：15名（展示場所のパンフレット残数より算出）

②委託販売

日 時：令和5年11月15日（水）～12月30日（土）

会 場：蔦屋書店1Fポップアップショップ

出 店：3団体

- ・麦薫る風処 萌芽
- ・Kyu
- ・多夢多夢舎中山工房

2) 多賀城市役所展示

日 時：令和5年11月13日（月）～24日（金）

会 場：多賀城市役所 1F ロビー

参加者：47名（パンフレット残数より算出）

3) 多賀城市市民活動サポートセンター

日 時：令和5年11月24日（金）～12月3日（日）

会 場：多賀城市市民活動サポートセンター

2F ギャラリー

4) 多賀城市立図書館ワークショップ

日 時：令和5年11月18日（土）13:00～15:00

会 場：1F 住まいと暮らし

内 容：お習字ワークショップ&ライブ道場



2 (1) ワークショップの説明を聞く参加者



2 (2) 1) 多賀城市立図書館展示の様子



2 (2) 2) 多賀城市役所展示の様子



2 (2) 4)

お習字ワークショップではゲストや参加者同士の交流も生まれた

講 師：大塚耕志郎さん（書道楽）

参 加：大人7名 子ども2名

（3）ボランティア事前説明会&出展団体交流会

日 時：令和5年11月25日（土）

13:00～13:30 事前説明会

13:30～14:30 団体紹介、交流会

会 場：多賀城市民活動サポートセンター

大会議室、301 会議室、302 会議室

対 象：出展団体、ボランティア、きつずボランティア

内 容：雑貨市の趣旨説明、団体の活動紹介、団体同士の交流など、雑貨市開催の趣旨を再確認するため、説明の機会と情報交換の場を設けた。雑貨市きつず講座の4回目、ボランティア説明会も同時開催し、団体やボランティアの交流を図った。

参加団体：13 団体／21 名

ボランティア：9 名（一般5名、大学生4名）

（4）たがさぼのクリスマス雑貨市 2023

日 時：令和5年12月3日（日）10:30～15:00

会 場：多賀城市民活動サポートセンター全館、芝生広場

テーマ：たのしもう！みんないっしょに

対 象：雑貨に関心を持つ20代～40代の方

市民活動に興味を持つ小学生と保護者

内 容：市民活動団体の雑貨・食品の販売、ワークショップ、フードボックス等

出展団体数：34 団体／68 名

ボランティア：24 名（一般6名、大学生10名、中高生8名）

きつずボランティア：18 名

来場者数：のべ716名（目標500名 143.2%）

（よみきかせ218名 外ブース253名）

パンフレット配付数：354

アンケート回収数：123

初来館者数：46

1）出展団体※パンフレット掲載名で記載

①食品販売

・本格遠赤焙煎珈琲まめ福 ・コッペ



2（3）

手話やUDトークも活用し参加者に出展団体を紹介



2（4）正面入り口の様子



2（4）

会場入口前に並び雑貨市の開場を待つ来場者



2（4）

来場者の中には補助具利用者の姿もあった

- ・NPO法人コスモスクラブ すまいる作業所
- ・マイロ ・ワークスペースぽぽ
- ・麦薫る風処萌芽 ・生涯学習100年構想実践委員会
- ・社会福祉法人ゆうゆう舎ぱれった・けやき宮城野
- ・ポッケの森 ・一般社団法人イシノマキ・ファーム

②雑貨販売

- ・M工房 ・アマニ・ヤ・アフリカ
- ・NPO法人ソキウスせんだい アトリエ・ソキウス
- ・マオメオ・キャットクラブ ・いいね仙台「縁」
- ・珈琲豆と手しごとのモノ kyuu ・多賀城市国際交流協会
- ・多賀城市地域活動支援センター コスモスホール
- ・ろう LGBT 東北

③ワークショップ

- ・お習字ワークショップ&販売 書道楽
- ・むかい＊いきもの研究所
- ・出張！インスタント・アジアカフェ（地球対話ラボ）
- ・ともだち・カワン・コミュニティ
- ・多賀城イングリッシュ・サポーターズ
- ・多賀城市ジュニアリーダー「エステバン」
- ・まほうの手 お出かけ隊 ・家庭文庫ちいさいおうち

④寄付ブース

寄贈先：いのちのパン

あそびのわ がまっこぶれーぱーく

日 時：令和5年11月2日（木）

～令和6年1月30日（火）

会 場：多賀城市市民活動サポートセンター

1F エントランス

内 容：フードボックスを設置して食料品、日用品などの寄付を受け付けた。

成 果：食料品 20.3 kg 米 42.0 kg

日用品 5.3 kg の寄付を受けた

⑤展示

- ・朗読ボランティアサークル ありんこの会
- ・社会福祉法人 嶋福祉会 梨花
- ・障がい者サポーターズ Golazo！

⑥協力団体

- ・一般社団法人ステージパス
- ・あそびのわ がまっこぶれーぱーく



2（4）

団体オリジナルの鍋。多賀城やかもち鍋の販売



2（4）雑貨販売の様子



2（4）絵本読み聞かせブースの様子



2（4）商品の魅力を来場者に説明する出展者

・マジシャン Hinata

⑦メディア取材

・東北放送・t b c ラジオ

「GoGo はみみこい ラジオな気分」

日 時：令和5年11月28日（火）12:15～12:25

内 容：クリスマス雑貨市の紹介・告知

電話出演：スタッフ京極

クリスマス雑貨市成果：

テーマに沿い、スタッフの筆談対応やカームダウンスペースの設置、インクルーシブについて考えるきっかけとなる展示を行ったり、中高生による雑貨市をさらに深く知るガイドツアーなど新しいことに挑戦。ボランティアは小学生から70代までの方の参加があり、団体との交流だけではなく世代を超え交流ができた。来場者からは出展団体と話す機会が持てて有意義だったという声があった。

※カームダウンスペース…発達障害、知的障害、精神障害などの方が、外部の音や視線を遮断し気持ちを落ち着かせて、パニックを防ぐためのスペース。



2 (4)

きつずボランティアも活躍した外あそびの様子



2 (4)

団体の活動目的・内容・や活動を知ってもらう展示を行った



2 (4)

フードボックス。お米2袋の寄付もあった

アンケート集計結果

1. NPOいっから塾（1回目）（7件回収/7名参加）

①年代

10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
0名	0名	3名	2名	2名	0名	0名	0名

②住所

多賀城市	塩竈市	七ヶ浜町	利府町	松島町	仙台市	その他
5名	1名	0名	0名	0名	1名	0名

○仙台市（青葉区）

③講座をどこで知ったか（複数回答可）

TSCスタッフ	チラシ	TSCのHP	多賀城NOW	その他
2名	1名	1名	1名	2名

○チラシ（SSC）、その他（多賀城市のFacebook、多賀城市市長のSNS）

④満足度（5段階評価）

5	4	3	2	1
3名	3名	1名	0名	0名

○「5」を選んだ理由（抜粋）

- ・分かりやすかったし、見学もできた。
- ・とてもわかりやすかった。またイベントなど参加したい。

○「4」を選んだ理由

- ・参加者の方ともう少し話ができる時間があるとよい。
- ・NPOという基本が知れた。
- ・色々な方の想いも聞くことができてよかった。

○「3」を選んだ理由

- ・NPOのイロハを知ることができたが個人的には「こういった理念で、こういった手続きでこういった取り組みをしてこんな困難があったけど、こんな結果が出てこんな未来をつくりたい」などの現場の声を聞きたかった。

⑤講座で学んだことや質問・感想（抜粋）

- ・任意団体にせよ法人にせよ、必要なマインドだと思いビジコンやイベントに参加したりインスタで多賀城のことを発信し続けるなどのアクションをし続けることが大切だと感じた。
- ・とてもわかりやすかった。またイベントなど参加したい。
- ・NPOはすべて法人だと思っていたが、法人にならなくても活動できることがわかった。

⑥始めてみたい活動やもっと詳しく知りたいこと（抜粋）

- ・ビジコンで発表した案が「花の種を贈ってコミュニティを深める」というアイデアだったので、「花」「環境」「地域コミュニティ」と関係したNPOが多賀城にあればどんな活動しているのか知りたい。

- ・地域の栄養（食育）などを広げる活動をしたい。
- ・横のつながりなどがあればいいと思う。

2. NPO いちから塾（2回目） ～保護猫・地域猫のことを知ろう～（8件回収/9名参加）

①年代

10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
0名	0名	1名	2名	1名	1名	3名	0名

②住所

多賀城市	塩竈市	七ヶ浜町	利府町	松島町	仙台市	その他
5名	1名	1名	0名	0名	0名	1名

○その他（丸森町）

③講座をどこで知ったか（複数回答可）

TSC スタッフ	知人・友人	チラシ	HP ブログ・X	多賀城 NOW	多賀城市 SNS	その他
4名	1名	2名	0名	1名	0名	0名

○チラシ（オノデラ動物病院、多賀城市市役所）

④満足度（5段階評価）

5	4	3	2	1
6名	2名	0名	0名	0名

○「5」を選んだ理由（抜粋）

- ・NPOの基礎、猫事情等とても分かりやすく理解できた。
- ・保護猫との関わり方を知れてよかったです。

○「4」を選んだ理由

- ・初めてのことでためになったと思う。それとこういった活動が多いということ、初めて知った。
- ・初めての参考になる情報を頂けた。もう少し時間があるとよかった。

⑤講座で学んだことや質問・感想（抜粋）

- ・なにかのお手伝いができればと思い参加しました。一番欲しいのは資金面の援助なんですね。
- ・NPOとはから始まり知らないことが多すぎて、それが一つ一つ理解できてとても多くを学びました。
講師の阿部さんのお話も知らないことを知ることができて感謝です。頭が下がりっぱなしでした。
- ・県内の保護猫事情がネットだけだとよくわからなかったなので、実際のお話を聞けて良かった。

⑥始めてみたい活動やもっと詳しく知りたいこと（抜粋）

- ・地域猫の取り組み等、自治会活動の先進地の話等聞いてみたいと思いました。
- ・今のところ、猫を飼うことができませんが、できることを考えてみようと思います。
- ・保護猫について、保護する方法やノウハウ、実際の活動内容。

3. ボランティア入門講座（6件回収/6名参加）

①年代

10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
0名	0名	1名	0名	1名	3名	1名	0名

②住所

多賀城市	塩竈市	七ヶ浜町	利府町	松島町	仙台市	その他
6名	0名	0名	0名	0名	0名	0名

③講座をどこで知ったか（複数回答可）

TSC スタッフ	知人・友人	チラシ	HP ブログ・X	多賀城 NOW	多賀城市 SNS	その他
3名	0名	1名	0名	3名	0名	1名

○その他（市役所）

④満足度（5段階評価）

5	4	3	2	1
2名	4名	0名	0名	0名

○「5」を選んだ理由

- ・経験談が聞けてよかった。
- ・丁寧な説明と体験談でとてもよく理解できた。

○「4」を選んだ理由（抜粋）

- ・まず一歩踏み出すことが大切ということが学べました。
- ・ボランティアを始めたきっかけなどいろいろな体験談を聞くことができてよかった。

⑤講座で学んだことや質問・感想（抜粋）

- ・始めてみたいと思っていたボランティアのきっかけになった。
- ・思ったよりもハードルが低く感じたので挑戦しやすく感じた。
- ・ボランティアのことがなんとなくわかってきた。

⑥始めてみたい活動やもっと詳しく知りたいこと（抜粋）

- ・始めてみたい活動は、やはり自分の興味を持ったことから始めてみようと思う。

4. たがさぼのクリスマス雑貨市 2023 アンケート

（1）来場者アンケート（123件回収）/来館者数:716名

1）ご自身について

①年代（回答数：123）

10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
32名	5名	26名	24名	20名	5名	9名	2名

②住所（回答数：111）

多賀城市	塩竈市	七ヶ浜町	利府町	松島町	仙台市	その他
80 名	4 名	0 名	0 名	1 名	21 名	5 名

○その他（石巻、大郷町、福島県、大崎市、栗原市）

③来館回数（回答数：102）

初めて	2 回目	3 回以上
46 名	14 名	42 名

2）雑貨市をどこで知ったか？（複数回答可）

①チラシ・ポスター（回答数：109）

T S C	市役所	市内外の施設	他
41 名	11 名	19 名	38 名

②インターネット（回答数：38）

HP	ブログ	X (旧 Twitter)	インスタグラム	市の Facebook /LINE/Instagram/ 広報
14 名	1 名	6 名	8 名	9 名

③その他（回答数：14）

他ウェブメディア	フリーペーパー	新聞
5 名	8 名	1 名

④聞いて（回答数：52）

家族	友人・知人	T S C スタッフ	他
23 名	13 名	6 名	10 名

3）雑貨市の満足度（5 段階評価）（回答数：119）

5	4	3	2	1
52 名	51 名	15 名	1 名	0 名
43.7%	42.9%	12.6%	0.8%	0%

○「5」を選んだ理由

- ・コロナで制限されていたところに比べ、とても賑やかでうれしかったです。
- ・出店者の方々と直にお話する機会がもてて有意義でした。
- ・多様性を知ることができた。

○「4」を選んだ理由

- ・いろいろな団体さんが参加していて楽しかったです。各団体が活動状況を知ってもらいたい機会だと思いました。

- ・各階大変混雑していました。休憩するベンチ等、あれば助かります。

○「3」を選んだ理由

- ・各ブースが狭く、ゆっくり見れないと感じた。
- ・来た時間が遅かったのもあると思いますが、手作りできるブースがもっとあったら楽しかったです。

4) 出展団体について初めて知ったこと（回答数：111）

団体の活動 内容や目的	購入が支援に 繋がること	商品が作られた 経緯	その他
48 名	47 名	15 名	1 名
43.2%	42.3%	13.5%	0.9%

5) 今後も支援につながる買い物をしたいと思うか

思う	思わない
112 名	0 名

6) 感想やご意見、気づいたこと（抜粋）

- ・販売だけではなく、絵本を手話で読んでいて大人もうなずいて楽しんでいたり、小さい子ども達がとても喜んでものがたりに入っていて、とてもよい企画だと思いました。
- ・たがさばは初めてでしたが、いろいろな活動をしていることを知って、とても素敵だなと思います。機会があればまた来たいと思います。
- ・昨年度改善してほしいとアンケートに書いたことが反映されていて、高齢の母と回りやすかったです。

(2) 出展団体アンケート（27 件回収/34 団体）

1) 雑貨市の売り上げについて

無料	10,000 円以下	10,001 円～20,000 円	20,001 円～30,000 円
5	3	4	5
30,001 円～40,000 円	40,001 円～50,000 円	50,001 円～60,000 円	60,001 円～70,000 円
5	2	1	0
70,000 円以上			
2			

2) ほかのイベントに比べて売り上げはどうだったか（3 段階評価）

よかった	いつもと同じくらい	よくなかった
11	9	4

○売り上げについて考えられる理由（抜粋）

- ・前回来店していただいたお客さまも来ていた。食品でまとまったブースだったので売りやすかった。
- ・入り口からの同線がはっきりしていたため、お客さんの流れが良かった。
- ・前年よりも人出が多く感じられ、制限なども緩和されていたのが影響していると思う。

3) 販売商品やワークショップの内容についてお客様とお話できたか（複数回答 回答数：29）

説明ができた	説明ができなかった	売上の用途を説明	その他 未回答
22	1	4	2

○その他（事業の説明）

○記述内容（抜粋）

- ・作り手（利用者）が直接お客様とお話できました。
- ・手話をどこで覚えたのか、いろいろな所の紹介をできました。
- ・普段の販売場所や、ネット販売は可能か、など。

4) 団体の活動についてお客様とお話できたか

説明ができた	説明ができなかった
20	6

○記述内容（抜粋）

- ・3年前に来てお話した方が保護しましたとお話もらいました。これから飼いたいという方にも説明できました。
- ・多様性を認める活動をしていることを伝えられました。
- ・どんな目的で販売しているか、販売を通じてどんな社会を実現したいかなど。

5) そのほか、お客様とはどのようなお話があったか（抜粋）

- ・以前買ってくださったお客様が他の商品を買ってくださった。
- ・出店のご依頼がありました。次に繋がる機会ができました。
- ・他にどのような場所で出店しているのかなど。

6) 他の出展団体との交流について

交流ができた	交流ができなかった
20	5

○記述内容（抜粋）

- ・いつも一緒になる団体も多かったので安心して販売できました。また初めての団体の方も購入して下さったりしてうれしかったです。
- ・今回は、他の団体ブースを見て回る時間が取れました。買い物を通して、団体の活動や商品の制作過程の話など聞くことができました。
- ・活動内容について、販売の状況についてお話しできました。

7) 感想やご意見、気づいたこと（抜粋）

- ・ボランティアさんがお手伝いしてくださり大変助かりました。また機会があればお願いしたいです。
- ・参加したメンバーさんもいきいきと接客しておりましたし、学生ボランティアさんが最後までお手伝いしてくださりととても良い交流の機会となりました。
- ・普段交流のできない出展者様や、お客様と交流できて、とても刺激になりました。ありがとうございます。

(3) ボランティアアンケート (23 件回収/24 名参加)

1) ご自身について

①年代

10 代以下	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代以上
10 名	8 名	0 名	0 名	1 名	3 名	1 名	0 名

②住所

多賀城市	塩竈市	七ヶ浜町	利府町	松島町	仙台市	その他
11 名	0 名	0 名	0 名	0 名	11 名	0 名

2) 雑貨市のボランティアをやりたいと思った理由を教えてください (抜粋)

- ・もともとボランティア活動をしたいという意思があった。雑貨は過去のことを調べたところ雰囲気がとてもよさそうだと感じ、参加が自分にとってよい経験になると思ったから。
- ・多賀城に昔からずっと住んでいてクリスマス雑貨市の存在を知っており興味があったため。
- ・学校の授業の一環でたまたま募集を見つけたから。

3) 募集・説明会について

①募集のわかりやすさ (3 段階評価)

分かりやすい	ふつう	分かりにくい
18 名	5 名	0 名

②募集を見かけた場所

大学の授業、ボランティアセンターでの紹介	9 名
高校での募集	2 名
中学校のお便り	4 名
T S C スタッフからの声かけ	5 名
みやぎ N P O 情報ネット	2 名
広報誌	1 名

③説明会 (3 段階評価)

分かりやすい	ふつう	分かりにくい
13 名	0 名	0 名

○「ふつう」を選んだ理由 (抜粋)

- ・報連相がうまくいっていないところが見受けられました。
- ・初めてだったせいか流れがよく分かっていなかった。

4) 雑貨市当日について

①活動全体の満足度（5段階評価）

5	4	3	2	1
17名	5名	1名	0名	0名

○理由（抜粋）

- ・仕事内容が明確で行動しやすかったため。いろんな人と関わって楽しかった。子どもたちがかわいかった。
- ・初めてのボランティアでろう障がいの方のブースでした。とてもフレンドリーで快く受け入れてくださり本当に感謝です。
- ・初めてのボランティア活動で心配だったがとても楽しく小さい子どもからお年寄りまで幅広い人と話したりすることができたから

②ボランティアの内容・指示について（3段階評価）

分かりやすい	普通	分かりにくい
18名	3名	1名

○「分かりやすい」を選んだ理由（抜粋）

- ・的確な指示をいただけたのでこちらもスムーズに動けました。

○「分かりにくい」を選んだ理由

- ・具体的な活動や業務の説明が分かりにくかった。自主的に活動できるという面ではよかった。

③参加団体との交流はできたか（3段階評価）

よくできた	ふつう	できなかった
16名	6名	0名

○記述内容（抜粋）

- ・一歩踏み込むのが難しい団体もありますが参加団体を知れることができるのでありがたいです
- ・事業の内容を詳しく教えてくださり聞いていてためになった。よかったです。

5) 今後、何かボランティアに参加したいと思いますか

参加したい	参加したくない	どちらともいえない
22名	0名	0名

6) 感想やご意見、気づいたこと（抜粋）

- ・きつずボランティアやツアーなど、毎回新しい試みや工夫があつて素晴らしいと思います。
- ・難しいことがなく年齢問わず楽しめるボランティアだと感じました。参加団体の方や他のボランティアとの交流もでき、ぜひいろいろな方に参加してもらいたいと感じました。
- ・それぞれの団体さんがこの日のために思い思いに作品を作られたり、準備されたりしてきたことが一日を通して感じることができました。大学で福祉を学んでいるため、この経験を活かしていきたい。

(4) NPO支援事業 1) NPOつながり支援事業

目 的	○自団体の強み・弱みを知り、団体運営力のアップを図るよう支援することで、他団体や市民とつながり、団体を理解し支援する人や連携する団体が増える。 ○ボランティア情報の収集と発信を行うことで、市民活動に関わる市民を増やす。
背 景	○令和 2～4 年度までの 3 年間、団体の個別相談会を行い、そこで多く上がっていた広報や資金調達、組織運営、ボランティアマネジメントなど、団体のスキルアップを目的とする講座を開催した。団体同士の交流の場面ではもっと交流を深めたいという声が聞かれたほか、講座終了後のアンケートでも団体同士の交流会を求める声が多くあった。団体同士がお互いの活動を知り、地域課題解決に向けた連携を目指すことにつなげるため、交流会の開催を企画した。 ○昨年度から、団体にボランティア受け入れ情報を聞き取り発信し、受け入れ側の活動内容の整理にもつなげることができた。今年度もボランティア情報収集を行い、ボランティアしたい市民に情報提供し、団体の活動へ参加を促す。 ○昨年度の個別相談会では、団体の課題を整理することで解決へのアクションを起こし、今後の運営に向けて活動を見直すことができた成果があった。一方でブース利用団体には、入居後小さなアクションは見られるものの、大きな成長や課題の改善がみられない。団体の課題の洗い出し、ゴールの設定、段階ごとのさらなる支援やフォローアップが求められている。
対 象	○事務用ブース入居団体／事務用ロッカー・レターケース利用団体 ○T S C利用団体（講座・相談会への参加、会議室利用など） ○多賀城周辺で活動する団体 ○団体を立ち上げて、地域や社会の課題解決に取り組みたいと考えている既活動者
成果目標	○相談会・講座参加団体それぞれの運営課題のうち 1 つが、改善もしくは解決している。 ○市民からの協力・共感・賛同などが増えている団体が 5 団体出ている。 ○ボランティア情報収集により実際ボランティアにつながる事例が 1 つ以上生まれる。 ○ボランティアの新たな情報を 3 つ以上掘り起こし、情報を発信する。
成 果	○運営課題の相談を受け、改善・解決に向けて専門家を交えた相談会を行ったことで、HP やチラシのリニューアルに取り組んだ団体があった。 ○交流会で出会った賛同者のアドバイスからHP 作成に向けて進んだ団体があった。 ○ボランティア募集情報を見た市民が団体の活動に共感し、実際にボランティアとして参加した事例が 3 件あった。 ○ボランティア募集情報が 15 団体集まり、令和 4 年度の 5 団体から 10 団体増えた。交流会や相談会でボランティア情報が必要な団体に情報提供ができた。
次年度に向けた課題	○講座実施後のアンケート集計で見えた課題や、相談会であがった運営課題等はその後の団体運営力アップにつながるようヒアリング、フォローアップを継続し、解決に向かうよう伴走する。 ○市民がボランティアや市民活動へアプローチできるよう、団体の情報発信とボランティア募集の支援をしていく。

実施概況（４）NPO支援事業 １）NPOつながり支援事業

１．事務用ブース入居団体インキュベート相談会

○（１）～（７）共通

対 象：入居後６ヵ月が経過した事務用ブース入居団体
内 容：団体の活動内容の整理・運営課題の分析、課題解決
の目標設定、解決に向けた検討

相談員：TSCスタッフ

参 加：7団体／11名（1団体あたりおよそ1時間）

（１）傾聴の会多賀城

日 時：令和5年7月28日（金）14:00～15:00

会 場：多賀城市市民活動サポートセンター 301会議室

参 加：2名

（２）旭ヶ岡町内会

日 時：令和5年8月17日（木）15:00～16:00

会 場：多賀城市市民活動サポートセンター 201会議室

参 加：2名

（３）高崎こども食堂らっこ広場

日 時：令和6年1月9日（火）9:00～10:00

会 場：多賀城市市民活動サポートセンター 101会議室

参 加：1名

（４）多賀城イングリッシュ・サポーターズ

日 時：令和6年1月12日（金）15:00～16:00

会 場：多賀城市市民活動サポートセンター 101会議室

参 加：1名

（５）障がい者サポーターズ Golazo！

日 時：令和6年2月4日（日）15:30～16:30

会 場：多賀城市市民活動サポートセンター 201会議室

参 加：2名

（６）宮城県学童保育連絡協議会

日 時：令和6年3月8日（金）10:00～11:00

会 場：多賀城市市民活動サポートセンター 302会議室

参 加：1名

（７）生涯学習100年構想実践委員会

日 時：令和6年3月12日（火）14:00～15:00

会 場：多賀城市市民活動サポートセンター 201会議室

参 加：2名

２．届く、届ける情報発信 広報講座



1（１）些細なことでも気軽に話していただいた



1（４）板書記録をとり、確認しながら進めた

日 時：令和5年10月29日（日）13:30～16:00
 会 場：多賀城市民活動サポートセンター 大会議室
 対 象：事務用ブース入居団体、T S C利用団体、多賀城及び
 その周辺で活動する団体
 内 容：広報の目的を明らかにし、団体の目的や活動を短くわかりやすく説明するポイントを学ぶ講座
 講 師：ジェンティーレ恵さん（フリーライター・編集者）
 参 加：9団体／10名（申込11名）
 成 果：課題改善や解決に向けて動き出した団体があった。

3. NPO・市民活動 お金のはなし

日 時：令和5年11月5日（日）13:30～16:00
 会 場：多賀城市民活動サポートセンター 大会議室
 対 象：事務用ブース入居団体、T S C利用団体、多賀城及び
 その周辺で活動する団体
 内 容：資金調達の種類と特性を学び、団体の規模に合った資金調達方法を知る講座。中でも助成金の考え方に注目し、チャレンジするための準備を学ぶ。
 講 師：鈴木美紀さん（日本ファンドレイジング協会：認定ファンドレイザー）
 参 加：10団体／13名（申込14名）※うち個人参加1名
 成 果：活動内容の整理や助成金申請に必要なことをまとめることができ、申請内容を参加者と共有できた。

4. NPO・市民活動 新年交流会

日 時：令和6年1月28日（日）13:30～16:00
 会 場：多賀城市民活動サポートセンター 大会議室
 対 象：事務用ブース入居団体、T S C利用団体、多賀城及び
 その周辺で活動する団体、活動を始めたい個人
 内 容：普段関わりの少ない分野の方々と活動内容や課題を共有しながら交流・情報交換を行う場
 参 加：17団体／25名（申込25名）
 成 果：新たなイベント実施場所の提案や、イベントの協力が得られるなど、団体同士新たなつながりができた。そのほか、相談を受けスキルを持った団体へさらにつながりでもらうなどの広がりも生まれた。

5. Web相談会



2 ワークの様子。講師の方が参加者からの質問に気軽に応じるなど、盛り上がっていた



3 活動資金の種類だけでなく、市民活動の基本から丁寧な説明をしていただきました



4 参加者同士積極的にコミュニケーションをとり、新たなつながりができた

(1) ハッピーピース

日 時：令和6年1月8日（月）10:00～12:00

会 場：多賀城市民活動サポートセンター 101 会議室

参 加：3名

相談員：鈴木拓真さん（tag デザイナー）

T S C スタッフ 川口 小笠原

(2) 障がい者サポーターズ Golazo！

日 時：令和6年2月4日（日）15:30～16:30

会 場：多賀城市民活動サポートセンター 201 会議室

参 加：2名

相談員：鈴木拓真さん（tag デザイナー）

T S C スタッフ 西條 小笠原

成 果：相談会参加団体の1団体は、これまで困っていたことのヒントを得ることができ、解決につながった。

6. ボランティア情報収集・発信

「NPO・市民活動 求む！あなたのチカラ」

内 容：ボランティアを必要としている団体の情報を集め、ボランティアをやってみたいと思っている人につなぐ。
T S C利用団体や地域で活動している団体等にメール、電話などによる聞き取りおよび相談対応事例からニーズを拾う。

T S C館内で掲示したほか、ブログでも発信した。

対 象：ボランティアを必要としている団体

情報提供団体：15 団体

- ・ NPO法人ケアブレンド ・ NPOゲートシティ多賀城
- ・ ともだち・カワノ・コミュニティ
- ・ 高崎こども食堂らっこ広場
- ・ 多賀城将棋ラボ ・ T・A・P多賀城
- ・ 史都多賀城万葉まつり実行委員会
- ・ たがじょう子どもの心のケアハウス
- ・ ソーズエイトプログラミングクラブ
- ・ 学び処しおがま ・ NPO法人いのちのパン
- ・ 地球子屋 ・ しおかぜホーム
- ・ 多賀城市子育てサポートセンターすくっぴーひろば
- ・ SenTVA(在ベトナム人協会)

成 果：実際にボランティアにつながる事例が3件生まれた。



5 (1) Web の活用について専門家のアドバイスをいただいた



5 (2) 実際に P C 画面で確認しながら進めた



6 昨年度からリニューアルして、情報をより見つけやすくなった

・ソーズエイトプログラミング	
・学び処しおがま	・しおかぜホーム

アンケート集計結果

1. 届く、届ける情報発信 広報講座 (10件回収/10名参加)

①年代

10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
0名	1名	1名	1名	7名	0名	0名	0名

②住所

多賀城市	塩竈市	七ヶ浜町	利府町	松島町	仙台市	その他
2名	1名	0名	1名	0名	4名	2名

・その他…名取1名、登米1名

③講座をどこで知ったか

スタッフ	HP	知人・友人	チラシ	その他
2名	1名	1名	5名	0名

・チラシ5名…SSC1名、利府町図書館1名、名取市市民活動支援センター1名、山王地区公民館1名、記載なし1名

④満足度 (5段階評価)

5	4	3	2	1
8名	2名	0名	0名	0名

○「5」を選んだ理由

- ・広報活動する上での課題が解決しました！
- ・広報をしていると思っていても、自己満足になっていたなと少し反省しました。貴重な機会をいただけて、ありがとうございました。
- ・改めて考えさせられる時間となりました。有意義な時間でした。
- ・現職のかたのお話しでしたのでとても満足でした。
- ・知らなかった情報をたくさん得ることができた。マーケティングの基本を学んだ。(ついついこちらが伝えたいことを一方的にしがち)

○「4」を選んだ理由

- ・これから、新たにホームページを作成します。文章構成、キャッチコピーなど、作り方、考え方、参考になりました。

⑤講座の感想・活動に活かせること (抜粋)

- ・広報文作成時の戦略的なこと等学べて良かったです。チラシのサイズや紙の質感等多様であることも知ることができました。
- ・ポイントがまとまっていて、分かりやすい講座でした。なんとなく知っていた事もありましたが使いこなせていなかったです。たくさんのサイトを紹介いただき助かります。

- ・丁度リーフレットリニューアルを検討していたのでヒントを頂きました！
- ・広報をしていると思っていても、自己満足になっていたなと少し反省しました。貴重な機会をいただけて、ありがとうございました。日々、広報活動に悩みつつも、学ぶということは、できていなかったな…と感じました。初めて知ることが多かったため、これからも学ぶ姿勢を大事にしていきたいです。
- ・(単語を) ネット検索して世の中で調べられているものを参考にすること。
- ・相手を考えた情報発信が出来るように意識していければ！！
- ・パソナ法則など知らない事がたくさんあり、もっと学びたいとなりました。
- ・発信は引っぱるのではなく「あわせていく」ことを学びました。
- ・どうやってニーズやウォンツを把握してターゲットをしぼるか。

⑥講座内のワークの感想 (抜粋)

- ・ニーズの落とし込みがうまくできませんでした。はじめてだったので検索ワードの書き出しで終わってしまいました。
- ・実践すると結構手が止まる。
- ・ニーズ、ウォンツのワークは少し難しく感じました。
- ・時間が少なく感じました。少ししかできませんでした。
- ・ニーズ/ウォンツ Sheet でじっくり考えることができました。
- ・時間は足りなかったが、今回は“やり方を知る”だけで充分だと思う

⑦今後開催希望の講座

- ・キャンバを使ったパワポ作成方法について実践講座があったら嬉しいです。
- ・(広報用の YouTube 作成のため) 動画編集 (PC) の基本/ジェンティーレ恵さんの第 2 弾の「広報」講座をして欲しいです！
- ・音楽、芸術に特化した人を集めて何か。
- ・今回の講座、非常に面白かったです。更に深掘りしたり、テーマ分けした内容でも聞いてみたいです。
- ・継続的な広報講座。

2. NPO・市民活動 お金のはなし (13 件回収/13 名参加)

①年代

10 代以下	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代以上
0 名	0 名	1 名	3 名	4 名	3 名	2 名	0 名

②住所

多賀城市	塩竈市	七ヶ浜町	利府町	松島町	仙台市	その他
6 名	1 名	0 名	0 名	0 名	5 名	1 名

- ・その他…名取

③多賀城との関わり

住んでいる	職場	活動場所	その他
6 名	0 名	2 名	1 名

- ・その他…記載なし

④講座をどこで知ったか

スタッフ	HP	知人・友人	チラシ	その他
5名	1名	1名	4名	0名

・チラシ…TSC1名、名取市市民活動支援センター1名、記載なし2名

⑤満足度（5段階評価）

5	4	3	2	1
7名	5名	1名	0名	0名

○「5」を選んだ理由

- ・具体的でわかりやすかった。ワークで落としこめてよかった。
- ・助成金のみの話ではなく団体活動のすすめ方まで考えることができました。助成金への考え方もよくわかりました。
- ・講師のお話も分かりやすく、団体の活動をふりかえる機会にもなったので。
- ・時間があっという間で過ぎました。
- ・実際これからやりたい活動を申請書を記入することで少し明確になってきたような気がします。
- ・チラシには16時までとありますが16:30まで開放している旨も追記希望です。

○「4」を選んだ理由

- ・(5でなかった理由は)自分の団体のことを具体的に書く時間があるとは想定外(しかも見合う?!)でしたので、そうであれば事前にお知らせ頂きたかったと思いました。(助成金についてのアウトライン的なお話を伺うだけの講座だと思っていたので、ちょっとびっくり)。
- ・面倒なことは省きました。助成金は以前頂きましたので。

○「3」を選んだ理由

- ・すでに助成金の実績がありますので、参加者さんが様々ですので仕方がないのですが、もう少し具体的な例が聞きたかったです。

⑥講座の感想・活動に活かせること

- ・助成金の目的をしっかりと把握する。審査基準を読み込む。
- ・助成金申請前には、中期戦略を立ててから行う。
- ・助成金の探し方。
- ・助成金以前の団体として活動していくビジョンなどを整理するステップについて。
- ・助成金の調べ方について、今後常にチェックしていきたいと思います。
- ・助成金の申請までに行うべきことが分かりやすかったです。
- ・期待を含めて考える機会になった事が良かったです。
- ・助成金の活かし方、活動の目的など考える機会になりました。
- ・企画根拠を数字で表します。
- ・資料をふりかえって読んで活動に活かしたい。
- ・助成金より寄付、会費をメインにした方が良さそう。報告が面倒、説明も面倒。

⑦講座内のワークの感想（抜粋）

- ・5W1Hを意識して書き出し、より自分達の活動の伝えたいことが明確になった。
- ・これまでの自分たちの活動を書き出すことで、頭の中が整理された。
- ・具体的に考えたり、他団体とシェアできたのがよかった。
- ・事前にワークの内容が分かれば、考えることが準備が出来たかな？と思いました。
- ・予期せぬスケジュールにとまどいましたが、ワークは楽しみながら出来ました。
- ・皆さんの活動について知ることができ、勉強になりました。
- ・A3サイズでの（申請書）記入はありがたい。今後自身で申請したいときA3サイズのプリントアウトをお願いしたい。
- ・時間が足りなかった。
- ・以前2回程助成金を頂いているので…。

⑧今後開催希望の講座

- ・ショート動画作成のセミナー。YouTubeで団体紹介。
- ・市民活動あまり知らなかったの、どんなことができるのか。
- ・助成金採択までの道のり（単発ではなく採択されるまで）。
- ・“多賀城史”に関する講演。
- ・SNSの活用（ワンランク上の）。特に「X」以外のペースト（リンク）系で活用できそうなモノ。

3. NPO・市民活動 新年交流会 （24件回収／25名参加）

①年代

10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
0名	1名	4名	5名	4名	5名	3名	2名

②住所

多賀城市	塩竈市	七ヶ浜町	利府町	松島町	仙台市	その他
13名	4名	1名	0名	2名	4名	0名

③多賀城との関わり

住んでいる	職場	活動場所	その他
13名	1名	12名	2名

- ・その他2名…以前住んでいた／以前働いていた、所属団体のメンバーが住んでいる

※重複回答あり

④講座をどこで知ったか

スタッフ	HP	知人・友人	チラシ	市のSNS	その他
20名	2名	3名	3名	1名	0名

※重複回答あり

⑤満足度（5段階評価）

5	4	3	2	1
10名	12名	1名	0名	0名

○「5」を選んだ理由

- ・最後のフリートークのコーナーが話しやすくされており新たな出会いとなりました。
- ・時間にしばられることなく各団体の内容をしっかりと把握できたため。
- ・マイクの前で人前に立つ練習ができました
- ・各団体のつながりが大切だと感じました。

○「4」を選んだ理由

- ・いろいろな趣旨で、活動されている団体の方たちの話が聞けて、参考になりました。
- ・交流の時間が30分程度で短かった。
- ・知りたかった事を知る事はできなかった。（団体の運営の部分など）
- ・いろんな年齢の方々やいろんな想いを持った方々のお話を聞くことができ非常に勉強になりました。
- ・テーブルを囲んで交換会があるといい
- ・最後のフリートークのコーナーが話しやすくされており新たな出会いとなりました。ありがとうございました。
- ・時間にしばられることなく各団体の内容をしっかりと把握できたため。

○「3」を選んだ理由

- ・テーブルがほしい
- ・向かい合って顔を見て、話ができるとよい
- ・情報交換の場としては成功かと思いますがそれ以上のことはないので

⑥感想・得られたこと（抜粋）

- ・各団体（の発表を聞きまして参加して）の皆さんの切実な声をきき、多賀城（主に）で頑張っている姿に私達ももっと！と思いました。勇気をもらいました。
- ・今まで知らなかった様々な活動をされている方々、団体を知ることができました。
- ・色々と活動されている方がいらっしゃって勉強になりました。
- ・スタンドマイクは苦手です（笑）／公開可能な連絡先一覧表があれば時短になるかと思いました／発表者のみの参加ではなく民生委員さんなどにもご参加いただきたいです。
- ・多分野の方の話が情報として得られてよかった／あらかじめ自己紹介〇分と一言でくださるとその準備もできた／自己紹介の時間が殆どとられたので、運営進行の工夫がほしい／自主的な形になっていたが、交流の方法にも工夫ほしい
- ・子育て、家庭支援が主目的ではなくても、幅広い活動について聞くことができ、いろいろと関わりを持たせて頂けたらと思いました。
- ・お世話になってる方々へごあいさつが出来た事／様々な取り組みをされている方々とお話しが出来た事／皆様から詳しくお話を聞いた事。
- ・さまざまな活動があり、協力できると活動が広がることを知れました。
- ・国際交流、子育て世代の団体との交流を得られるきっかけとなればいいと思います。
- ・フードパントリーをしている団体を知ることができ感謝。
- ・今日参加したみなさまのHPやSNSを見に行きます！

- ・いろいろな活動家とつながれた。
- ・交流によって、元気と可能性をいただきました。
- ・既に活躍されている人がたくさんいて、よいマチだなー。
- ・つながりたい活動をしている方々とつながれた。

⑦今後開催希望の講座・イベント

- ・毎年本日のような交流会を開催して欲しい。
- ・やかもち鍋の料理教室。
- ・SNS関係／助成金関係。
- ・同様のイベントを年に数回開いて欲しい。
- ・地域改善点マップ作り。
- ・ぜひぜひ「第2回の交流会」の場があればいいなあと思います。
- ・どこの団体も資金（運営）が大変だと思うので助成金や資金集めなどについての講座。
- ・お金の講座（助成金、補助金のイロハなど）。
- ・飲み会

4. Web相談会（ハッピーピース：3件回収／3名参加）

①満足度（5段階評価）

5	4	3	2	1
2名	1名	0名	0名	0名

○「5」を選んだ理由

- ・自分たちが長年課題だった1つ（申し込みフォームとアンケートフォームの連動や、名簿管理について）に対して、目からウロコのヒントを頂いていたので。
- ・困っていた事（Google フォームの使い方）が解決出来た

○「4」を選んだ理由

- ・私が代理出席だったために目的をまとめきれてなくて申し訳ありませんでした

②今後継続して相談したいこと

- ・まだまだ事務局の運営（事務対応）についての課題が山盛りのため、その辺のシステムや整理をお願いしたいです。
- ・運営全般的に（ざっくりし過ぎてすいません）
- ・互いに協力し合える団体様・個人様を紹介していただきたいです

③今後新たに相談したいこと

- ・上記の課題が整理されたら、活動を知ってもらうためのHP作成について。予算がないため、自分たちで（簡単に）作成管理できるHP作成、又はHP対応している助成金について。
- ・色々ありすぎて、考え中です。
- ・例えばイオンでスペースを借りて小規模イベントをするときに、たがさぼさんにも協力していただくことは可能でしょうか

④相談員（鈴木拓真さん）に聞きたいこと

- ・自分たちの長年の課題や悩みに対して、会話上からすぐに出来る手立てやヒントを教えて下さったので、同じように事務運営の整理や、出来るシステムを教えて頂きたい。上記の課題が整理されたら、本当はHPをお願いしたいところではありますが、予算的に厳しいため、まずは自分たちで出来る作成を教えて貰えたり、HPにこだわらず、活動を知ってもらうための、何らかの方法を教えて欲しいと思います。
- ・色々ありすぎて、考え中です。
- ・初心者用のHP作成ツールで評判がよさそうなものがあれば教えていただきたいです。

(5) 情報発信事業 1) フリーペーパー「tag」発行／情報発信事業

目 的	○市民活動や連携に関する発信を行うことで、市民が市民活動に触れる機会を増やす。 ○地域での活動や課題の解決に向けたアクションを起こす市民を増やす。
背 景	○平成 25 年 1 月に創刊、前年度に 100 号の発行を迎えた「tag」は、地域づくりに関するフリーペーパーとして定着を図りつつ、NPO に限らない情報を発信することで、地域の魅力アップや課題解決に向けて働きかけてきた。「多賀城をもっとよいまちにしていきたい」という想いを持った人・団体・取り組みを取り上げ、それらの活動が促進されるような記事、市民の参画が促進されるような記事、社会・地域の課題解決を進めるきっかけになるような記事、連携・協働しての地域や社会の課題解決に向けた取り組みなどを掲載し、まちをともに盛り上げていく人材・資源を増やすことを目標として掲げている。今年度は、市民が手に取りやすいように考慮してデザイナーと誌面構成を変更、より親しみやすい紙面、わかりやすい内容になるよう心がけた。 ○YouTube チャンネルやホームページ、ブログ、X（旧 Twitter）などで、団体にとって必要な情報や市民に興味を持ってもらえる情報を積極的に発信することで、市民活動が身近に感じられる状況をつくり、市民活動の活性化につなげることを目指した。
対 象	○潜在的活動者（何か活動をはじめたいと考えているが、きっかけがつかめない市民） ○無関心層（市民活動に対し興味・関心を持たない市民） ○受益者（困りごとを抱えている方） ○活動者（市民活動や地域活動に関して情報を探している方）
成果目標	○tag をきっかけに市民活動に対する意識が変化し、アクションを起こす市民・団体を 12 件以上生み出す。 ○tag で多賀城市および周辺地域の団体の連携事例を 6 件以上取り上げる。 ○YouTube の動画コンテンツに関心を示し、定期的に情報を得るためのアクションとして、16 人以上が新たに YouTube チャンネルに登録する。 ○ブログの訪問者数が月平均 3,800 件以上になる。
成 果	○tag の記事をきっかけに生まれた取り組みをはじめ、市民活動団体、事業者、お寺などの地域の多様な主体の活動を取り上げることができた。 ○tag の記事を見てアクションを起こした市民・団体が 2 件あった（達成率 17%）。 ○tag で多賀城市および周辺地域の団体の連携事例を 5 件取り上げることができた（達成率 83.3%）。 ○今年度中、新たにチャンネル登録を行ったのは 3 人（達成率 18%）。市民活動や地域活動について知るために定期的に視聴する人を生み出すことができた。 ○ブログの訪問者数は、月平均 3,680 件（達成率 96.8%）。月平均 20 件ほどの更新を行い、さまざまな情報を市民に提供することができた。
次年度に向けた課題	○情報発信の効果を、検証できるように工夫が必要。情報紙のみに関わらず、SNS、ブログ、HP の発信を含む成果を検証し、効果的に情報を届けられるように取り組む。 ○どのような層に優先的に届けるべきなのかを再確認する。関心のある人、気になっているという人に向けた発信を行い、関心層が踏み出せるような内容にしていく。

実施概況（５）情報発信事業 １）フリーペーパー「tag」発行／情報発信事業

１．フリーペーパー「tag」発行

（１）発行形態

○103 号

- ・発行月：令和 5 年 4 月
- ・様式：A3 二つ折り 全 4 ページ 両面カラー
- ・発行部数：2,000 部
- ・誌面デザイン：株式会社ユニグラフィックに外注
- ・印刷：株式会社グラフィックに外注

○104 号以降

- ・発行月：令和 5 年 6 月、8 月、10 月、12 月、令和 6 年 2 月（2 ヶ月に 1 回）
- ・様式：A4 裏表 全 2 ページ 両面カラー
- ・発行部数：2,000 部
- ・誌面デザイン：デザイナー鈴木拓真氏に外注
- ・印刷：ラクスル株式会社に外注

（２）内容

○103 号

◇1 ページ（表紙）

- ・多賀城の地域資源（人・団体・できごと・もの）を紹介

◇2 ページ

- ・特集 1「みんなで考える多賀城のこと」…地域の課題を提示し、解決に取り組む団体を紹介

◇3 ページ

- ・特集 2「市民活動はじまりのはじまり」…市民活動に携わる人の活動をはじめたきっかけや想いを紹介

◇4 ページ

- ・たがさぼからのお知らせ…T S C のサービスやイベント・講座などを紹介
- ・ヒント from “たがさぼ Press” …T S C のブログ記事を簡単に紹介

○104 号以降

◇表ページ

- ・多賀城の地域資源（人・団体・できごと・もの）を紹介

◇裏ページ

- ・特集 1「みんなで考える多賀城のこと」…地域の課題を提示し、解決に取り組む団体を紹介
- ・特集 2「市民活動はじまりのはじまり」…市民活動に携わる人の活動をはじめたきっかけや想いを紹介
どちらかを掲載

(3) 配架先（号別部数及び配架箇所数は別項を参照）

- 多賀城市内及び周辺市町公共施設
- 多賀城市内民間施設・店舗（病院、福祉施設、郵便局等）
- 県内外NPO支援センター
- マスコミ
- 学校
- 行政機関

(4) 各号の掲載内容

1) 103号(4月発行)

○1 ページ(表紙)

- 「ようこそ、多賀城へ!～地域とつながるきっかけづくり～」
- ・紹介団体: 傾聴の会 多賀城/東田中南自治会
- ・内容: 新年度に多賀城に引っ越して来た方が、悩んだり不安になった時に力になってくれる人たちを紹介。

○2 ページ

- みんなで考える多賀城のこと
- 「子どもの声を聴くということ」
- ・紹介団体: 一般社団法人子どもアドボカシーセンターみやぎ
- ・内容: 子どもが個人として尊重され、すべての子どもが幸せに成長できる社会のために必要なことを考える。

○3 ページ

- 市民活動はじまりのはじまり
- 「身近なところから考える地球環境」
- ・紹介団体: SEVEN BEACH PROJECT
- ・内容: セービングビーチの海岸清掃を行い、地元の海を守るために活動している人たちの想いやきっかけを紹介。

○4 ページ

- たがさぽからのお知らせ
- ・「たがさぽ文庫」のご案内
- ヒント from “たがさぽ Press”
- ・新しいまち転入する女性を人・まち・社会とつなげる一般社団法人 tenten
- ・1000人ビーチクリーンに参加してきました!
- ・子どもたちの権利を守る代弁者 子どもアドボケイト養成講座はじまります!



103号 1ページ(表紙)



103号 2ページ



103号 3・4ページ

2) 104号(6月発行)

○表ページ

- 「将棋で次世代へつなぐ 文化継承への想い」
- ・紹介団体：多賀城将棋ラボ
- ・内容：日本の伝統文化である将棋を通して、市民交流や地域の活性化、友好都市児童との交流を目指している団体の想いを紹介。

○裏ページ

- みんなで考える多賀城のこと
- 「苦手なもの、今日は食べられたよ！」
- ・紹介団体：みんなで食べよう会
- ・内容：「食」の楽しさを伝えるために活動している団体の姿を通して、身近なことから始められる食育の形を探る。



104号 表ページ



104号 裏ページ

3) 105号(8月発行)

○表ページ

- 「自然の魅力を発見! 観て・触って! 夏を楽しもう♪」
- ・紹介団体: NPO法人宮城県森林インストラクター協会
- ・内容: 6月4日に開催された「たがじょう生き物調査隊」の様子を通して、自然環境のためにできることを考える。

○裏ページ

- みんなで考える多賀城のこと
- 「シジュウカラガン復活を願うタッグ」
- ・紹介団体: シジュウカラガン復活プロジェクト
- ・内容: 絶滅危惧種のシジュウカラガンの群れを多賀城に呼び戻すために活動している取り組みを紹介。環境保全のためにできることを考える。



105号 表ページ



105号 裏ページ

4) 106 号 (10 月発行)

○表ページ

- 「つながる、学ぶ、楽しむ。 お寺発、地域の拠り所。」
- ・紹介団体：西園寺
- ・内容：活用されていないお寺のスペースを「さいえんじ こども文庫」として開放しているお寺の想いを紹介。

○裏ページ

- みんなで考える多賀城のこと
- 「市民から広がる多賀城創建 1300 年記念の取り組み」
- ・紹介団体：多賀城・七ヶ浜市民活動団体等連絡協議会
 - ・内容：8 月 3 日に開催された「第 4 回日韓市民文化交流会」の様子を中心に、市民から多賀城創建 1300 年を盛り上げようとしている動きを紹介。



106 号 表ページ



106 号 裏ページ

5) 107号(12月発行)

○表ページ

- 「子どもたちの成長と笑顔のために」
- ・紹介団体：洋菓子店ピュイダムール／とんかつ一代
- ・内容：地域の子どもたちを大切にしたいという想いのもとに生まれた多賀城の事業所の取り組みを紹介。

○裏ページ

- 市民活動はじまりのはじまり
- 「市民同士の交流が織りなすハーモニー」
- ・紹介団体：多賀城市と国分寺市の文化交流を進める会
- ・内容：11月5日に開催された「第3回 TaKo TaKo あがれ!!コンサート」。イベントに込められた想いやきっかけを伺う。



107号 表ページ



107号 裏ページ

6) 108号(2月発行)

○表ページ

- 「のんびり過ごすインクルーシブなマルシェ」
- ・紹介団体：SEND.
- ・内容：2023年4月にスタートし、3月24日に第2回が開催された「スロウ日和」。イベントに込められた想いやきっかけを伺う。

○裏ページ

- みんなで考える多賀城のこと
- 「地域の一員としてできること。」
- ・紹介団体：多賀城中学校ボランティアセンター
- ・内容：校長先生にボランティアセンターを立ち上げた想いを、登録している生徒に活動とそこから得た学びを伺う。



108号 表ページ



108号 裏ページ

(5) 配架

1) 配架箇所数

号数	公共 施設	民間 施設	支援セ ンター	マス コミ	学校	行政	その他	配架箇所 数合計
103 号 (4 月)	70	60	51	20	21	8	21	251
104 号 (6 月)	70	58	51	20	21	8	21	249
105 号 (8 月)	70	58	50	20	21	8	21	248
106 号 (10 月)	70	58	50	20	21	8	21	248
107 号 (12 月)	70	58	50	20	21	8	21	248
108 号 (2 月)	71	57	50	20	21	8	21	248

2) 配架箇所数 前年度末比

号数	公共 施設	民間 施設	支援セ ンター	マス コミ	学校	行政	その他	配架箇所数 合計
令和 5 年度末 (108 号) 配架箇所数	71	57	50	20	21	8	21	248
令和 4 年度末 (102 号) 配架箇所数	65	60	51	21	20	6	18	241
配架箇所数増減	+6	-3	-1	-1	+1	+2	+3	+7

2. YouTube「たがさぼチャンネル」

○チャンネル登録者：47 名（令和 6 年 3 月末時点）

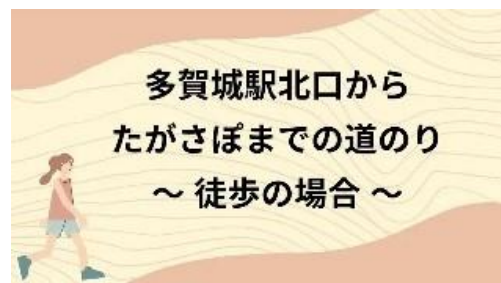
※令和 5 年度中に 3 名増加

○動画数：4 本（令和 5 年度新規アップロード）

○投稿動画

（1）施設紹介

- ・タイトル：多賀城駅から多賀城市市民活動サポートセンターまでの道のり～徒歩編～
- ・投稿日：令和 5 年 12 月 3 日（日）
- ・内容：多賀城駅から T S C までの道案内
- ・再生回数：63 回（令和 6 年 3 月末時点）



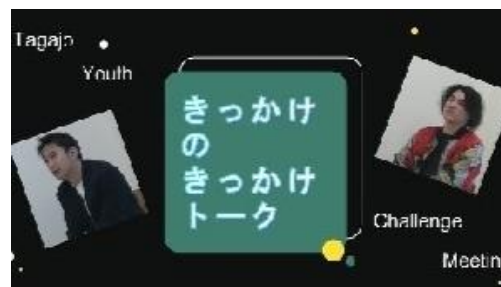
2（1）施設紹介 タイトル画像



2（1）多賀城駅北口からの道案内の様子

（2）団体紹介「中野柊一郎さん（一般社団法人 manaco 共同代表）、佐々木湧雅さん（尚絅学院大学 4 年）」

- ・タイトル：次世代セッション「きっかけのきっかけトーク」
- ・投稿日：令和 6 年 3 月 5 日（火）
- ・内容：それぞれの活動や中高生時代などにまつわるインタビュー、対談、中高生へのメッセージ
- ・再生回数：57 回（令和 6 年 3 月末時点）



2（2）団体紹介 タイトル画像



2（2）対談の様子

(3) 団体紹介「ハッピーピース」

- ・タイトル：発達に凸凹を持つ子どもたち・家族・支援者を支える団体「ハッピーピース」
- ・投稿日：令和6年3月26日（火）
- ・内容：活動を始めたきっかけや想いを伺う団体代表のインタビュー、活動の様子、参加者の声
- ・再生回数：19回（令和6年3月末時点）



2 (3) 団体紹介 タイトル画像



2 (3) 活動の様子

(4) 事業紹介「雑貨市きっずボランティア講座」

- ・タイトル：事業紹介⑧「たがさぼのクリスマス雑貨市プレゼント きっずボランティア講座」
- ・投稿日：令和6年3月31日（日）
- ・内容：雑貨市きっずボランティア講座の様子、参加者の声
- ・再生回数：0回（令和6年3月末時点）



2 (4) 事業紹介 タイトル画像



2 (4) ボランティアについて学ぶ参加者

3. ブログ「たがさぼ Press」

○発信頻度：週 3 回（月・木・土）以上

○記事数：232 本（月平均 19 本）

○訪問者数：44,162 件（月平均 3,680 件）

○カテゴリー別発信内容

カテゴリー名	内容	本数
イベント情報	市内外で行われるイベント情報	42 本
事業のご案内	T S C 主催事業の告知	32 本
施設利用ご案内	T S C の施設についての情報	22 本
資金調達	助成金情報	22 本
事業レポート	T S C 主催事業のレポート	20 本
団体紹介	市内外の団体の取り組みを紹介	13 本
自治会・町内会レポート	市内の自治会・町内会の取り組みを紹介	9 本
市民活動お役立ち情報	市民活動や地域活動に役立つ情報	9 本
スペシャル・レポート	市内外で行われたイベントのレポート	9 本
N P O 法人の数	全国、県内、市内の N P O 法人数、推移	9 本
たがさぼ日記	T S C の日常の様子を紹介	9 本
ニューズレター	フリーペーパー「tag」の情報、取材のこぼれ話	8 本
ボランティア募集情報	ボランティアの募集情報	7 本
スタッフブックレビュー	スタッフによるたがさぼ文庫の所蔵書籍のブックレビュー	7 本
災害関連	災害支援情報	5 本
イノベーション・プロジェクト	新たな切り口の市民参加のプロジェクトを紹介	2 本
3.11 大震災	追悼行事を紹介	1 本
その他	上記カテゴリーに分類できないもの	6 本
計		232 本



3. ブログのトップページ

4. その他の T S C のウェブ媒体による情報発信

○概要

以下に挙げる様々なウェブ媒体を使用し情報発信に取り組み、T S C の情報に触れる機会を増やし、より多くの人に情報が届くように努めた。

(1) ホームページ

- ・ T S C の機能や施設の紹介、T S C 主催の講座・イベントのお知らせ、市民活動団体情報の発信、各種発行物のアーカイブなどを行った。
- ・ 発信頻度：随時（T S C 事業告知時が中心）
- ・ 訪問者数：15,960 件（月平均 1,330 件）

(2) X（旧 Twitter）

- ・ ブログ更新のお知らせ、T S C や利用団体主催の講座・イベントのお知らせ、T S C の様子の紹介などを行った。
 - ・ フォロワー数：2,058 名（令和 6 年 3 月末現在）
- ※令和 5 年度は 43 名増加
- ・ 発信頻度：週 3 回以上
 - ・ ポスト数：277 回（月平均 23 回）
 - ・ 訪問者数：73,842 件（月平均 6,154 件）
 - ・ エンゲージング（反応）数：4,166 回（月平均 347 回）

訪問者数に対する割合：5.6%

(3) インスタグラム「たがさぽのクリスマス雑貨市」

- ・ 雑貨市の周知や出展団体の紹介などを行った。
- ・ フォロワー数：166 人（令和 6 年 3 月末現在）
- ・ 発信期間：7 月 1 日（土）～12 月 14 日（木）
- ・ 掲載記事数：49 件
- ・ 訪問者数：8,672 件（記事 1 件当たり平均 177 件）
- ・ 「いいね！」数：577 件（記事 1 件当たり平均 12 件）



4 (1) ホームページのトップページ



3 (2) X（旧 Twitter）のプロフィール欄



3 (3) インスタグラムのトップページ

Ⅱ

令和 6 年度事業計画

1 令和5～7年度ロードマップ【修正版】

令和5年度の取り組み実績をふまえ、令和6年度の計画立案時に一部修正をおこなった。(変更点はゴシックで表記)

2024年3月作成

		内容	主な対象	R5(2023)事業	R6(2024)事業	R7(2025)事業	めざす姿	地域コミュニティ課資料との合致
(1)まちをともに創る人を増やす事業	1)TSC運営への市民参画機会創出事業	市民と一緒に地域の状況を共有し、課題を設定し、めざすまちの姿を描き、解決に向けて必要なアイデアを出し合い、TSCの事業案に落とししていく場づくりに取り組み始める。	市民活動団体、自治会・町内会、事業者、学校等の地域のさまざまな主体	1)話し合いの場づくり(課題はTSCが設定) 2)TSCの取り組みに活かす	1)話し合いの場づくり(課題はTSCが設定) 2)取り組み実践	1)話し合いの場づくり(課題から一緒に考える)	・TSCが地域のことを考えるフラットな場として機能するような関係性が育まれている。	【地域の担い手育成】 【連携による課題解決】 【情報発信】 ・地域課題の把握に努める
	2)多賀城のまちの未来を描くフューチャーセッション事業	市民が主体となり、多賀城のまちについて考え、課題を設定し、実現可能な対応策を考える場(＝フューチャーセッション)を重ね、市民提案として市と話す場をつくる。	市民活動団体、自治会・町内会、事業者、学校等の地域のさまざまな主体	1)フューチャーセッション	2)実践に向けた伴走 3)発信	4)提案の場	・市民の提案力が向上している。 ・行政との協働による地域づくりが進んでいる。 ・既活動者が他の活動者を支える側になっていく。	【連携による課題解決】 ・市民が主体となり、多賀城のまちについて考え、課題を設定し、実現可能な対応策を考える場(＝フューチャーセッション) 【地域の担い手育成】
(2)関わりしるを増やす支援事業	自治会・町内会等の関わりしるを増やす支援事業	コロナ禍から活動を再開する自治会・町内会の支援をきっかけに、既存の取り組みの棚卸の支援、既存の活動の見直しや新たな取り組み開始の支援を行う。	自治会・町内会＋潜在的活動者市民活動団体	1)既存の取り組みの棚卸の支援、既存の活動の見直しや新たな取り組み開始の支援 2)テーマ型自治会・町内会情報交換会 3)地域学;市民が自分の住む地域のことを知り、発信することをサポート 4)自治会・町内会の取り組みヒアリング・発信事業			・地域での自主的な取り組みが増えている。 ・既存の取り組みを変化させたり、連携の視点を持つことで、持続可能な地域運営につながっている。	【自治会・町内会】 ・町内会同士の情報交換の機会の提供 ・町内会等に対するアウトリーチ支援の実施 【連携による課題解決】
(3)新たな地域の担い手発掘・育成事業	R5年度 1)次世代活躍事業 R6年度 1)新しい人材活動支援事業	小中高生などの世代が地域に関わる機会を創出したり、情報提供やコーディネートを行うことで、新たな地域の担い手育成を進めていく。	小中高校生など未来を担う世代	1)きつず講座(雑貨市と連携) 2)中学校・高校のボランティアコーディネート支援の模索(町内会支援と連携) 3)中高への市民活動に関する授業提案 4)Tagajo Future Labo部(中高生版TF L)	1)NPOいちから塾(テーマ型含む) 2)中学校・高校のボランティア活動支援(個別相談対応) 3)地域との関わりしるを増やす仕掛け 4)スタートアップ支援・継続支援		・NPOやボランティアについて知り、地域・社会の課題解決に目を向ける小中高生が増えている。 ・身の回りの困りごと、課題を自らの手で解決しようとする中高生が増えている。	【地域の担い手育成】 ・高校生が活躍する場づくりの実施
	2)市民参画促進事業	関わってみたら楽しく、まちがもっと好きになるような多様な取り組みを既活動団体と一緒に増やしていく。	無関心層潜在的活動者	1)雑貨市 2)NPOいちから塾 3)ボランティア講座(NPO支援と連携) 4)気軽に活動に参加できる仕掛けづくり(多賀城市内のイベントへの出展等)	1)多様な主体で取り組む雑貨市 2)きつず講座 3)市民活動を知る機会の創出		・地域の活動に参加し得る新たな人材が発掘されている。 ・地域活動への関わり方を知り、自分のできるかたちで関わる市民が増えている。	【地域の担い手育成】
(4)NPO支援事業	NPOつながり事業	自団体の弱み強みを知り、団体運営力のアップを図るように支援することで、他の団体やセクターとつながり、団体を理解し支援する人や連携する団体を増やす。また、ボランティア情報の収集・発信を通して市民活動に関わる市民を増やす。	NPO市民活動団体	1)インキュベート伴走支援 2)運営力、発信力アップ講座 3)NPO等交流会 4)団体とボランティアをしたい市民のコーディネート			・各団体が、自らの活動を見通すことで運営力がアップしている。 ・他の団体や市民と連携して、地域・社会の課題が解決できるようになっている。 ・ボランティアなど地域人材を活用できるようになっている。	【連携による課題解決】 【地域の担い手育成】
(5)情報発信事業	フリーペーパー「tag」発行/情報発信事業	市民活動や連携に関する発信を行うことで、市民が市民活動に触れる機会を増やす。	NPO市民活動団体	1)フリーペーパー「tag」発行(隔月A4両面) 2)各種ウェブ媒体の活用・連結			・市民が市民活動の情報に触れる機会が増えている。 ・得た情報をもとに、地域での活動や課題の解決に向けたアクションを起こす市民が増えている。	【情報発信】

2 令和6年度事業計画

2024年3月作成

大 事 業		小 事 業	主 な 目 的	プ ロ グ ラ ム 案	主 な 対 象	本 数	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
(1)まちをともに創る人を増やす事業	1	TSC運営への市民参画機会創出事業	市民と一緒に地域の状況を共有し、課題を設定し、めざすまちの姿を描き、解決に向けて必要なアイデアを出し合い、TSCの運営に活かす場づくりを通して、主体としての市民を増やす。	1)たがさぼ市民ミーティング ・公共施設の見直しに関連し「公共空間」「TSCの役割」を軸としての情報交換。テーマ案①「多賀城ボランティア」②「雑貨市の運営について」※雑貨市と連動 ・主体を限定せず、多様な参加者で意見が集まる場にする。	市民活動団体、自治会・町内会、事業者、学校等の地域のさまざまな主体	2		ボランティア ●	----->									
	2	多賀城のまちの未来を描くフューチャーセッション事業	市民が主体となり、多賀城のまちについて考え、課題を設定し、実現可能な対応策を考える場(＝フューチャーセッション)を重ね、市民提案として市と話す場をつくることで、考え行動する市民を増やす。	1)多賀城フューチャーセッション ・新たなテーマで実施する。ゲストを招く。 2)実現に向けて集まり準備する場 ・「暮らしやすいまちを考える(R5年度実施分)」「新たなテーマ」TFS実施後に集まることのできる場づくり。必要に応じて話題提供等のゲストを呼ぶ。	市民活動団体、自治会・町内会、事業者、学校等の地域のさまざまな主体	1～2							●	アイデアを実践する伴奏				
(2)関わりしるを増やす支援事業	3	自治会・町内会等の関わりしるを増やす支援事業	持続可能な地域運営のため、 ・既存の取り組みの棚卸の支援、既存の活動の見直しや新たな取り組み開始の支援を行う ・様々な人が関われる地域のあり方を模索していく	1)既存の取り組みの棚卸の支援、既存の活動の見直しや新たな取り組み開始の支援 2)市民が自分の住む地域のことを知り、発信することをサポート(地域学)※市出前講座含む 3)自治会・町内会の取り組みヒアリング・発信事業 4)テーマ型自治会・町内会情報交換会	自治会・町内会＋潜在的活動者 市民活動団体	4	○防災人 町内会ヒアリング・発信	○情報交換会 ○地域防災組織			○未来自治①	○地域学	○未来自治②					
	4	新しい人材活動支援事業	・中高生を中心とした若い世代に地域について考える場を提供し、地域の活動や課題に目を向ける市民を増やす。 ・学びの場や思いの整理の場を提供することで、自ら活動を始める市民を増やす。	1)NPOいちから塾(テーマ型を含む3回) 2)出前いちから塾※市出前講座含む 3)地域・市民活動などスタートアップの支援/継続支援 ・きっかけ交流会 ・TYC部 ・雑貨市企画★雑貨市と連動 4)地域との関りしるを増やす仕掛け ・相談・伴奏支援 5)学生ボランティア活動支援 ・相談・伴奏支援	中高校生、大学など未来を担う世代＋潜在的活動者	5	きっかけ交流 ● ●相談伴奏	いちから塾 ●		いちから塾 ●	TYC部(3回) ●					雑貨市企画 ●		
(3)新たな地域の担い手発掘・育成事業	5	市民参画促進事業	・市民活動に参加する入口をより多く示し、活動に関わる人を増やす。 ・関わってみたら楽しく、まちがもっと好きになるような多様な取り組みを既活動団体と一緒に増やしていく。	1)多様な主体で取り組む雑貨市 ※たがさぼ市民ミーティングと連動 2)きっずボランティア講座 3)市民活動を知る機会の創出(10回程度)	無関心層 潜在的活動者	3					きっず① ●	きっず② ●	きっず③ ●	雑貨市ボランティア説明会 ●	雑貨市 ●			
	6	NPOつながり支援事業	・自団体の強み弱みを知り、団体運営力のアップを図るよう支援することで、他団体や市民とつながり、団体を理解し支援する人や連携する団体が増える。 ・ボランティア情報の収集と発信を行うことで、市民活動に関わる市民を増やす	1)NPO交流会(団体同士のつながりづくり) 2)運営力、発信力アップ講座(3～4回) 3)NPO・市民活動ボランティア支援 4)インキュベート伴奏支援(年3回)	NPO・市民活動団体	4				NPO交流会 ●	インキュ ●	講座① ●	講座② ●	講座③ ●	インキュ ●			インキュ ●
(4)NPO支援事業	7	フリーペーパー「tag」発行/情報発信事業	市民活動や連携に関する発信を行うことで、市民が市民活動に触れる機会を増やす。地域の活動を価値づけし、発信する。	1)フリーペーパー「tag」発行(隔月A4両面) ・連携に関する記事、市民が参画しやすい活動を取り上げる 2)ウェブでの情報発信 ・動画等による情報発信(団体紹介ショート動画、事業のアーカイブ動画など4本程度) ・ホームページ、ブログ、X(旧Twitter)での情報発信	潜在的活動者 活動者	6	●109号	動画・SNS →	●110号	動画・SNS →	●111号	動画・SNS →	●112号	動画・SNS →	●113号		●114号	